



**SAITAMA
TRIENNALE
2016**
さいたまトリエンナーレ 2016

さいたまトリエンナーレ2016

開催報告書

さいたまトリエンナーレ実行委員会

目 次

I 開催概要	1
II 主な経緯	5
III プロジェクト概要	7
実行委員会主催事業	7
1 アートプロジェクト	7
2 プレイイベント（2015年度）	19
3 さいたまスタディーズ	22
4 その他主催事業	23
関連事業	24
5 市民プロジェクト	24
6 連携プロジェクト	26
7 その他関連事業	27
IV サポーター	29
1 サポーターの構成	29
2 サポーターの活動実績	29
V 会場運営	31
1 インフォメーション	31
2 案内サイン	31
3 アートマップ	32
4 シャトルバス	32
5 グッズ	32
6 公式ショップ、カフェ	33
7 スタンプラリー	34
VI 広報・PR	35
1 パブリシティ活動	35
2 広報用印刷物等	36
3 ガイドブック、カタログ	40
4 ウェブサイト・SNS	41
5 広告	44
6 まちなかでのPR	44
7 PRイベント	46
8 さいたま市と連携した広報・PR	50

VII 来場者の状況等.....	53
1 参加者数・来場者数.....	53
2 開催効果調査分析.....	57
3 経済効果.....	85
VIII 助成・協賛.....	93
1 助成.....	93
2 協賛・特別協力.....	93
IX 実行委員会の収支状況.....	94
X その他（実行委員会の組織、規約など）.....	96

I 開催概要

「さいたまトリエンナーレ2016」は、「文化芸術都市さいたま市」の創造に向けた象徴的・中核的な事業として、さいたま市として初めて取り組んだ国際芸術祭である。2016年9月24日（土）から12月11日（日）までの79日間にわたり開催した。

- | | |
|----------|---|
| ■名 称 | さいたまトリエンナーレ2016
Saitama Triennale 2016 |
| ■テーマ | 未来の発見！ |
| ■開催目的 | (1)「さいたま文化」の創造・発信
(2)さいたま文化を支える「人材」の育成
(3)さいたま文化を活かした「まち」の活性化 |
| ■会 期 | 2016年9月24日（土）～12月11日（日）[79日間]
定休日：水曜日
*ただし、11月23日（水・祝）は開場、翌11月24日（木）は閉場 |
| ■開場時間 | 10:00～18:00（最終入場 17:30） |
| ■主な開催エリア | 与野本町駅～大宮駅周辺
武蔵浦和駅～中浦和駅周辺
岩槻駅周辺
*会期中は、主要エリアのほか、市内各地で各種アートイベントを実施 |
| ■事業構成 | <実行委員会主催事業>
アートプロジェクト（48事業）
イベント（5事業）
さいたまスタディーズ（1事業）
その他主催事業
<関連事業（さいたま市実施事業）>
市民プロジェクト（48事業）
連携プロジェクト（45事業）
その他関連事業（54事業）
*以上のほか、パートナーシップ事業などの冠事業（239事業）が
トリエンナーレの盛り上げに協力 |
| ■ディレクター | 芹沢 高志（P3 art and environment 統括ディレクター） |
| ■主 催 | さいたまトリエンナーレ実行委員会 |

■後 援	駐日ハンガリー共和国大使館、駐日イスラエル大使館、駐日ラトビア共和国大使館、駐日マレーシア大使館、在日イスイス大使館、在東京タイ王国大使館
■助 成	文化庁(平成 28 年度 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業)、損保ジャパン日本興亜「SOMP Oアート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)、韓国国際交流財団、公益財団法人日韓文化交流基金、公益財団法人野村財団、公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド
■協 賛	株式会社セレモニー、株式会社エコ計画、NTT 東日本、埼玉トヨペット株式会社、スクール 21、毎日興業株式会社、武蔵野銀行、アイルグループ、アサヒビール株式会社、株式会社資生堂、株式会社高砂建設、日本環境マネジメント株式会社、株式会社ハーベス、株式会社ヤオコー、一般社団法人浦和医師会、一般社団法人大宮医師会、片倉工業株式会社 コクーンシティ、株式会社カタヤマ、カルソニックカンセイ株式会社、埼玉県信用金庫、埼玉栄中学・高等学校、さいたま市歯科医師会、さいたま商工会議所、埼玉りそな銀行、城西大学、株式会社ジャスト、株式会社タムロン、東京ガス株式会社埼玉支社、株式会社トロンマネージメント、ハイディ日高、ポーライト株式会社、むさし証券、株式会社ヨコハマタイヤジャパン、株式会社伊藤園、一般社団法人岩槻医師会、近畿日本ツーリスト株式会社、国際ロータリー第 2770 地区第 2 グループ、一般社団法人さいたま市与野医師会、さいたま農業協同組合、新日鉄住金エンジニアリング株式会社、南彩農業協同組合、飯能信用金庫、株式会社富士薬品、ポラスグループ、株式会社ミス・パリ、大宮シティロータリークラブ、国際ロータリー第 2770 地区大宮南ロータリークラブ、さいたま櫻ロータリークラブ、株式会社クリーン工房、埼玉県電気工事工業組合大宮支部、株式会社石井造園、浦和与野造園協同組合、株式会社フェルゼ伸興、ソレイユ株式会社、新井 守、大塚長蔵、小泉修一、志賀芙美子、志賀吉典、柳沼清彦 アーティスト井上雅道(有限会社涼仙)、埼玉自動車钣金、日米レンジ株式会社、株式会社松永建設、ユナイテッド・シネマ浦和、ステッドラーナ日本株式会社、ケミテック株式会社、志水製糸店、一般社団法人マルタス〇+、ユザワヤ(敬称略)
■特別協力	アサヒ飲料株式会社、大宮タカシマヤ、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団、株式会社東玉、東武鉄道株式会社、ヒアシンスハウスの会、東日本旅客鉄道株式会社

ディレクターメッセージ 「さいたまトリエンナーレ2016が目指すところ」

さいたまトリエンナーレ2016が目指すのは、2016年さいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだすことにはかなりません。

現代の日本社会は大きな転換期にあると言えるでしょう。

いや、日本だけではない。

世界的にこれまでの構造が激しく揺らぎはじめ、私たちには自分たちの未来が見えにくくなっています。

だからこそ、今、私たちは想像の力を羽ばたかせ、誰かから与えられた一つの未来ではなく、自分たちが生きてゆく未来を、自分たち自身で、足元から見つめ直していくことが求められていると思うのです。

このような認識のもとに、私はさいたまトリエンナーレ2016のタイトルを「未来の発見！」としました。

現在では世界各地でビエンナーレ、トリエンナーレといった国際芸術祭が頻繁に開催されていますが、まちで展開する以上、それはまちに関わるすべての人々に開かれたものにしなければなりません。まちとはただの建物や道路の集積ではなく、歴史や文化といった時間的な過程をも含めた、人々の営みの総体です。

その意味で、私はこのトリエンナーレを「ソフト・アーバニズム」＝「柔らかな都市計画」と考えたい。文化、芸術を核として、まちの営みに創造性を吹き込むための社会的な実験です。

もちろん祝祭空間の創出には力を入れますが、今回トリエンナーレでは、トリエンナーレ終了後も続くような創造的市民活動の芽をいかに多くつくりだすか、そしてその活動が持続的に展開できるような社会的な枠組みをいかにつくりだすか、そうした目には見えにくい地道な取り組みにも力を注いでいきたいと考えています。

アートは想像の力によって、現実のまた別の姿、もう一つの風景、置き去りにされた想い、消え入るような小さな叫び、ささやかな日々の喜び、思ってもいなかった可能性、そんなことを生き生きと、私たちの目の前に浮かび上がってくれるものです。

新たな目で過去、現在を見つめ、未来を夢見る。

さいたま市は人が生きる現場であり、日本を代表する「生活都市」です。

自発的な市民活動も盛んに展開されています。

いのちの未来を夢見るとき、こんなにも適切な場所はありません。

各アートプロジェクトでは、国内外で先進的な活動を展開するアーティストがさいたま市を訪れ、ここに滞在し、市民と交流し、制作のプロセスを共有して、この場所でしか構想し得ない作品をつくっていきます。

そしてここに生まれる交流と創造の現場において、市民一人ひとりがアーティストの優れた直観に触発されて、自分たちの生きていくこれからの未来を、それぞれに「発見」していくことになるのです。

2015年3月

さいたまトリエンナーレ2016
ディレクター 芹沢 高志

ロゴサイン

デザイナー 中島英樹

■デザインコンセプト

広大な関東平野、澄み渡る空の広がり、豊かな水、さいたま市の多様な魅力を彩りにたとえて表現しています。

トリエンナーレのコンセプトである「未来の発見！」につながるよう、無限の広がりを持つ空や水を表す青をベースにしました。

角度を付けた長方形はさいたま市の形を、両端の青の線はさいたま市の河川を想起させます。



キービジュアル

写真家 野口里佳

■アーティストコメント

20歳になる頃までさいたま市の見沼区で育った私にとって、見沼田んぼは世界の中心のような場所でした。どこに出て行っても、必ず帰ってくるところでした。どんなさりげない場所も、そこにいる人にとっては世界の中心のような大切な場所だと思います。いつも見ているのに当たり前すぎて気がつかない、そんな美しさを撮りたいと思います。そしてその写真によって、今いるこの世界の豊かさを感じられる、そんな作品をつくりたいと思っています。

■ディレクターコメント

この写真を見れば一目瞭然だが、野口里佳の手にかかると、なんもない風景が見たこともない神秘性を露わにし、忽然と輝きはじめる。これこそ、私がアートに求める力そのものであり、魔術的と言ってもいい。

ベルリン在住の野口里佳は生まれ育ったさいたまの土地を新たな目で見つめる。これはさいたま市を流れるたくさんの川のうちの一本、芝川だ。川はいつもそこにあり、こんな瞬間があることさえ、多くの人は気づかない。静寂と予感に満ちた一瞬の表情。これに気づくことこそ、私が想う「未来の発見！」に他ならない。私は迷うことなく、さいたまトリエンナーレ2016の精神を最も象徴する一枚として、この写真をキービジュアルとして選んだ。



公式イメージキャラクター「さいたまムアン」

アーティスト ウィスット・ポンニミット

参加アーティストのひとり、タイ出身のウィスット・ポンニミット氏が描くキャラクター「マムアン」が、さいたまトリエンナーレバージョンにドレスアップして、さいたまトリエンナーレ2016を盛り上げました。

公式イメージキャラクター「さいたまムアン」は、会場の案内やサイン、印刷物などに登場し、鑑賞者と一緒に本展を散歩しました。



© Wisut PONNIMIT

II 主な経緯

年月日	主な経緯
2014年 3月	「さいたま市文化芸術都市創造計画」策定 「(仮称) さいたまトリエンナーレ基本構想」策定
6月2日	(仮称) さいたまトリエンナーレ準備委員会設立総会、第1回総会 ・準備委員会の設立 ・加藤種男氏を総合アドバイザーに選任
7月1日	(仮称) さいたまトリエンナーレ準備委員会第1回運営会議 ・芹沢高志氏をディレクターに選任
11月7日	(仮称) さいたまトリエンナーレ準備委員会第2回総会 ・開催テーマ・開催方針の決定
2015年 3月13日	さいたまトリエンナーレ準備委員会第3回総会 ・さいたまトリエンナーレ2016開催計画の決定 ・実行委員会への組織移行 さいたまトリエンナーレ実行委員会第1回総会
25日	開催計画発表会の開催 (国際交流基金 JFIC ホール [さくら]) ・開催趣旨、開催エリア、イベントの概要、公式ロゴの発表など
8月17日 ～30日	イベント① 日比野克彦《種は船プロジェクト in さいたま》
28日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第2回総会 ・参加アーティストの発表 (第1弾・28組)
10月2日 ～12日	イベント② 《小沢剛：あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き》さいたま版
27日	さいたまスタディーズ連続セミナー①「地図とデータで見るさいたま」
11月20日 ～24日	イベント③ HomeBase Project SAITAMA 2015
11月22日 ～23日	イベント④ マイクロレジデンス・ネットワークフォーラム 2015
24日	さいたまスタディーズ連続セミナー②「いかにしてさいたまは、住宅都市、生活都市としてのアイデンティティを形成してきたか」
12月7日	さいたまスタディーズ連続セミナー③「広大な関東平野をめぐる水みちと人の営み、そして江戸とさいたまの関係を知る」
2016年 1月16日	イベント⑤ リレートーク (第1回) 「参加するトリエンナーレ」(ゲスト：アンドレア・ポンピリオ)
28日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第3回総会 ・主な会場、アートプロジェクト構想、関連事業 (案)などを発表

年月日	主な経緯
2月5日	さいたまスタディーズ連続セミナー④「海岸線の移動と土地の隆起・沈降が生み出した土地に、人類が定住しクニ、ムラを形成していった」
20日	さいたまスタディーズ連続セミナー⑤「地-質から見るさいたま」
3月2日	イベント⑤ リレートーク（第2回） 「アーティストからみるトリエンナーレ」（ゲスト：大友良英）
13日	イベント⑤ リレートーク（第3回） 「国際芸術祭の未来」（ゲスト：南條史生、帆足亞紀、港千尋）
19日	さいたまスタディーズ連続セミナー⑥「さいたまスタディーズからさいたまトリエンナーレ2016に託すこと」
24日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第4回総会 ・さいたまトリエンナーレ2016実施計画の決定
25日	記者発表会の開催（公益社団法人日本外国特派員協会（FCCJ）） ・全参加アーティストや主要プロジェクトなどについて発表
6月27日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第5回総会 ・開場時間、休館日等の決定
8月9日	公式イメージキャラクター「さいたまムアン」の誕生
23日	記者会見
29日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第6回総会 ・開催内容の詳細発表
9月22日	内覧会、レセプション
23日	内覧会、記者会見
24日	オープニングセレモニー
9月24日 ～12月11日	さいたまトリエンナーレ2016開催
2017年 1月25日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第7回総会 ・来場者数、参加者数などの発表
3月29日	さいたまトリエンナーレ実行委員会第8回総会 ・開催効果などの報告

III プロジェクト概要

実行委員会主催事業

1 アートプロジェクト

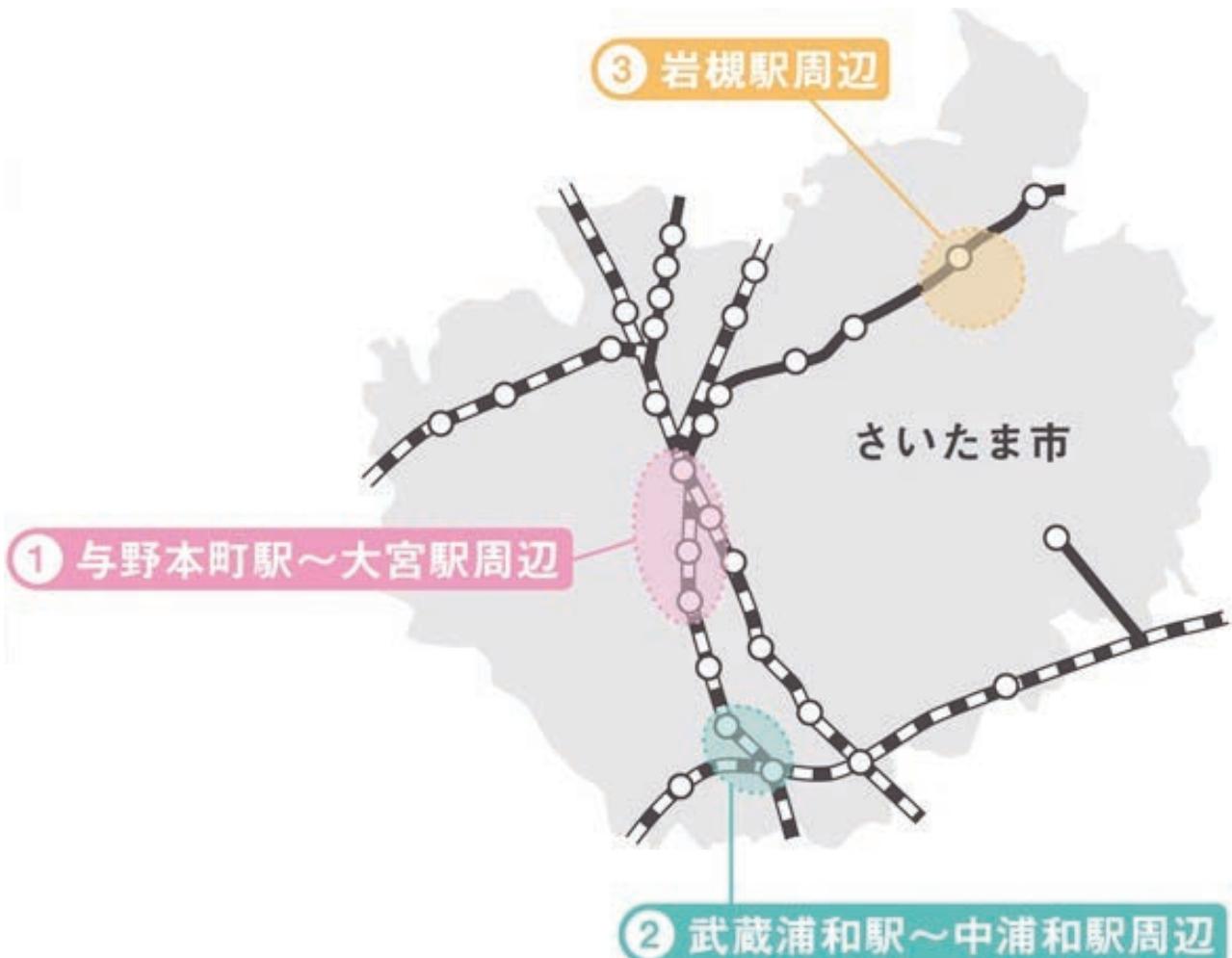
ディレクターが直轄し、展開するアートプロジェクトでは、国内外で活躍する 10 か国 34 組のアーティストを招へいし、インスタレーション、映像、演劇、音楽・パフォーマンスなどのプロジェクト（48 事業）を市内 19 会場※で実施した。

また、会期前から会期中にかけて、様々な関連イベントも実施した（194 回）。

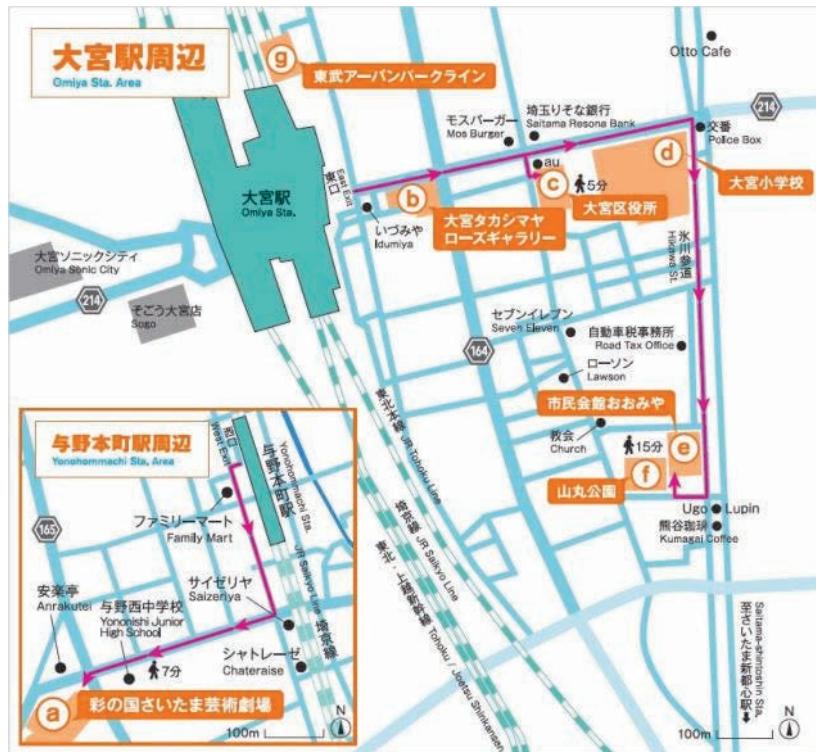
※「さいたまスタディーズ特別展示」会場のうらわ美術館を含む。

（1）会場・開場時間

- 開催エリア ①与野本町駅～大宮駅周辺
 ②武蔵浦和駅～中浦和駅周辺
 ③岩槻駅周辺
- 定休日 水曜日
 *ただし、11月23日（水・祝）は開場、翌11月24日（木）は閉場
- 開場時間 10:00～18:00（最終入場 17:30）



①与野本町駅～大宮駅周辺



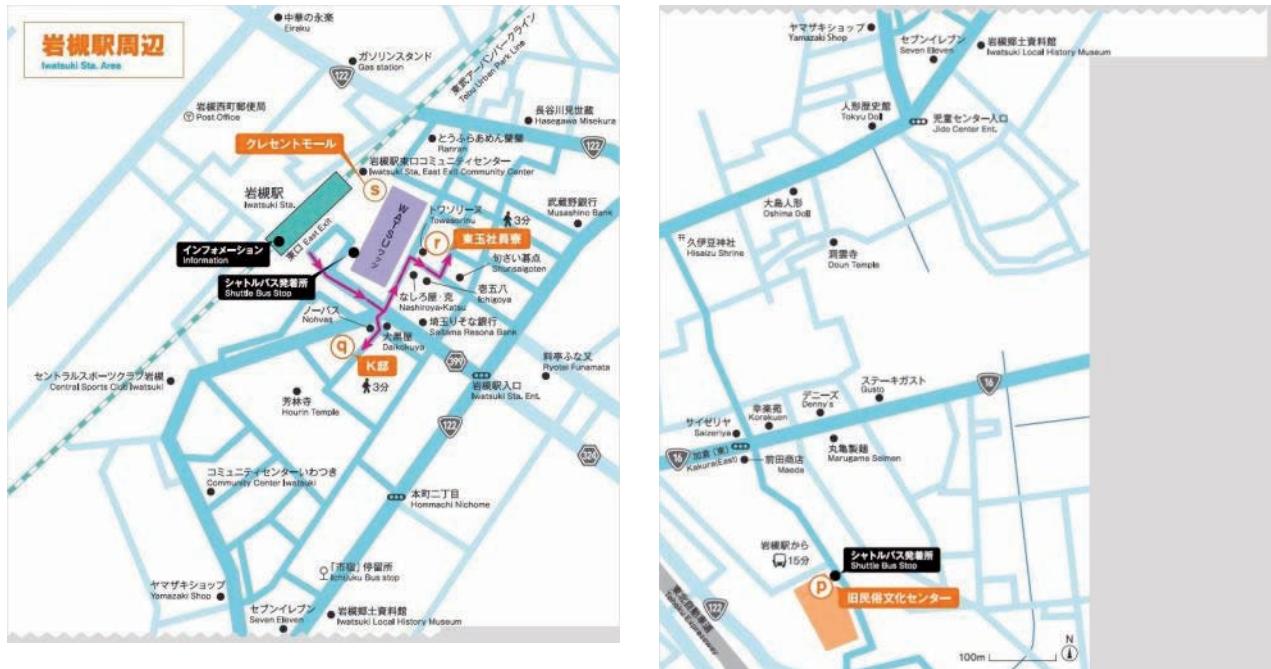
会場名	所在地・開場時間等	アーティスト
① 彩の国さいたま芸術劇場	さいたま市中央区上峰 3-15-1 開場時間 9:00～22:00 休場日 施設の休館日に準ずる	・チエ・ジョンファ
② 大宮タカシマヤ ローズギャラリー	さいたま市大宮区大門町 1-32 開場時間 10:00～19:00	・長島確+やじるしのチーム
③ 大宮区役所	さいたま市大宮区大門町 3-1 開場時間 10:00～18:00 休場日 水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	・岡田利規
	開場時間 13:00～20:00 (最終受付 19:00) 休場日 火・水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	・ダンカン・スピークマン + サラ・アンダーソン
④ 大宮小学校	さいたま市大宮区大門町 3-3 開場日 11/26、11/27 のみ	・大友良英 + Asian Music Network
⑤ 市民会館おおみや	さいたま市大宮区下町 3-47-8 開場時間 10:00～18:00 休場日 水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	・秋山さやか ・サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF
	公演日 11/25 公演時間 19:00～21:00	・大友良英 + Asian Music Network
⑥ 山丸公園	さいたま市大宮区吉敷町 1-120-1 開場日 9/22～10/2(9/28 を除く)	・磯辺行久
⑦ 東武アーバンパークライン	公演日 9/24、9/25、10/8、10/9 公演時間 大宮駅 14:06 発 大宮駅 15:57 着	・ユン・ハンソル

②武藏浦和駅～中浦和駅周辺



会場名	所在地・開場時間等	アーティスト
⑥花と緑の散歩道	さいたま市南区別所 5・6・7 丁目	・ダニエル・ゲティン ・ウィスット・ポンニミット
①西南さくら公園	さいたま市南区鹿手袋 3-14	・アイガルス・ビクシェ
①旧部長公舎 (セレモニーアートビレッジ)	さいたま市南区別所 2-39-1 開場時間 10:00～18:00 休場日 水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	・野口里佳 ・松田正隆+遠藤幹大+十三上亮 ・鈴木桃子 ・高田安規子+政子
⑩別所沼公園	さいたま市南区別所 4-12-10 開場時間 水・土・日・祝 10:00～15:00 (ヒアシンスハウス)	・日比野克彦
①ユナイテッド・シネマ浦和	さいたま市浦和区東高砂町 11-1 浦和パルコ 6F 上映日 10/7・8、11/4・5、12/2・3 のみ	・ロングフィルム・シアター
⑩さいたまアートステーション	さいたま市浦和区高砂 2-8-9 ナカギンザビル 開場時間 10:00～19:00 休場日 水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	・新しい骨董(山下陽光+下道基行+影山裕樹)
⑩うらわ美術館	さいたま市浦和区仲町 2-5-1 浦和センチュリーシティ 3F 開場日時 うらわ美術館開場日時に準ずる	・さいたまスタディーズ特別展示
⑩桜環境センター	さいたま市桜区新開 4-2-1 開場時間 9:00～17:00 休場日 月曜日	・チエ・ジョンファ

③岩槻駅周辺



会場名	所在地・開場時間等	アーティスト
①旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	さいたま市岩槻区加倉 5-12-1 開場時間 10:00～18:00 休場日 水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	<ul style="list-style-type: none"> ・マティ・アンドラシュ・ヴォグリンチッチ ・ウィスット・ポンニミット ・川埜龍三 ・アダム・マジャール ・多和田葉子 ・日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA ・小沢剛 ・大洲大作 ・西尾美也 ・ソ・ミンジョン ・オクイ・ララ ・藤城光 ・アピチャッポン・ウイーラセタクン ・目
②K邸	さいたま市岩槻区本町 1-4-4 パフォーマンス: 公演日 土曜日(10/15, 29 を除く) インсталレーション: 開場時間 15:00～19:00 休場日 火・水曜日、10/10～16、10/29～11/2	<ul style="list-style-type: none"> ・向井山朋子
③東玉社員寮	さいたま市岩槻区本町 3-10-2 開場日 11/3～12/11 (11/7～11/9 を除く) 開場時間 10:00～18:00 休場日 水曜日(ただし 11/23 は開場、翌 11/24 は閉場)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームベース・プロジェクト
④クレセントモール	岩槻駅東口 開催日 10/2 のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA

(2) 参加アーティスト・作品

No.	アーティスト	生年 (創設年)	出生地 (創設地)	作品名	作品形態	会場
1	秋山さやか	1971年	日本	《雫》	インスタレーション	市民会館おおみや 旧地下食堂
2	アイガルス・ビクシェ	1969年	ラトビア	《さいたまビジネスマン》	彫刻	西南さくら公園
3	チエ・ジョンファ	1961年	韓国	《息をする花》	インスタレーション	彩の国さいたま芸術劇場
				《ハッピー・ハッピー》	インスタレーション	
				《サイタマンダラ》	インスタレーション	桜環境センター
4	藤城光	1974年	日本	《ボイジャー2011》	インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
5	ダニエル・ゲティン	1959年	スイス	《STATION TO STATION》	インスタレーション	花と緑の散歩道
6	日比野克彦	1958年	日本	《種は船プロジェクト in さいたま》	インスタレーション、ワークショップ	別所沼公園 ヒアシンスハウス
7	ホームベース・プロジェクト	2006年	アメリカ	《ホームベース・プロジェクト さいたま 2016》	アーティスト・イン・レジデンス	東玉社員寮
8	磯辺行久	1935年	日本	《エアードーム:さいたまトリエンナーレ2016》	インスタレーション	山丸公園
9	日本相撲聞芸術作曲家 協議会 JACSHA	2008年	日本	《相撲聞芸術研究室》	インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
				《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》	パフォーマンス	クレセントモールほか
10	川埜龍三	1976年	日本	《犀の角がもう少し長ければ歴史は 変わっていただろう》	彫刻、インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
11	オクイ・ララ	1991年	マレーシア	《アダプテーション》	映像インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
12	ロングフィルム・シアター	2016年	日本	『ハッピーアワー』	映画上映	ユナイテッド・シネマ浦和
				『親密さ』		
				『雪の轍』		
				『わたしはロランス』		
				『O. 5ミリ』		
				『フタバから遠く離れて 2016 総集編』		
13	アダム・マジャール	1972年	ハンガリー	《ステンレス、大宮》	映像インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
				《アレイ#3》	映像インスタレーション	
14	松田正隆+遠藤幹大 +三上亮	1962年 /1985年 /1983年	日本	《家と出来事 1971-2006 年の会話》	インスタレーション	旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)
15	目	2012年	日本	《Elemental Detection》	インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
16	向井山朋子	非公表	日本	《HOME》	インスタレーション、パフォーマンス	K邸
17	長島確+やじるしのチーム	1969年	日本	《←》	インスタレーション	大宮タカシマヤ ローズギャラリー
18	新しい骨董(山下陽光 +下道基行+影山裕樹)	2015年	日本	《新しい骨董市ノ記録映像》	映像	さいたまアートステーション
19	西尾美也	1982年	日本	《感覚の洗濯》	インスタレーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
20	野口里佳	1971年	日本	《はじめのことば》	インスタレーション	旧部長公舎 (セレモニーアートビレッジ)
21	岡田利規	1973年	日本	《映像演劇 op.1 椎橋綾那》	映像インスタレーション	大宮区役所 旧地下食堂
				《映像演劇 op.2 青柳いづみ》	映像インスタレーション	

No.	アーティスト	生年 (創設年)	出生地 (創設地)	作品名	作品形態	会場
22	大洲大作	1973 年	日本	《車窓をあつめる》	写真	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
				《Commuter／通う人》	映像インсталーション	
23	大友良英 +Asian Music Network	1959 年	日本	《Ensembles Asia Special》	ワークショップ、音楽パフォーマンス	大宮小学校 市民会館おおみや 小ホール
24	小沢剛	1965 年	日本	《帰って来た J.L.》	インсталーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
25	ウイスット・ポンニミット	1976 年	タイ	《時間の道》	インсталーション	花と緑の散歩道
				《未来はプレゼント》	インсталーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
26	ソ・ミンジョン	1972 年	韓国	《水がありました》	インсталーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
27	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	2008 年	日本	《SMF 学校》	ワークショップ、レクチャー	市民会館おおみや 旧地下食堂
28	ダンカン・スピーカマン +サラ・アンダーソン	1976 年 /1981 年	イギリス	《1000 のデュオのための曲》	体験型サウンドインсталーション	大宮区役所
29	鈴木桃子	1982 年	日本	《アンタイトルド・ドローイング・プロジェクト》	インсталーション、パフォーマンス	旧部長公舎 7 号棟 (セレモニーアートビレッジ)
30	高田安規子+政子	1978 年	日本	《土地の記憶を辿って》	インсталーション	旧部長公舎 8 号棟 (セレモニーアートビレッジ)
31	多和田葉子	1960 年	日本	《白熊の部屋》	インсталーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
				《さわれる文字の部屋》	インсталーション	
				《L字の部屋》	インсталーション	
32	マティ・アンドラシュ ・ヴォグリンチチ	1970 年	スロヴェニア	《無題(枕)》	インсталーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
33	アピチャッポン・ウーラセタクン	1970 年	タイ	《Invisibility》	映像インсталーション	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)
34	ユン・ハンソル	1972 年	韓国	《サイタマ・フロンテージ》	パフォーマンス	東武アーバンパークライン

(3) 関連イベント

No.	日時	場所	アーティスト	イベント名
1	4/2(土) 14:00-16:00	岩槻本丸公民館	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	Let's 相撲ミュージック in さいたま～触れ太鼓隊へのお誘い～
2	4/23(土) 17:00-18:30	さいたまアートステーション	大洲大作	アーティストトーク
3	4/23(土)-11/20(日) -	公募	大洲大作	《車窓をあつめる》プロジェクト投稿募集
4	5/8(日) 10:00-17:00	大宮駅周辺	-	アートフルゆめまつり 2016 (《ー》アンケート調査、《息をする花》巡回展示など)
5	5/14(土) 14:00-17:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	「さいたま触れ太鼓隊」ワークショップ VOL.1
6	5/27(金) 19:00-21:00	さいたまアートステーション	チェ・ジョンファ	サポートミニーティング： 《ハッピー・ハッピー》制作ワークショップ
7	5/28(土) 9:30-16:00	大宮駅西ロイベントスペース	チェ・ジョンファ	鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア： 《息をする花》巡回展示、《ハッピー・ハッピー》制作ワークショップ
8	6/16(木)-6/30(木) 8:30-17:15	浦和区役所	チェ・ジョンファ	《息をする花》巡回展示
9	6/17(金) 19:00-21:00	市民会館おおみや旧地下食堂	秋山さやか	アーティストトーク
10	6/18(土) 14:00-17:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	「さいたま触れ太鼓隊」ワークショップ VOL.2

No.	日時		場所	アーティスト	イベント名
11	6/18(土)-6/21(火)		11:00-20:00	さいたまアートステーション	『サイタマ・フロンテージ』クリエーションメンバー&出演者オーディション
12	6/26(日)		10:00-17:00	旧民俗文化センター(セレモニーアートホール)	『感覺の洗濯』ワークショップトライアル版
13	7/8(金)		13:00-16:00	あそび舎てんきりん	『アダプテーション』イントロダクション、会場見学
14	7/10(日)		10:00-17:00	西南さくら公園	『感覺の洗濯』ワークショップ
15	7/12(火)		14:00-	本太児童公園	さいたま B 発掘キャラバン隊
16	7/13(水)		10:00-	浦和学院高等学校	さいたま B 発掘キャラバン隊
17	7/14(木)		13:00-	さぎ山記念公園付近	さいたま B 発掘キャラバン隊
18	7/15(金)		13:00-16:00	あそび舎てんきりん	『アダプテーション』「家」にまつわる各国の言葉あつめゲーム、会場イメージ
19	7/16(土)		10:00-	蓮沼公園	さいたま B 発掘キャラバン隊
20	7/17(日)		10:00-	別所沼公園	さいたま B 発掘キャラバン隊
21	7/17(日)		10:00-17:00	西南さくら公園	『感覺の洗濯』ワークショップ
22	7/18(月・祝)		10:00-	深作川付近	さいたま B 発掘キャラバン隊
23	7/22(金)		10:00-16:00	あそび舎てんきりん	『アダプテーション』インタビュー撮影1回目
24	7/23(土)		13:00-14:30 15:00-16:30	桜環境センター	『ハッピー・ハッピー』ワークショップ
25	7/24(日)		10:30-12:00 14:00-15:30	桜環境センター	『ハッピー・ハッピー』ワークショップ
26	7/26(火)		9:30-10:30 13:30-14:30	岩槻文化公園	子ども向けワークショップ 作曲家ユニット“JACSHA”と音であそぼう! ①[5歳～小学2年生対象] ②[小学3年生～6年生対象]
27	7/26(火)		19:00-21:00	コミュニティセンターいわつき	『さいたま触れ太鼓隊』ワークショップ VOL.3
28	7/27(水)		13:30-15:00	岩槻文化公園	『さいたま触れ太鼓隊』ワークショップ VOL.4
29	7/28(木)		10:00-16:00	あそび舎てんきりん	『アダプテーション』インタビュー撮影2回目
30	7/31(日)		10:00-17:00	西南さくら公園	『感覺の洗濯』ワークショップ
31	8/5(金)		13:00-16:00	あそび舎てんきりん	『アダプテーション』会場設置物選び&アイデアまとめ
32	8/6(土)		13:00-15:00	コクーンシティ コクーン2	ワークショップ 「ミニ・ロータスを作つてみよう！」
33	8/6(土)-8/31(水)		-	公募	『感覺の洗濯』ミニチュア洗濯物募集
34	8/6(土)-8/19(金)		9:00-21:30	プラザノース インフォメーションカウンター前	『息をする花』巡回展示
35	8/21(日)		13:00-17:00	WATSU 東館	『息をする花』巡回展示、ワークショップ 「ミニ・ロータスを作つてみよう！」
36	8/23(火)-8/31(水)		9:00-21:30	さいたま市文化センター1階	『息をする花』巡回展示
37	8/26(金)-11/23(水)		-	公募	『←』参加者募集
38	8/27(土)		13:00-16:00	つきのき広場(元荒川和船まつり会場)	ワークショップ 「ミニ・ロータスを作つてみよう！」
39	8/27(土)		10:00-12:00 13:30-17:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	『JACSHA 土俵祭り in 岩槻』に向けたワークショップ
40	8/27(土)		11:00-16:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	『サイタマ・フロンテージ』エキストラ衣装製作ワークショップ

No.	日時	場所	アーティスト	イベント名
41	8/28(日) 10:00-12:00 13:30-17:00	岩槻駅東口コミュニティセンター、愛宕神社	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》に向けたワークショップ
42	8/28(日) 11:00-16:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》エキストラ衣装製作ワークショップ
43	8/28(日) 13:00-16:00	つきのき広場(元荒川和船まつり会場)	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》関連の展示、ワークショップ「ミニ・ロータスを作ってみよう！」
44	8/29(月) 19:00-21:00	コミュニティセンターいわつき	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》に向けたワークショップ
45	8/29(月) 16:00-21:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》エキストラ衣装製作ワークショップ
46	9/1(木) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
47	9/2(金) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
48	9/3(土) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
49	9/4(日) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
50	9/8(木) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
51	9/9(金) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
52	9/10(土) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
53	9/11(日) 9:00-12:00 15:00-18:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》公開制作&ワークショップ
54	9/12(月) 14:00-17:00	別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》進水
55	9/12(月) 19:00-20:30	さいたまアートステーション	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》エキストラオリエンテーション
56	9/13(火) 19:00-20:30	さいたまアートステーション	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》エキストラオリエンテーション
57	9/16(金) 15:00-15:40	K 邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス公開稽古
58	9/17(土) 10:30-17:00	岩槻駅周辺	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》リハーサル
59	9/17(土) 15:00-15:40	K 邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス公開稽古
60	9/18(日) 10:30-17:00	岩槻駅周辺	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》リハーサル
61	9/18(日) 15:00-15:40	K 邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス公開稽古
62	9/19(月) 15:00-15:40	K 邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス公開稽古
63	9/19(月)-11/30(水) -	公募	多和田葉子	読書の痕跡を残した『雪の練習生』募集
64	9/21(水) 15:00-15:40	K 邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス公開稽古
65	9/22(木・祝) 14:06-15:57	岩槻駅周辺	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》ゲネプロ
66	9/22(木・祝) 10:00-12:00 13:00-16:00	岩槻駅東口コミュニティセンター	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》に向けたワークショップ
67	9/22(木・祝) 16:30-17:10	K 邸	向井山朋子	《HOME》
68	9/22(木・祝)-10/2(日) 10:00-18:00	山丸公園	磯辺行久	《エアードーム;さいたまトリエンナーレ2016》
69	9/24(土) 15:00-18:00	K 邸	向井山朋子	《HOME》
70	9/24(土) 13:00-16:00	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	ウィスット・ポンニミット	タムくん似顔絵イベント

No.	日時		場所	アーティスト	イベント名
71	9/24(土)		13:00-14:00 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	オープニングセレモニー
72	9/24(土)		14:06-15:57 東武アーバンパークライン	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》本公演
73	9/24(土)		10:00-13:00 山丸公園	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	洗濯バサミで絵を描こう
74	9/24(土)		14:00-17:00 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	お顔をトレース★肖像画(講師:矢花俊樹)
75	9/24(土)-11/6(日)		10:00-18:00 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	小野養豚ん 食堂展(小野養豚ん)
76	9/25(日)		10:00-13:00 山丸公園	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	洗濯バサミで絵を描こう
77	9/25(日)		10:00-13:00 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	お顔をトレース★肖像画(講師:矢花俊樹)
78	9/25(日)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	生活都市さいたまの魅力—まちと建築の視点から—(講師:青山恭之、三浦清史、渡辺範久)
79	9/25(日)		14:06-15:57 東武アーバンパークライン	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》本公演
80	9/30(金)		19:00-21:00 市民会館いわつき	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》に向けたワークショップ
81	10/1(土)		13:00- 岩槻駅東口コミュニティセンター	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》に向けたワークショップ
82	10/1(土)		13:00-15:00 旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	オクイ・ララ	「あそび舎てんきりん」のみんなと多文化体験!
83	10/1(土)		15:00- 18:00- K 邸	向井山朋子	《HOME》
84	10/1(土)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	サンドイッチアートマン in さいたま(講師:浅見俊哉とサンドイッチアートマンズ)
85	10/2(日)		13:00-14:30 13:00-15:45 岩槻駅周辺まちなか各所・岩槻駅前クレセントモール	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	《JACSHA 土俵祭り in 岩槻》
86	10/2(日)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	アートプロジェクトって何?(講師:熊谷薰)
87	10/5(水)		15:00-15:40 K 邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス公開稽古
88	10/7(金)		11:00-17:02 ユナイテッド・シネマ浦和	ロングフィルム・シアター	『ハッピーアワー』上映 &トークショー(ゲスト:ヴィヴィアン佐藤、芹沢高志)
89	10/7(金)		19:00-20:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	けんちくのうんちく(講師:青山恭之、三浦清史)
90	10/8(土)		13:00-17:30 ユナイテッド・シネマ浦和	ロングフィルム・シアター	『親密さ』上映 &トークショー(ゲスト:千浦僚、結城秀勇)
91	10/8(土)		15:00- 18:00- K 邸	向井山朋子	《HOME》
92	10/8(土)		10:30-12:00 13:00-14:30 15:00-16:30 別所沼公園 ヒアシンスハウス前庭	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	TIME TUBE—建築とインスタレーション—(講師:三浦清史、SeeSew)
93	10/8(土)		14:06-15:57 東武アーバンパークライン	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》本公演
94	10/9(日)		13:30-15:00 旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	大洲大作	トークイベント「車窓にうつす—鉄道と視覚」(ゲスト:佐藤守弘)
95	10/9(日)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	彫刻ができるまで(講師:石上城行)
96	10/9(日)		14:06-15:57 東武アーバンパークライン	ユン・ハンソル	《サイタマ・フロンテージ》本公演
97	10/11(火) 10/13(木)-16(日)		10:00-16:00 山丸公園	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	OPEN CLOSET

No.	日時		場所	アーティスト	イベント名
98	10/15(土)		13:00-16:00 別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》「日比野克彦とともに別所沼公園を巡るツアー＆写生大会」
99	10/16(日)		10:00-12:00 浦和～中浦和	長島確+やじるしのチーム	《←》散歩ツアー
100	10/16(日)		13:00-16:00 別所沼公園	日比野克彦	《種は船プロジェクト in さいたま》「日比野克彦とともに別所沼公園を巡るツアー＆写生大会」
101	10/16(日)		13:00-15:00 旧民俗文化センター(セレモニーアートホール)	オクイ・ララ	「あそび舎てんきりん」のみんなと多文化体験！
102	10/16(日)		13:30-16:30 旧部長公舎 5号棟(セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「樂風」)によるお茶ふるまい
103	10/21(金)		19:00-20:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	写真・衣装・身体「時間のきものプロジェクト」(講師:SeeSew[浅見俊哉・田村香織])
104	10/22(土)		15:00-18:00 K邸	向井山朋子	《HOME》
105	10/22(土)		10:00-12:00 大宮～岩槻	長島確+やじるしのチーム	《←》散歩ツアー
106	10/22(土)		10:30-12:00 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	都市の化石づくり(講師:大場さやか)
107	10/22(土)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	石の彫刻体験(講師:石上城行)
108	10/22(土)		14:00-15:30 旧民俗文化センター(セレモニーアートホール)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
109	10/23(日)		13:00-14:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	日本のテレビアニメの変遷について(講師:石上城行)
110	10/23(日)		15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	アニメーション表現が伝える日常と非日常(講師:小宮貴史)
111	10/24(月)		13:50-16:00 旧部長公舎 5号棟(セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「樂風」)によるお茶ふるまい
112	10/29(土)		10:30-12:00 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	「会社まるごとギャラリー」について(講師:田中清隆)
113	10/29(土)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	みんなで挑戦！ドラムペインティング(講師:三友周太)
114	10/30(日)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	影をつかまえる—生活都市のフォトグラム(講師:浅見俊哉)
115	10/30(日)		13:00-14:30 旧民俗文化センター(セレモニーアートホール)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
116	10/30(日)		15:30-17:00 市民会館おおみや	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
117	11/3(木・祝)-11/6(日)		10:00-18:00 東玉社員寮	ホームベース・プロジェクト	ホームベース・フェスティバル
118	11/3(木・祝)		10:00-18:00 東玉社員寮	ホームベース・プロジェクト	OPEN HOUSE オープニング・イベント
119	11/3(木・祝)-12/11(日)		10:00-18:00 東玉社員寮	ホームベース・プロジェクト	OPEN HOUSE
120	11/3(木・祝)		16:30-17:10 17:20-18:20 K邸	向井山朋子	《HOME》パフォーマンス＆トーク(ゲスト:住吉智恵、出演:向井山朋子・湯浅永麻)
121	11/4(金)		13:00-16:16 ユナイテッド・シネマ浦和	ロングフィルム・シアター	『雪の轍』上映＆トークショー(ゲスト:佐々木敦、出来谷英剛)
122	11/4(金)		18:00-20:00 旧部長公舎 6号棟(セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006 年の会話》オープン延長(試行)
123	11/4(金)		19:00-20:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラムSMF	パフォーマンスって何だ？(講師:奥平聰、野口竜平、野本翔平)
124	11/5(土)		13:00-15:48 ユナイテッド・シネマ浦和	ロングフィルム・シアター	『わたしはロランス』上映＆トークショー(ゲスト:松川莉奈、芹沢高志)
125	11/5(土)		15:00-18:00 K邸	向井山朋子	《HOME》

No.	日時	場所	アーティスト	イベント名
126	11/5(土) 10:30-12:00 13:00-14:30 15:00-16:30	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	パフォーマンス in さいたま(講師:奥平聰、野口竜平、野本翔平)
127	11/6(日) 10:00-12:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
128	11/6(日) 13:00-16:30	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	都市の音・まちの音(講師:大澤加寿彦、柴山拓郎、林文彦)
129	11/6(日) 14:00-16:00	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	多和田葉子	朗読パフォーマンス
130	11/6(日) 11:00-12:30	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアーアート
131	11/10(木)-12/11(日) 10:00-18:00	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	「たまご から から 西尾路子展」(西尾路子)
132	11/11(金) 14:00-16:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
133	11/11(金) 13:00-15:00	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	オクイ・ララ	「あそび舎てんきりん」のみんなと多文化体験!
134	11/11(金) 18:00-20:00	旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006 年の会話》オープン延長
135	11/12(土) 15:00-18:00-	K邸	向井山朋子	《HOME》
136	11/12(土) 15:00-17:00	新加田屋たんぼ、加田屋たんぼ	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	遠足:フナノ現場展・野焼き見学会(講師:SMFメンバー、協力アーティスト)
137	11/13(日) 13:00-15:00	北浦和公園、埼玉県立近代美術館	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	遠足:北浦和おかわり芸術祭見学(講師:SMFメンバー、協力アーティスト)
138	11/14(月) 14:00-16:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
139	11/15(火) 19:00-20:30	楽風	野口里佳	アーティストトーク
140	11/18(金) 14:00-16:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
141	11/18(金) 18:00-20:00	旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006 年の会話》オープン延長
142	11/18(金) 19:00-21:00	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	ヒトを取り囲む「音・音楽・音響」(講師:柴山拓郎、林文彦、松本一哉)
143	11/19(土) 15:00-18:00-	K邸	向井山朋子	《HOME》
144	11/19(土) 10:30-12:00	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	卵で起き上がりこぶしを作ろう!(講師:西尾路子)
145	11/19(土) 13:00-14:30 15:00-16:30	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	ヒカルキノコを作ろう(講師:井上唯)
146	11/19(土) 11:00-12:30	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアーアート
147	11/19(土) 14:00-15:30	西南さくら公園～旧部長公舎 (セレモニーアートビレッジ)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアーアート
148	11/19(土) 13:00-15:00	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	オクイ・ララ	「あそび舎てんきりん」のみんなと多文化体験!
149	11/20(日) 13:00-13:30 15:00-15:30 17:00-17:30	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	JACSHA ミニワークショップ & フォーラムシリーズ
150	11/20(日) 14:00-16:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい

No.	日時		場所	アーティスト	イベント名
151	11/20(日)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	これを受けければ「ダンスは一日にして成る？」(講師:愛智伸江、カワムラアツノリ、藤井香)
152	11/20(日)		16:00-17:00 旧部長公舎 7号棟 (セレモニーアートビレッジ)	鈴木桃子	アーティストトーク
153	11/21(月)		15:00-15:30 16:00-16:30 17:00-17:30 旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA	JACSHA ミニワークショップ&フォーラムシリーズ
154	11/23(水・祝)		10:00-13:00 旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
155	11/23(水・祝)		11:00-12:30 西南さくら公園～旧部長公舎 (セレモニーアートビレッジ)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
156	11/23(水・祝)		15:00-16:30 旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
157	11/24(木)		10:45-12:25 大宮小学校	大友良英+Asian Music Network	《Ensembles Asia Special》大宮小学校対象ワークショップ「手作り3Dアート映像を作ろう」(講師:牧野貴)
158	11/24(木)		10:45-12:25 大宮小学校	大友良英+Asian Music Network	《Ensembles Asia Special》大宮小学校対象ワークショップ「オーケストラワークショップ」(講師:大友良英)
159	11/25(金)		18:00-20:00 旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006年の会話》オープン延長
160	11/25(金)		19:00-21:00 市民会館おおみや小ホール	大友良英+Asian Music Network	《Ensembles Asia Special》トーク&ライブ
161	11/26(土)		15:00- 18:00- K邸	向井山朋子	《HOME》
162	11/26(土)		10:00-13:00 大宮小学校	大友良英+Asian Music Network	《Ensembles Asia Special》ワークショップ「自転車を使って様々な音になる楽器を作って演奏しよう」(講師:アーノント・ソンヤオ)
163	11/26(土)		14:00-17:00 大宮小学校	大友良英+Asian Music Network	《Ensembles Asia Special》ワークショップ「古いカセットテープを使って新しい音楽をつくろう」(講師:デュト・ハルドノ)
164	11/27(日)		14:00-16:00 旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
165	11/27(日)		12:00-16:30 大宮小学校	大友良英+Asian Music Network	《Ensembles Asia Special》パフォーマンス
166	11/30(日)		14:00-16:30 旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
167	12/2(金)		13:00-16:16 ユナイテッド・シネマ浦和	ロングフィルム・シアター	『0.5ミリ』上映&トークショー(ゲスト:新郷由起、稻田豊史)
168	12/2(金)		19:00-20:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	デザインのキモとは?(講師:鈴木健太、中村隆)
169	12/2(金)		14:00-16:00 旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
170	12/2(金)		18:00-20:00 旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006年の会話》オープン延長
171	12/3(土)		13:00-16:15 ユナイテッド・シネマ浦和	ロングフィルム・シアター	『フタバから遠く離れて 2016総集編』上映&トークショー(ゲスト:橋本佳子、芹沢高志)
172	12/3(土)		18:00-20:00 旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006年の会話》関連トーク(ゲスト:宇野邦一)
173	12/3(土)		15:00- 18:00- K邸	向井山朋子	《HOME》
174	12/3(土)		13:00-14:30 15:00-16:30 市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	まちを舞台にスマホで動画制作—新しい見方がまちを変える—(講師:浅沼奨)
175	12/3(土)		13:00-14:00 旧部長公舎 7号棟 (セレモニーアートビレッジ)	鈴木桃子	アーティストトーク

No.	日時		場所	アーティスト	イベント名
176	12/3(土)	10:00-11:30	西南さくら公園-旧部長公舎 (セレモニーアートビレッジ)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
177	12/4(日)	13:00-15:00	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	オクイ・ララ	「あそび舎てんきりん」のみんなと多文化体験！
178	12/4(日)	13:30-	K邸	向井山朋子	《HOME》
179	12/4(日)	13:00-14:30 15:00-16:30	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	写真とデザイン—私新聞をつくろう！—(講師:浅見俊哉、中村隆)
180	12/4(日)	10:00-11:30	西南さくら公園-旧部長公舎 (セレモニーアートビレッジ)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
181	12/4(日)	14:00-15:30	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
182	12/4(日)	17:00-18:00	市民会館おおみや	-	芹沢高志ディレクターガイドツアー
183	12/6(火)	11:00-11:30 13:00-13:30 14:00-14:30	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	日本相撲闘芸術作曲家協議会 JACSHA	JACSHA ミニワークショップ & フォーラムシリーズ
184	12/9(金)	10:00-16:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
185	12/9(金)	18:00-20:00	旧部長公舎 6号棟 (セレモニーアートビレッジ)	松田正隆+遠藤幹大+三上亮	《家と出来事 1971-2006 年の会話》オープン延長
186	12/10(土)	14:00-15:00	市民会館おおみや	秋山さやか	アーティストトーク
187	12/10(土)	15:00- 18:00-	K邸	向井山朋子	《HOME》
188	12/10(土)	10:30-12:00 13:00-14:30 15:00-16:30	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	サンドイッチアートマン in さいたま(講師:浅見俊哉とサンドイッチアートマンズ)
189	12/10(土)	18:30-18:50 18:55-19:15 19:20-19:40	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	目	《Elemental Detection》夜間鑑賞
190	12/11(日)	13:30-14:00 15:00-15:30 17:00-17:30	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	日本相撲闘芸術作曲家協議会 JACSHA	JACSHA ミニワークショップ & フォーラムシリーズ
191	12/11(日)	15:00- 18:00-	K邸	向井山朋子	《HOME》
192	12/11(日)	10:00-16:00	旧部長公舎 5号棟 (セレモニーアートビレッジ)	野口里佳	青山正博氏(日本茶喫茶・ギャラリー「楽風」)によるお茶ふるまい
193	12/11(日)	13:00-15:00	市民会館おおみや旧地下食堂	サイタマ・ミューズ・フォーラム SMF	修了式
194	12/11(日)	18:00-19:00	旧民俗文化センター (セレモニーアートホール)	-	クロージング・セレモニー

2 プレイイベント（2015年度）

さいたまトリエンナーレ2016の特色を打ち出しながら、機運の醸成を図った。

（1）種は船プロジェクト in さいたま

アーティスト日比野克彦氏による、自走式の朝顔の種の形をした船「TANeFUNe」を航行し、立ち寄った土地の人々の記憶にある水辺の思い出を集めてつないでいくプロジェクト

乗船者合計 123人

来場者合計 327人 総計 450人

A) Tシャツに川の記憶を描くワークショップ&乗船体験

開催日：2015年8月17日（月）～19日（水）

会場：東京夢の島マリーナ〔江東区〕

各リバーステーション〔江戸川区、葛飾区、北区、戸田市〕

参加者：来場者48人、乗船者30人

B) TANeFUNe 荒川乗船ツアー・戸田リバーステーション

開催日：2015年8月21日（金）～23日（日）

会場：戸田リバーステーション〔戸田市〕～秋ヶ瀬橋周辺〔さいたま市桜区〕

参加者：来場者34人、乗船者24人（うち、内覧乗船3人含む）

C) 関連トーク「さいたまの水路を巡って」

開催日：2015年8月23日（日）17:00～19:15

会場：桜環境センター〔さいたま市桜区〕

参加者：来場者45人

D) TANeFUNe 乗船体験

開催日：2015年8月29日（土）・30日（日）

会場：武藏第六天神社周辺〔さいたま市岩槻区〕

参加者：来場者約200人、乗船者69人



撮影：喜多直人

（2）「小沢剛：あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」さいたま版

現代美術家小沢剛氏による、100枚以上の布団からなる巨大な山のインсталレーション作品の展示。単に鑑賞するだけでなく、遊びとアートが融合し参加者自身が楽しめるプロジェクト



開催日：2015年10月2日（金）～12日（月・祝）

会場：プラザノース〔さいたま市北区〕

2Fノースギャラリー8

来場者：3,434人

＜関連イベント＞

- ・大人だけのおふとん山ナイト！（2015年10月2日（金）、3日（土）、11日（日））
- ・ナイトトーク1：ふとん山で、さいたまの地形を語り尽くそう（2015年10月9日（金））
- ・ナイトトーク2：おふとんと芸術祭の未来（2015年10月10日（土））
- ・ワークショップ「かみぶくろのくにへようこそ」（2015年10月11日（日））

(3) HomeBase Project SAITAMA 2015

アーティストが一定期間同じ場所で生活をともにし、創作活動を行い、また、地域との交流を通して、現代の私たちにとって「Home/ホーム」とは何かを考える、移動型の国際アーティスト・イン・レジデンスプロジェクト

アーティスト滞在期間：2015年10月30日（金）
～11月27日（金）



参加アーティスト：エイドリアン・ブリュン、潘 逸舟、飯島 浩二、パリ・レガキス、
アナット・リトワイン、三田村 光土里

オープン・ハウス（公開）：2015年11月20日（金）～24日（火）

会場：東玉社員寮〔さいたま市岩槻区〕

来場者：360人

(4) マイクロレジデンス・ネットワークフォーラム 2015

国内外の「アーティスト・イン・レジデンス（AIR）」に関するディレクター、アーティストを招き、アート、まちづくり、教育などの多分野を横断する活動紹介を行い、さいたま市独自のAIRについて考えるとともに、さらなる国際AIRネットワークの発展を期待するプロジェクト



第1日（全体会）：2015年11月22日（日）13:00～18:30

国際交流基金日本語教育センター〔さいたま市浦和区〕

参加者：70人

第2日（分科会）：2015年11月23日（月・祝）10:00～13:10

（総括） 岩槻駅東口コミュニティセンター〔さいたま市岩槻区〕

参加者：（分科会）81人（総括）81人

(5) さいたまトリエンナーレ2016リレートーク

さいたまトリエンナーレ2016にゆかりある方や各界の方々を招き、リレートークを実施
(モデレーター：芹沢高志)

日 時	会 場	テー マ	ゲ スト
第1回 参加 72人 2016年 1月 16日（土） 14:00～	コクーンシティ コクーン2 〔さいたま市大宮区〕	参加する トリエンナーレ	アンドレア・ポンピリオ (MC／ナビゲーター)
第2回 参加 72人 2016年 3月 2日（水） 19:00～	コクーンシティ コクーン2 〔さいたま市大宮区〕	アーティストからみる トリエンナーレ	大友 良英（参加アーティスト）
第3回 参加 103人 2016年 3月 13日（日） 14:00～	J Pタワー 〔東京都千代田区〕	国際芸術祭の未来	南條 史生（茨城県北芸術祭 2016） 帆足 亜紀（横浜トリエンナーレ） 港 千尋（あいちトリエンナーレ 2016）

3 さいたまスタディーズ

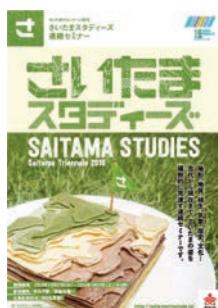
さいたまトリエンナーレ2016の開催に当たり、「土地の理解」を重要な出発点と考え、2015年度に地形、地質、植生、気象、歴史、文化など多方面から、さいたま市を横断的、即地的に見渡す地域研究を、アートプロジェクトに先行して実施した。

さいたま市内の研究者に加え、松田法子（京都府立大学）、深澤晃平（編集者・地図デザイナー）の両氏を外部から招き、研究者や実務者による全9回の調査研究会を実施した。

（1）連続セミナー（2015年度）

研究者や実務者による調査研究の成果発表として、全6回の連続セミナーを開催

日 時	会 場	テー マ	登 壇 者	参 加 人 数
第1回 2015年10月27日(火) 18:30～21:00	浦和コミュニティセンター 第13集会室	「現在のさいたま」 「地図とデータで見るさいたま」	後藤 真太郎 安部 邦昭 芹沢 高志	45人
第2回 2015年11月24日(火) 18:30～21:00	市民会館おおみや 第3・4・5集会室	「近現代のさいたま」 「いかにしてさいたまは、住宅都市、生活都市としてのアイデンティティを形成してきたか」	中津原 努 深堀 清隆	52人
第3回 2015年12月7日(月) 18:30～21:00	岩槻駅東口コミュニティセンター ワツツルームB	「近世・中世のさいたま」 「広大な関東平野をめぐる水みちと人の営み、そして江戸とさいたまの関係を知る」	藤原 梢子 若林 祥文 長谷川 ます代	65人
第4回 2016年2月5日(金) 18:30～21:00	武蔵浦和コミュニティセンター 第7・8・9集会室	「古代・先史のさいたま」 「海岸線の移動と土地の隆起・沈降が生み出した土地に、人類が定住しクニ、ムラを形成していった」	鈴木 正博 藤原 梢子 松浦 茂樹	89人
第5回 2016年2月20日(土) 14:00～16:30	浦和コミュニティセンター 第13集会室	「新たな視点で見るさいたま」 「地-質から見るさいたま」	松田 法子 芹沢 高志	90人
第6回 2016年3月19日(土) 14:00～16:30	コクーンシティ コクーン2 コクーンホール	「まとめ」 「さいたまスタディーズからさいたまトリエンナーレ2016に託すこと」	芹沢 高志 深澤 晃平 大洲 大作 高田 安規子 高田 政子	64人



（2）さいたまスタディーズ特別展示（2016年度）

さいたまトリエンナーレ2016の会期中、「うらわ美術館」に特設展示コーナーを設け、さいたまスタディーズの内容をより楽しく分かりやすくまとめ、展示

会場：うらわ美術館（さいたま市浦和区仲町2-5-1）

期間：2016年9月24日（土）～12月11日（日）

休館：月曜日、9月26日～10月9日、11月7日～11月18日



4 その他主催事業

さいたまトリエンナーレ2016開幕前の9月22日（木・祝）及び23日（金）に、関係者を招待して各会場にて内覧会を実施した。22日の内覧会終了後には、参加アーティストに縁のある駐日外国公館関係者などの来賓も迎え、会場の1つでもある彩の国さいたま芸術劇場にてレセプションを開催した。

（1）内覧会

日 時 2016年9月22日（木・祝）、23日（金） 各日 10:00～18:00
会 場 大宮区役所、旧部長公舎（セレモニーアートビレッジ）、旧民俗文化センター（セレモニーアートホール）など
来場者数 792人（受付3会場への来場者数の合計）

（2）レセプション

日 時 2016年9月22日（木・祝） 18:00～20:00
会 場 彩の国さいたま芸術劇場情報プラザ
来場者数 402人
内 容 オープニングアクト（さいたま市内の小学生によるミニロータスパフォーマンス）
ダンス指導：平山素子（コンテンポラリーダンサー）
協力：Y's Dance Company
アーティスト紹介
日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHAパフォーマンス ほか



【レセプション会場】



【オープニングアクト】

（3）オープニングセレモニー

日 時 2016年9月24日（土） 9:40～10:00
会 場 旧民俗文化センター
(セレモニーアートホール)
来場者数 182人



関連事業

5 市民プロジェクト

市内の各文化施設を会場として、開催テーマ「未来の発見！」に沿った演劇、音楽、パフォーマンス公演やアート作品の展示を行う参加者公募型のプロジェクト（文化芸術フェスタ in さいたま）のほか、市内の文化芸術団体などと相互協力・連携して、各種事業（計48事業）を展開した。

①文化芸術フェスタ in さいたま（6事業）

- ・参加希望者・団体を広く公募し、実行委員会を形成したうえで、公演・展示プログラムを企画・実施

②アート・ワークショップ・フェスティバル（19事業）

- ・市内の文化施設などにおいて、気軽にアート作品制作などを楽しめるワークショップを開催

③市内文化芸術団体との共催事業（2事業）

- ・さいたま市美術家協会、さいたま市文化協会と共に事業を実施

④その他（21事業）

- ・市内の文化芸術団体などが開催するアートフェスティバルやイベントを市民プロジェクトと認定し、広報・PRなどで協力

＜実施事業一覧＞

No.	区分	事業名	主催	会期	会場	参加者数	来場者数
1	文化芸術フェスタ	さいたま演劇フェスティバル 地域をみつめる「未来の扉」	さいたま市	演劇:10月22日(土) 展示:10月18日(火)～23日(日)	プラザイースト	1,116	627
2		さいたま学生 Art Festa ~Viva! 彩たまご!～		音楽:10月29日(土)、30日(日) 展示:10月25日(火)～30日(日)	プラザエスト	196	613
3		紅白ライブバトル トリエンナーレスペシャル		11月3日(木・祝)、13日(日)	市民会館おおみや	160	385
4		人形のまちいわつき 音楽交流フェスティバル		11月5日(土)、11月6日(日)	市民会館いわつき	457	547
5		アートをみるつくる展		11月8日(火)～13日(日)	さいたま市文化センター	24	408
6		ダンスパフォーマンスコレクション		11月12日(土)、13日(日)	与野本町コミュニティセンター	215	515
7	アート・ワークショップ・フェスティバル	初めての色鉛筆画を楽しむ講座	さいたま市	9月28日(水)、10月5日(水)、12日(水)、19日(水)	岩槻駅東口コミュニティセンター	20	—
8		作品展示＆体験会		9月28日(水)～10月2日(日)、7日(金)～10日(月・祝)、17日(月)、19日(水)～23日(日)、28日(金)～30日(日)、11月1日(火)～6日(日)、8日(火)～12日(土)、18日(金)、21日(月)～24日(木)、29日(火)～12月4日(日)、5日(月)～11日(日)	コミュニティセンターいわつき	231	2,219
9		浦和 ART Festival ~未来は花やぐ～		10月8日(土)	浦和コミュニティセンター	74	—
10		絵画ワークショップ		ワークショップ:10月8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日) 展示:10月22日(土)～10月31日(月)	高鼻コミュニティセンター	36	449
11		水彩画のワークショップ		10月13日(木)、20日(木)、27日(木)	西部文化センター	10	—
12		音楽療法ワークショップ		10月15日(土)	七里コミュニティセンター	56	—
13		トリエンナーレ in Misone ワンダーランド～ハロウィンランタン作りワークショップ＆アートコンテスト～		ワークショップ:10月15日(土) コンテスト:10月15日(土)～28日(金)	美園コミュニティセンター	35	1451
14		～アートな写真を撮りたい！～ デジタルカメラ入門講座		ワークショップ:10月15日(土)、22日(土)、29日(土) 展示:11月12日(土)～18日(金)	下落合コミュニティセンター	15	241
15		オカリナワークショップ～創・奏・想		ワークショップ:10月15日(土)、30日(日)、11月13日(日)、19日(土) 発表会:11月20日(日)	日進公園コミュニティセンター	20	63
16		トールペイントとお茶のコラボワークショップ		10月22日(土)	西部文化センター	10	—
17		初歩から始める！フラダンス・ワークショップ		10月26日(水)、11月2日(水)、9日(水)、16日(水)	南浦和コミュニティセンター	42	—
18	親子でアート体験	サークル体験 3days(フラワーアレンジメント・気功・絵画)	さいたま市	10月27日(木)、28日(金)、30日(日)	宮原コミュニティセンター	158	—
19		色と光が織りなす窓辺		10月29日(土)、30日(日)、11月23日(水・祝)、26日(土)	大宮工房館	58	—
20		氷川の杜文化館 能楽ワークショップ		11月6日(日)	氷川の杜文化館	13	129
21		アート・ワークショップ・フェスティバル		11月6日(日)	東大宮コミュニティセンター	31	258
22		サークル体験 day		11月25日(金)	片柳コミュニティセンター	131	—
23		マジックワークショップ & マジックショータイム		11月26日(土)	市民会館うらわ	14	52
24		親子でシュガーアート体験 & 作品展		ワークショップ:11月26日(土) 展示:11月27日(日)～12月10日(土)	馬宮コミュニティセンター	30	432
25	共催事業	手作り地球儀・月球儀を作ろう！	さいたま市美術家協会	12月3日(土)、4日(日)	宇宙劇場	37	—
26		さいたま市の美術家展		10月11日(火)～23日(日)	埼玉県立近代美術館	100	2,790
27		第8回文化フェスティバル		12月1日(木)～12月4日(日)	プラザノース	522	3,444

No.	区分	事業名	主催	会期	会場	参加者数	来場者数
28	アートフェスティバル	第5回人形の里アートフェスティバル(区民総合芸術祭)	第5回人形の里アートフェスティバル(区民総合芸術祭)実行委員会	11月10日(木)～13日(日)、12月10日(土)	岩槻駅東口コミュニティセンター(WATSU西館)、WATSU東館、岩槻本丸公民館 ほか	576	6,994
29		ノーマライゼーション・アート・コミュニティー	ノーマライゼーション・アート・コミュニティー実行委員会	10月23日(日) プレイベント:9月25日(日)～10月10日(月・祝)	桜木小学校、大宮駅西口DOM プレイベント:そごう大宮店	253	3,000
30		アーツさいたま・きたまちフェスタ 2016 DX	アーツさいたま・きたまち実行委員会	11月18日(金)～11月21日(月)	ステラタウン、大宮北ハウジングステージ、フラソース ほか	10	4,000
31		Arte よのだもんね!	Arte よのだもんね! 実行委員会	9月24日(土)	中央区役所、与野本町コミュニティセンター	235	1,300
32		にぎわいアート大宮	にぎわいアート大宮実行委員会	11月26日(土)、27日(日)	大宮小学校、大宮図書館、大宮銀座通り、まちラボおおみや	220	2,370
33		電子音響ピーブル・プロジェクト WS@Saitama	SMF (Saitama Muse Forum)	11月26日(土)、27日(日)	埼玉県立近代美術館講堂	—	110
34		MUCCA ワークショップ	SMF (Saitama Muse Forum)	10月16日(日)	埼玉県立近代美術館講堂	12	30
35		OMIYA プロジェクト 都市の夢	SMF (Saitama Muse Forum)	9月24日(土)～12月11日(日)	大宮駅周辺(市民会館おおみや、氷川参道 ほか)	77	2,579
36		TANBO プロジェクト 田園の夢	SMF (Saitama Muse Forum)	10月14日(金)、29日(土)、11月2日(水)～13日(日)	新加田屋たんば、加田屋たんば ほか	86	240
37		北浦和おかわり芸術祭	SMF (Saitama Muse Forum)	9月24日(土)、10月16日(日)、10月29日(土)～11月27日(日)	北浦和駅西口周辺(埼玉県立近代美術館、北浦和公園 ほか)	128	31,854
38	認定プロジェクト	第1回さいたまヨーロッパ野菜料理コンテスト	さいたま食文化未来創造プロジェクト実行委員会	審査:12月3日(土) 募集期間:10月5日(水)～11月4日(金)	埼玉ベルエボック製菓調理専門学校	36	14
39		さいたまトリエンナーレ2016～極上ダイニング～	さいたま食文化未来創造プロジェクト実行委員会	10月18日(火)	浦和ロイヤルパインズホテル	60	147
40		2016CAF ネビュラ展	2016CAF ネビュラ展実行委員会	11月9日(水)～11月20日(日)	埼玉県立近代美術館	100	2,374
41		音楽館第9回音楽祭＆ムジーカ第4回音楽祭	株式会社音楽館	10月2日(日)	市民会館うらわ	30	320
42		ステンドグラスパロック オープンファクトリー	株式会社ステンドグラスパロック	11月6日(日)	株式会社ステンドグラスパロック 本社工房・ギャラリー	12	180
43		Homely～「おかえりなさい」glassコンサート+せきねちか one wall exhibition with 鈴木広志 田中庸介 live	土瑠茶(ドルチェ)	11月23日(水・祝)	土瑠茶(ドルチェ)	4	38
44		第3回中央区絵画展	さいたま市中央区 さいたま市中央区美術家協会	10月31日(月)～12月22日(木)	中央区役所食堂棟	14	2,040
45		「ミリキタニの猫」特別編】上映会	土瑠茶(ドルチェ)	12月1日(木)	土瑠茶(ドルチェ)	3	34
46		武蔵浦和ハロウィン祭り2016	グリーンペアイングリッシュ	10月30日(日)	グリーンペアイングリッシュ校舎 花と緑の散歩道 他	24	1,000
47		コスプレ写真展＆木目込みコスプレ人形作り	3.11 復興支援コスプレイベント実行委員会、さいたまコスプレ聖地化計画実行委員会	11月19日(土)～23日(水・祝)	下落合コミュニティセンター	25	100
48		彩の国シネマスタジオ	NPO 法人埼玉映画ネットワーク	10月13日(木)～16日(日)、11月10日(木)～13日(日)、12月8日(木)～11日(日)	彩の国さいたま芸術劇場	30	1,487
市民プロジェクト(48事業)						5,746	74,834

6 連携プロジェクト

さいたまトリエンナーレ2016の開催趣旨に沿った、市内の多彩な文化施設などが主催する45事業を「連携プロジェクト」とし、共催や相互PRなどを行った。

＜実施事業一覧＞

No.	事業名	会期	会場	参加者数	来場者数
1	一万人のゴールドシアター2016 「金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～」	12月7日(水)	さいたまスーパーアリーナ	1,928	7,968
2	ニュー・ヴィジョン・サイタマ5 迫りだす身体	9月17日(土)～11月14日(月)	埼玉県立近代美術館	—	3,590
3	鉄道ジオラマ製作ワークショップ ～鉄道模型で未来の街づくり～	ワークショップ:11月5日(土)、6日(日) 展示:11月7日(月)～12月11日(日)	鉄道博物館	195	3,384
4	未来の発見の仕方: フルクサスの場合	9月6日(火)～9月25日(日)	うらわ美術館	—	868
5	第17回彩展	11月25日(金)～12月7日(水)	大宮盆栽美術館	28	2,893
6	身体表現ワークショップ「チームたまーりん」	10月23日(日)	さいたまスーパーアリーナ	16	200
7	フランス映画祭 in さいたま	9月17日(土)～24日(土)	市民会館おおみや	—	1,694
8	さいたま市の新たな一歩へ ～タケカワユキヒデコンサート with 市民アーティスト～	12月11日(日)	さいたま市文化センター	75	832
9	ゴダイゴコンサート ～ゴダイゴ with さいたま kid's～	合唱ワークショップ:8月6日(土)、17日(水)、25日(木)、 9月10日(土)、17日(土)、23日(金)、24日(土) 公演:9月24日(土)	さいたま市文化センター	63	738
10	市民落語発表会	10月8日(土)	市民会館うらわ	6	152
11	さいたま☆キッズダンスフェスタ2016	12月3日(土)	市民会館おおみや	185	815
12	ウレタン人形づくりと劇遊び	10月16日(日)	市民会館いわつき	7	—
13	こどもいわつき探訪	10月23日(日)	市民会館いわつき	13	—
14	さいたま茶会	11月3日(木・祝)	氷川の杜文化館、恭慶館	113	—
15	市民劇団 Liebe 公演 歌うスケアクロウ	演劇ワークショップ:6月5日(日)～10月7日(金) 演劇公演:10月8日(土)、9日(日)	プラザイースト	28	479
16	ジャズピアノ発表会	12月3日(土)	プラザ・ウエスト	14	135
17	ステップアップジャズピアノ講座	9月19日(月・祝)～11月27日(日)	プラザ・ウエスト	8	—
18	Domain of Art 17 ワークショップ「みんなの未来ハウスをつくろう！」	ワークショップ:8月6日(土)、7日(日) 展示:8月9日(火)～14日(日)	プラザノース	29	1,567
19	こども造形教室 「未来へワープ！顔出しバネルをつくろう！」	8月24日(水)	プラザノース	20	—
20	国際漫画フェスティバル	11月5日(土)～13日(日)	プラザノース	102	1,360
21	マンガチック音楽祭	11月5日(土)	プラザノース	—	300
22	こども絵画教室 「さわって発見！鉛筆デザイン」	7月27日(水)	プラザノース	24	—
23	田中公平トークショウ 「アニメ音楽は素晴らしい」	11月13日(日)	プラザノース	—	82
24	みんなでつくろう！トリエンナーレへのへのもへじ文字絵アート展	9月24日(土)～11月13日(日)	プラザノース	—	2,186
25	ムーブ！シャッフル！とび出せ！へのへのもへじ！	9月29日(木)～10月2日(日)	プラザノース	221	519
26	親子体験ワークショップへのへのアーティストになろう	10月10日(月)	プラザノース	18	—
27	あらい太朗とみんなでつくるトリエンナーレ	9月24日(土)～11月13日(日)	プラザノース	2	20
28	絆コンサート	12月3日(土)	馬宮コミュニティセンター	—	200
29	西部文化センターまつり～作品展示会～	11月12日(土)、13日(日) ※製作活動のブチ体験あり	西部文化センター	177	727
30	ふれあいコンサート	11月13日(日)	西部文化センター	—	60
31	宮原コミセン舞台まつり2016	11月12日(土)、13日(日)	宮原コミュニティセンター	411	577
32	オータムコンサート	10月29日(土)	宮原コミュニティセンター	59	141
33	宮原コミセンコンサート	11月13日(日)	宮原コミュニティセンター	2	60
34	第6回進公園コミセンレクフェスタ	11月20日(日)	日進公園コミュニティセンター	98	185
35	小学校作品展	10月15日(土)～23日(日)	与野本町コミュニティセンター	49	4,485
36	アフタヌーンティコンサート	12月4日(日)	与野本町コミュニティセンター	16	50
37	地域連絡協議会協力校 発表会	10月8日(土)、9日(日)	浦和コミュニティセンター	334	1,020
38	浦和 OYAJI-BAND FESTA	10月9日(日)	浦和コミュニティセンター	43	177
39	東大宮コミセンまつり舞台発表	10月8日(土)、9日(日)	東大宮コミュニティセンター	383	518
40	コミセンまつり	11月26日(土)、27日(日)	七里コミュニティセンター	330	1,064
41	地域の児童絵画展(3館連携)	10月15日(土)～31日(月)	片柳コミュニティセンター	34	1,703
42	第9回高鼻コミュニティセンターまつり作品展示会	10月22日(土)～10月31日(月) ※絵画ワークショップによる体験コーナーあり	高鼻コミュニティセンター	99	449
43	児童作品展	10月21日(金)～10月27日(木)	大宮工房館	130	284
44	コミセンいわつきまつり	11月26日(土)、27日(日)	コミュニティセンター岩槻	287	1,858
45	北沢楽天漫画大賞	11月26日(土)～2月12日(日) ※12月11日分までカウント	漫画会館	102	1,066
連携プロジェクト(45事業)					5,649 44,406

7 その他関連事業

市内の事業所等における創造的活動の継続的な展開を支援する事業（アーティスト・オン・サイト事業）のほか、トリエンナーレの開催機運醸成に向けて、様々な事業（計 54 事業）との連携を図った。

【例 1】アーティスト・オン・サイト

- ・アーティストが、福祉や医療、教育、企業などの様々な社会の現場（Site）で対話を重ねながら、作品制作や現場の創造的な活動を生み出していく新たな取組として、さいたまトリエンナーレ 2016 をきっかけにスタート
- ・2016 年度は、社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団との共催により、2 つのプログラムを実施

	アートワークショップ in みずき園	ダンスワークショップ in 春光園うえみず
概要	定期演奏会の舞台美術を施設利用者と制作	施設利用者とダンス作品を制作
アーティスト	新井厚子（美術家）	捩子びじん（ダンサー）
事業所（Site）	さいたま市みずき園 (さいたま市中央区大戸 2-7-21)	さいたま市障害者福祉施設春光園うえみず (さいたま市西区佐知川 299-16)
ワークショップ	9月 5 日～10月 12 日（計 9 回実施）	9月 7 日～11月 18 日（計 11 回実施）
成果発表	第 19 回みずき園音楽会（10月 29 日・埼玉県障害者交流センター）	成果発表公演《わからない？》（11月 18 日春光園うえみず）

【例 2】大学生によるさいたまトリエンナーレ 2016 応援情報誌の発行

- ・さいたま市内及び近隣の 12 大学で構成する「大学コンソーシアムさいたま」加盟大学の学生（11 名）が学生記者として活動し、参加アーティストへのインタビュー記事や会場周辺の散策情報などを盛り込んだフリーペーパーを発行
- ・全 3 号（開催準備号・開催同時号・開催中号）、各 5,000 部（合計 15,000 部）を発行し、会場周辺等に配架



＜実施事業一覧＞

○参加者数・来場者数集計対象

No.	区分	事業名	会期	会場	参加者数	来場者数
1	アーティスト・オン・サイト	音楽祭（新井厚子による舞台美術製作）	10月 29 日（土）	埼玉県障害者交流センター	20	131
2		捩子びじんと春光園通所者によるダンス発表会	11月 18 日（金）	春光園うえみず	20	59
3	府内連携事業	さいたま市民大学「さいたまトリエンナーレを知ろう！」	7月 30 日（土）	生涯学習総合センター	—	54
4		小・中・特別支援学校アート展「Dream！～未来の発見～」*	11月 19 日（土）、20 日（日）	プラザノース	8,874	4,213
5		クラス応援旗制作・展示*	11月 1 日（火）～12月 11 日（日）	各区役所	1,359	—
6		国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ 2016」さいたま市の歌「希望のまち」子ども等合唱団ムービー制作・放映*	—	YouTube	25,488	—
7		市歌「希望のまち」合同演奏*	11月 28 日（月）	さいたま市文化センター	500	568
8		公民館まつり（内野）	11月 5 日（土）	内野公民館	513	924
9		公民館まつり（田島）	10月 30 日（日）	田島公民館	500	2,000
10		公民館まつり（岸町）	10月 14 日（金）、15 日（土）、16 日（日）	岸町公民館	886	3,572
11		公民館まつり（浦和南）	10月 15 日（土）、22 日（土）、23 日（日）	浦和南公民館	207	883
12		公民館まつり（上木崎）	10月 2 日（日）、15 日（土）、16 日（日）、23 日（日）	上木崎公民館	350	1,840
13		公民館まつり（針ヶ谷）	10月 1 日（土）、2 日（日）、8 日（土）、9 日（日）	針ヶ谷公民館	526	1,387
14		公民館まつり（本太）	10月 28 日（金）～11月 1 日（火）、3 日（木・祝）	本太公民館	681	1,328
15		公民館まつり（仲町）	10月 9 日（日）、15 日（土）、16 日（日）	仲町公民館	336	667
16		公民館まつり（常盤）	10月 1 日（土）、7 日（金）～9 日（日）、15 日（土）	常盤公民館	463	1,213
17		公民館まつり（岩槻本丸）	10月 1 日（土）、2 日（日）、15 日（土）	岩槻本丸公民館	688	1,054
18		公民館まつり（岩槻本町）		岩槻本町公民館	169	570

No.	区分	事業名	会期	会場	参加者数	来場者数
19		公民館まつり(岩槻南部)		岩槻南部公民館 ※岩槻北部公民館は休館中のため、岩槻南部公民館と会場を合同にして公民館まつりを開催。	87	407
20		公民館まつり(岩槻北部)			42	
21		公民館まつり(岩槻城址)		岩槻城址公民館	62	232
22		武蔵浦和コミセン芸術展	9月 24日(土)、25日(日)	武蔵浦和コミュニティセンター	53	303
23		桜区再発見ウォーキング	11月 19日(土)	中浦和駅集合⇒桜環境センター解散	—	—
24		めざせループル美術館～第18回子ども絵画教室～	8月 21日(日)	プラザースト	113	—
25		緑区かかしランド2016	10月 25日(火)～11月 4日(金)	緑区役所 1階多目的室・区民ホール	1,183	1,000
26		うちのロビーコンサート	6月 6日(月)、10月 3日(月)、12月 5日(月)	内野公民館	41	158
27		テーマ資料展示「アートな本の世界～さいたまトリエンナーレ連携企画」	9月 24日(土)～12月 23日(金・祝)	岩槻駅東口図書館	—	—
28		図書館発行物の編集	10月	中央図書館	—	—
29		図書館まつり 工作ランド「アートなしおりを作ろう」	10月	中央図書館	—	—
30		図書館友の会講習会「自分の蔵書票を作ろう」	9月	中央図書館	24	—
31		アートについての本のテーマ展示	11月	北浦和図書館	—	—
32		図書館まつり講座「国際芸術展(トリエンナーレ、ビエンナーレ)」について	10月 26日(水)	北浦和図書館	—	21
33	大学コンソーシアム連携事業	大学生によるさいたまトリエンナーレ2016応援情報誌の発行	8月 26日(金)、9月 23日(金)、10月 27日(木) ※発刊日	—	61	—
34	P.R.イベント	鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア	5月 28日(土)	大宮駅コンコース	—	1,836
35		ヌウ広場 in コクーンシティ 開幕100日前 PRイベントワークショップ(さいたまの形、さいかくにん)	6月 18日(土)	コクーンシティ コクーン2	110	110
36		ヌウ広場 in コクーンシティ ミニ・ロータスワークショップ	8月 6日(土)	コクーンシティ コクーン2	185	185
37		2016人形のまち岩槻まつり ミニ・ロータスワークショップ	8月 21日(日)	WATSU 東館 1階	157	157
38		元荒川と船まつり ミニ・ロータスワークショップ	8月 27日(土)、28日(日)	岩槻区 つきのき広場	13	13
39		秋の夕涼み「ミニ・ロータス灯笼ワークショップ」	9月 10日(土)	別所沼公園 ヒアシンスハウス前	249	249
40		トーキイベント(芹沢ディレクター×アーティスト)	9月 15日(木)	B&B(書店)	—	16
41		ビジット・ジャパン in さいたま 2016 「さいたまマムアン」ボード展示	10月 17日(月)	パレスホテル大宮	34	34
42		ウォールアートペイント	11月 12日(土)	コクーンシティ コクーン2	335	335
43		岩槻区民やまぶきまつり「さいたまマムアン」ボード展示、リーフレット等配布	10月 16日(日)	岩槻文化公園	197	197
44		サイクルフェスタ2016「さいたまマムアン」ボード展示、リーフレット等配布	10月 29日(土)	三菱マテリアル(株) さいたま総合事務所隣接地	60	60
45		城下町岩槻廻狩り行列「さいたまマムアン」ボード展示、リーフレット等配布	11月 3日(木・祝)	クレセントモール	150	150
46		ヌウ広場 in コクーンシティ「さいたまマムアン」ボード展示、リーフレット等配布	11月 5日(土)	コクーンシティ コクーン2	150	150
47		「さいたまマムアン」ボード展示、リーフレット、クリアファイル等配布	11月 26日(土)、27日(日)	そごう大宮	190	190
48		「さいたまマムアン」ボード展示、リーフレット、クリアファイル等配布	12月 3日(土)	ルミネ大宮	169	169
49		14色のマスキングテープでオリジナルデコレーション！	11月 20日(日)	島忠ホームズ与野店	78	78
50		14色のマスキングテープでオリジナルデコレーション！	11月 23日(水・祝)	島忠ホームズ宮原店	77	77
51		クリスマスイベント(ワークショップ)	12月 4日(日)	コクーンシティ コクーン2	93	93
52	その他	さいたま市民文芸第15号	11月 3日(木・祝)	さいたま市役所(販売所)	61	—
53		オープンデータ アイディアソン・ハッカソン	2015年 9月 5日(土)、12日(土)	高鼻コミュニティセンター 武蔵浦和コミュニティセンター	46	—
54		けやきホームズ学童クラブ	8月 22日(月)～8月 26日(金)	けやきホームズ周辺	55	—
合計(54事業)					45,655	26,683

※このほか、さいたまトリエンナーレ2016の盛り上げに協力する「パートナーシップ事業」などの冠事業(239事業)との間で、広報面で協力・連携を図った。

※府内連携事業のうち、*を付した事業の費用については、さいたまトリエンナーレ2016の総事業費に含まれる。

IV サポーター

「共につくる、参加する芸術祭」を掲げる「さいたまトリエンナーレ2016」では、多くのサポーターがトリエンナーレを応援し、盛り上げるだけではなく、各プロジェクトへの参加や自主企画活動等により、トリエンナーレを一緒につくりあげる役割を担った。

サポーターの活動は、トリエンナーレ閉幕後も続き、自主活動として、シンポジウムの開催や記録集の作成、作品展等を実施し、継続した活動が広がりつつある。

1 サポーターの構成

登録者数（2016年12月12日現在）	973名
---------------------	------

＜内訳＞

○登録者男女比

	登録者数	割合
男性	333	34.22%
女性	640	65.78%
合計	973	100.00%

○登録者年代別

	人数	割合
10代	49	5.04%
20代	327	33.61%
30代	168	17.27%
40代	162	16.65%
50代	135	13.87%
60代	55	5.65%
70代	12	1.23%
80代	1	0.10%
不明	64	6.58%
合計	973	100.00%

○登録者職業別（任意登録）

	人数	割合
学生	152	15.62%
勤労者	309	31.76%
主婦・主夫	60	6.17%
パート・アルバイト	58	5.96%
退職者	38	3.91%
その他・不明	356	36.59%
合計	973	100.00%

2 サポーターの活動実績（2016年12月12日現在）

区分	内容	活動者数
プレイベントサポーター	開催前年度に実施したプレイベントにおける活動	55名
アートプロジェクト制作への参加	アーティストによる作品制作過程への協力	245名
会場サポーター	会期中の作品展示会場における案内・おもてなし活動	132名
HBサポーター	ホームベース・プロジェクト会場での案内・おもてなし活動	41名
イベントサポーター	PRイベントやワークショップの運営補助	39名
その他	サポーターミーティングやサポーター向け研修会等	1,089名
合計		1,601名

※活動者数は、個人として自主的に携わったアートプロジェクト制作への参加や、自主企画活動を除く。

○アートプロジェクト制作への参加事例

- ・チェ・ジョンファ 『ハッピーハッピー』 ワークショップの運営協力
- ・ダンカン・スピークマン&サラ・アンダーソン 『1000 のデュオのための曲』
リサーチ活動への協力や、オーディオ作品のテスト協力
- ・大友良英 『Ensembles Asia Special』 イベント運営協力
- ・長島確+やじるしのチーム 『←』 リサーチ協力
- ・日本相撲聞芸術作曲家協議会 JACSHA 「さいたま触れ太鼓隊」
ワークショップ運営協力
- ・川埜龍三 「さいたまB発掘キャラバン隊」 運営協力
- ・目 『Elemental Detection』 作品制作協力
- ・西尾美也 『感覚の洗濯』 ワークショップ運営協力
- ・マティ・アンドラシュ・ヴォグリンチチ 『無題（枕）』 作品制作協力 など



○研修会・ミーティング等

名 称	開催日	内 容
サポーターガイダンス ミーティング	2015年9月9日(水)	さいたまトリエンナーレ2016の魅力を伝え、一緒にトリエンナーレを作り上げるサポーターへつなげた。
サポータープレミーティング	2016年2月19日(金)	本番に向けたサポーター活動を本格的に始動するためのキックオフミーティングを開催
サポーターミーティング	2016年2月26日(金)～ ※会期末までに41回開催	サポーター同士の交流促進や最新情報の共有、アーティストとの出会いの場として開催
トリエンナーレ教室	2016年3月7日(月) 2016年3月23日(水)	トリエンナーレをはじめとするさまざまな分野を楽しみながら学べる「トリエンナーレ教室」を開催
会場サポーター 説明会・内覧会	2016年9月8日(木)～ 10日(土)、22日(木)	会期前に会場サポーター向けに活動内容や開催概要を説明。開催直前には内覧会で作品等を説明
会場サポーター 現地説明会	2016年10月～12月 ※計5回	会期中、作品展示会場において、会場サポーター向け説明会を開催
対話型鑑賞研修	2016年10月2日(日) 15日(土)	会期中、会場サポーター向けに実践編として、対話型で鑑賞を行う研修を開催

○主な自主企画活動（2016年度）

名 称	内 容
さいトリ便	7月からサポーター有志グループ「メディアラボ」が運営しているウェブサイト。さいたまトリエンナーレ2016の情報をサポーター目線で発信。
ながラジオ	7月始動のラジオ。さいたまトリエンナーレ2016の情報を発信し、アーティストが登場した回もあった。
ワークショップ	レインボースコープやオリジナルキャンドルホルダー作成のワークショップを5月と10月に計2回開催
さいたまトリエンナーレ 街歩きガイドツアー	大宮観光ボランティアガイド会と連携し、大宮・与野本町の街歩きツアーを開催。歴史的に由緒ある場所を回りながら、さいたまトリエンナーレ2016の作品展示会場を巡るツアー。10月～12月で計3回。
車上観察学会	参加アーティスト大洲大作氏のプロジェクト《車窓を集める》から派生した活動。ツアーを組み、車窓からの風景を共に探し出した。
未来トークさいたま	市内で様々な分野で活躍されている方をゲストにお迎えしてお話を聞くトークイベント。閉幕後も継続して開催中。10月～12月で計5回開催。
記録集作成	さいたまトリエンナーレ2016の記録集作成のため、編集会議を7月から開催。閉幕後も継続して活動中。
さいトリ未来会議 2016	さいたまトリエンナーレ2016を振り返り、来場者とともに、それぞれの発見した未来や今後の課題について語り合うシンポジウムを2月に開催。
その他	アーティストファイルやフラッグ、ロゴ看板、Tシャツなどを作成。

V 会場運営

1 インフォメーション

岩槻駅周辺エリアの玄関口となる岩槻駅改札前にインフォメーションを設置し、トリエンナーレのチラシやマップを配架したほか、当日のイベント案内を行うなど情報発信を行った。

○開設日 2016年9月24日～12月11日（旧民俗文化センター会場の休場日を除く。）

○開設時間 9:30～17:30

○業務内容 各種チラシやアートマップの配布

会場案内、シャトルバス案内

各種問い合わせ対応

当日のイベント案内

公式ガイドブック、公式カタログの販売

スタンプラリーの設置、特典の交換



2 案内サイン

来場者の回遊をサポートする案内サインを各エリアに設置した。設置に当たっては、トリエンナーレの告知を兼ねて、参加アーティストのウィスット・ポンニミット氏のキャラクター『マムアン』の『さいたまトリエンナーレバージョン「さいたまマムアン」』がガイド役となるデザインとし、アートマップ等の活用を想定したサイン計画を策定した。



【入口サイン（大宮区役所）】



【案内サイン（花と緑の散歩道）】



【ウェルカム装飾（市民会館おおみや）】



【会場装飾（西南さくら公園）】



【入口サイン（旧部長公舎）】

3 アートマップ

各エリアマップ、展示会場の地図やエリア間の交通などを掲載した「アートマップ」を作成し、各会場やインフォメーション（岩槻駅改札前）、大宮駅、さいたま新都心駅、浦和駅の観光案内所などで配布した。



4 シャトルバス

会期中、岩槻駅から旧民俗文化センター（セレモニーアートホール）会場までをつなぐシャトルバスを運行した。

○運行日 2016年9月22日～12月11日（旧民俗文化センター会場の休場日を除く。）

○運行ルート 岩槻駅東口～旧民俗文化センター～市宿～岩槻駅東口

○運行間隔 平日30分間隔、土・日・祝日20分間隔

※内覧会（9月22日・23日）は60分間隔



5 グッズ

さいたまトリエンナーレ2016の公式グッズとして、中島英樹氏が制作した「さいたまトリエンナーレロゴ」を使った「ノート（600円）」と、参加アーティストのウィスット・ポンニミット氏のキャラクター『マムアン』のさいたまトリエンナーレバージョン「さいたまマムアン」をつかった「トートバック（1,800円）」を製作し、「公式ガイドブック（1,000円）」とあわせて旧部長公舎（セレモニーアートビレッジ）の公式グッズ売り場にて販売した。12月10日からは「公式カタログ（2,000円）」も合わせて販売した。

さらに、参加アーティストである川埜龍三氏、日本相撲聞芸術作曲家協議会JACSHA、野口里佳氏、ウィスット・ポンニミット氏、高田安規子氏・政子氏のアーティストグッズを受託販売した。



【公式グッズ】



【公式ガイドブック、公式カタログ】



【アーティストグッズ販売風景】

6 公式ショップ、カフェ

旧部長公舎（セレモニーアートビレッジ）内に公式グッズ売り場とあわせてカフェを設置した。参加アーティストの高田安規子氏・政子氏の作品が展示されている会場内にカフェを併設し、作品を楽しみながら休憩や語らいができる場とした。

旧民俗文化センター（セレモニーアートホール）では、交流広場に自動販売機を設置した。



【カフェカウンターの様子】

7 スタンプラリー

会場回遊、街めぐり、再来訪を促進するため、会場 10 か所をめぐるスタンプラリーを実施した。参加アーティストのウイスット・ポンニミット氏のキャラクター『マムアン』のさいたまトリエンナーレバージョン「さいたまマムアン」を全面的に起用。また、ブロックチェーン技術（※）の実証実験を兼ねたスマートフォン版デジタルスタンプラリーも展開した。

※ブロックチェーン技術

分散型の情報管理台帳技術であり、中央集権的な管理やデータベースを持たずに信頼性の高いサービスを実現する仕組み。

○スタンプ設置場所（10箇所）

- ・彩の国さいたま芸術劇場
- ・大宮タカシマヤ
- ・大宮区役所
- ・市民会館おおみや
- ・旧部長公舎（セレモニーアートビレッジ）
- ・さいたまアートステーション
- ・桜環境センター
- ・旧民俗文化センター（セレモニー アートホール）
- ・K 邸
- ・インフォメーション



【スタンプ台紙】



【特典 (さいたまマムアンステッカー)】

【デジタルスタンプラリー画面】

VI 広報・PR

1 パブリシティ活動

(1) メディアへの情報提供

- ・企画内容、参加アーティストやイベント等の主要な情報が決定した際に記者発表会を開催した。
- ・さいたまトリエンナーレ2016の最新情報を各メディア関係者等に随時発信したほか、さいたま市役所市政記者クラブなどへ情報提供を行った。

○ 記者発表会

- ・メディア関係者や美術関係者を対象とした記者発表会を、さいたま市で2回、東京で2回開催した。

開催日	会場	内 容
2015年 3月25日(水)	国際交流基金 JFICホール「さくら」 (東京都新宿区)	<ul style="list-style-type: none">・開催計画・ロゴマーク 
2016年 3月25日(金)	日本外国特派員協会 (東京都千代田区)	<ul style="list-style-type: none">・開催概要・参加アーティスト  <p>photo : 関 有</p>
2016年 8月23日(木)	さいたま市役所 特別会議室	<ul style="list-style-type: none">・全体概要  <p>photo : 関 有</p>
2016年 9月23日(金)	大宮区役所 301会議室	<ul style="list-style-type: none">・全体概要・見どころ 

○ プレスツアーの実施

- ・内覧会の実施日である9月23日(金)に、芹沢ディレクターと各会場をめぐるプレスバスツアーを実施した。会場では芹沢ディレクター及びアーティストから芸術祭の見どころや作品解説が行われ、市内メディアをはじめ、アート関係者など48人が参加した。

○ 記者クラブへの情報提供

- ・2014年5月から2016年12月までに、さいたま市役所市政記者クラブを中心に、47回の情報提供を行った。
- ・開幕1か月前から閉幕の期間は、原則2週に1回のペースで、さいたまトリエンナーレ2016最新情報を掲載したプレスリリースを作成し、情報提供を行った。

(2) パブリシティ実績・効果

2014年4月から2017年1月までの間に、埼玉県内を中心として、新聞・雑誌・テレビ・ウェブなどの各種メディアで情報が発信され、1,876件の掲載・放送があった。

新聞、雑誌・フリーペーパー、テレビ、ラジオ、ウェブサイトなどに無料で掲載・放送された、さいたまトリエンナーレ2016の関連記事を広告費換算すると、約13億円の効果があった。

種別	報道・掲載件数	算出可能件数	広告換算額
新聞	538件	535件	3億4,523万円
雑誌・フリーペーパーなど	113件	79件	3,567万円
テレビ	67件	67件	3億9,808万円
ラジオ	1件	1件	131万円
ウェブサイト	1,157件	776件	5億1,984万円
計	1,876件	1,458件	13億0,018万円

※当実行委員会で、掲載・放送が確認できたもののみ掲載

※広告換算額は、掲載・放送された同じ分量を広告出稿した場合の料金であり、(株)サーベイリサーチセンターによる推計

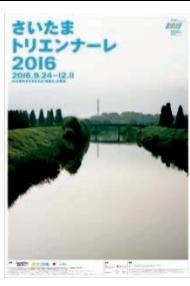
2 広報用印刷物等

- さいたまトリエンナーレ2016の広報印刷物等は、芸術祭全体を広報するものとして、ポスターを6種、計28,000部制作、リーフレットを5種、計605,000部制作、アートマップを1種200,000部制作した。
- キービジュアルを用いたポスター、リーフレットは、公式ロゴサインを制作した中島英樹氏がデザインした。
- その他、アートプロジェクトごとにリーフレットを制作し、各所へ配布した。

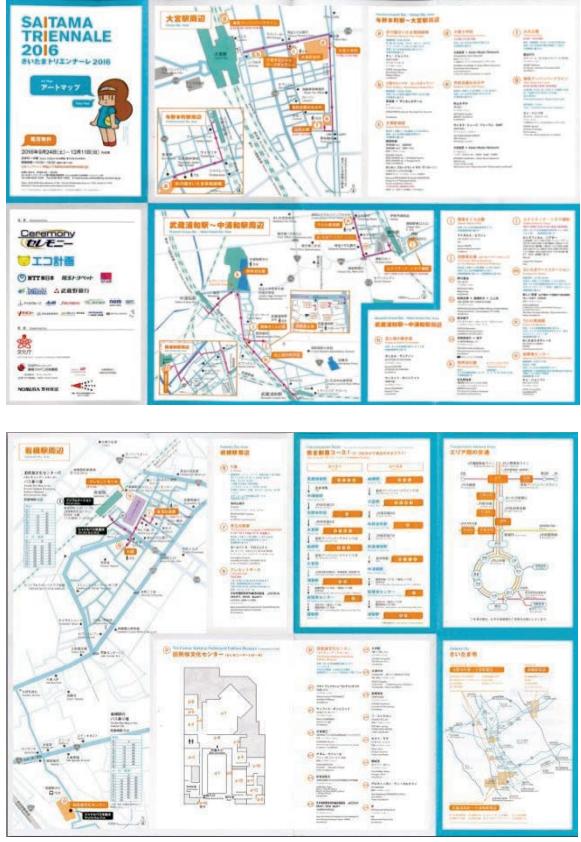
(主な配布先)

さいたまトリエンナーレ2016会場、美術館、ギャラリー、芸術系大学、アート関係団体、公共施設、文化施設、商業施設、鉄道主要駅・会場周辺駅、市内公立小・中・高等学校、市内大学、市内幼稚園、市内保育園、自治会掲示板・回覧、各種PRイベント等

印刷物	制作時期	内容
ポスター	ロゴポスター 2016年1月	<p>未来の発見! Envisioning the Future!</p>  <p>500部／B2版／4色カラー デザイン: NAKAJIMA DESIGN</p> <p>2016.9.24-12.11</p>
	自治会掲示板用 ポスター 2016年2月	<p>未来の発見! この秋、さいたまで アートが開花する。</p>  <p>4,500部／A3版／4色カラー</p> <p>http://saitamatriennale.jp</p>

ポスター	PR ポスター①	2016 年 2 月		2,000 部／B2 版／4 色カラー 4,500 部／A3 版／4 色カラー デザイン: 大岡寛典事務所
	キービジュアル ポスター①	2016 年 3 月		2,000 部／B2 版／4 色カラー デザイン: NAKAJIMA DESIGN キービジュアル: 野口里佳
	PR ポスター②	2016 年 8 月		5,000 部／B2 版／4 色カラー 4,500 部／A3 版／4 色カラー デザイン: 清水悟(suimok) イラスト: ウィスット・ポンニミット
	キービジュアル ポスター②	2016 年 9 月		5,000 部／B2 版／4 色カラー デザイン: NAKAJIMA DESIGN キービジュアル: 野口里佳
リーフレット	PR リーフレット①	2016 年 2 月		95,000 部／A4 版／4P／4 色カラー デザイン: 大岡寛典事務所
	キービジュアル リーフレット①	2016 年 3 月		50,000 部／A4 版／4P／4 色カラー デザイン: NAKAJIMA DESIGN キービジュアル: 野口里佳

リーフレット	PR リーフレット②	2016 年 8 月	 <p>145,000 部／A4 版／6P／4 色カラー デザイン: 清水悟(suimok) イラスト: ウィスット・ポンニミット</p>
	キービジュアル リーフレット②	2016 年 9 月	 <p>135,000 部／A4 版／6P／4 色カラー デザイン: NAKAJIMA DESIGN キービジュアル: 野口里佳</p>
	PR リーフレット③	2016 年 11 月	 <p>180,000 部／A4 版／6P／4 色カラー デザイン: 清水悟(suimok) 表紙作品: 川埜龍三《犀の角がもう少し長ければ歴史は変わっていたろう》 photo: KUTSUNA Koichiro, Alecibo</p>

その他	<p>アートマップ</p> <p>2016年9月</p>	 <p>200,000部／A3版／2P／経本3山折りを2つ折り／4色カラー — デザイン:清水悟(suimok) イラスト:ウイスト・ポンニミット</p>
	<p>クリアファイル</p> <p>2015年3月</p>	 <p>26,000部／A4版／4色カラー — デザイン:NAKAJIMA DESIGN</p>

3 ガイドブック、カタログ

(1) ガイドブック

さいたまトリエンナーレ2016の出品作品やアーティスト情報、詳細マップなどのほか、さいたまにまつわるトリビアやまち情報を掲載したハンディサイズの「さいたまトリエンナーレ2016公式ガイドブック」を発行した。

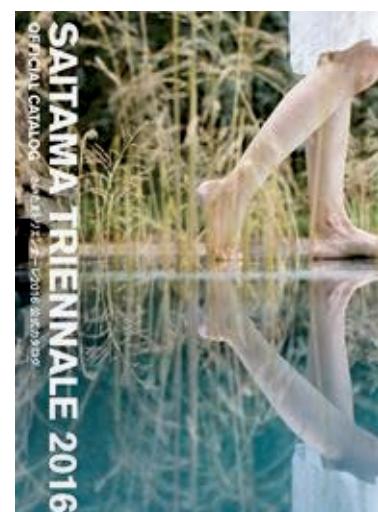
発売日	2016年9月16日(金)
判型等	A5判・平とじ・98ページ
発行部数	9,000部
販売価格	1,000円(税込)
販売場所	<ul style="list-style-type: none">さいたまトリエンナーレ2016会場インフォメーション(岩槻駅改札口前)埼玉県立近代美術館ミュージアムショップ市内書店、コンビニエンスストア全国主要書店インターネット書店(Amazonほか)など
内容	出品作品／アーティスト情報／さいたまトリエンナーレ2016全体マップ・駅周辺詳細マップ／さいたまトリビア(さいたまスタディーズ)／まち情報＆市民・連携プロジェクトリスト／イベントリスト／アクセスほか
制作・発行	凸版印刷株式会社



(2) カタログ

さいたまトリエンナーレ2016の国内外34組のアーティストによる全アートプロジェクトをまとめた「さいたまトリエンナーレ2016公式カタログ」を発行した。

発売日	2016年12月9日(金)
判型等	A4判・並製・104ページ
発行部数	2,000部
販売価格	2,000円(税込)
販売場所	<ul style="list-style-type: none">さいたまトリエンナーレ2016会場インフォメーション(岩槻駅改札口前)埼玉県立近代美術館ミュージアムショップ市内書店全国主要書店インターネット書店(Amazonほか)など
内容	ディレクターメッセージ／アートプロジェクト／関連事業／さいトリメイキング／イベントリスト／アートプロジェクト全作品リストほか
制作・発行	凸版印刷株式会社



4 ウェブサイト・SNS

さいたまトリエンナーレ2016公式ウェブサイト、フェイスブック、ツイッターなどで、即時性の高い情報発信を行った。

(1) 公式ウェブサイト

- ・本サイトはトータルで、124の国と地域からアクセスがあり、ウェブサイトを訪れた人の数は、1,046,951件であった。(サイトの立ち上げ(2015年3月25日)から2017年1月31日までの延べ数)
- ・会期中には88の国と地域からアクセスがあり、ウェブサイトを訪れた人の数は510,685件であった。
※同じ人が複数回、ページを閲覧しても、1件と数える。
- ・2015年3月に公開し、2016年3月にリニューアルを行った。また、開幕1か月前から閉幕までの期間は、情報発信力強化のため、随時改修を行った。
- ・ニュース掲載件数は、120件であった。(2017年3月31日時点)

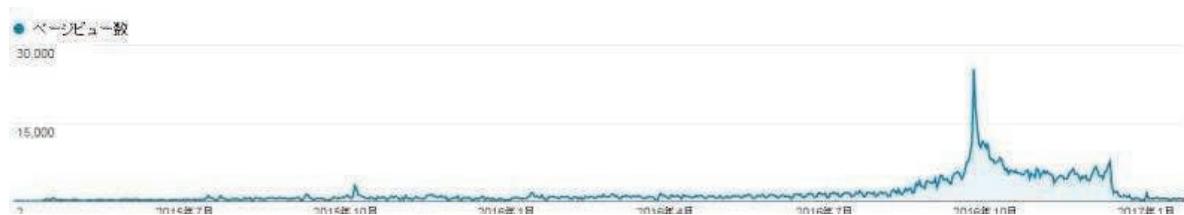
○トップページ(日本語版:左、英語版:右)



○ページビュー

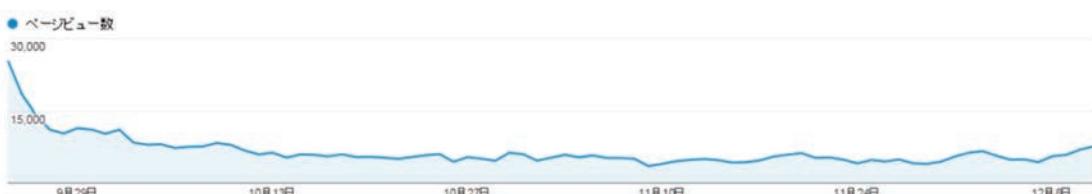
1,046,951ページビュー(全期間)

全期間: 2015年3月25日～2017年1月31日



510,685ページビュー(79日間)

会期中: 2016年9月24日～2016年12月11日



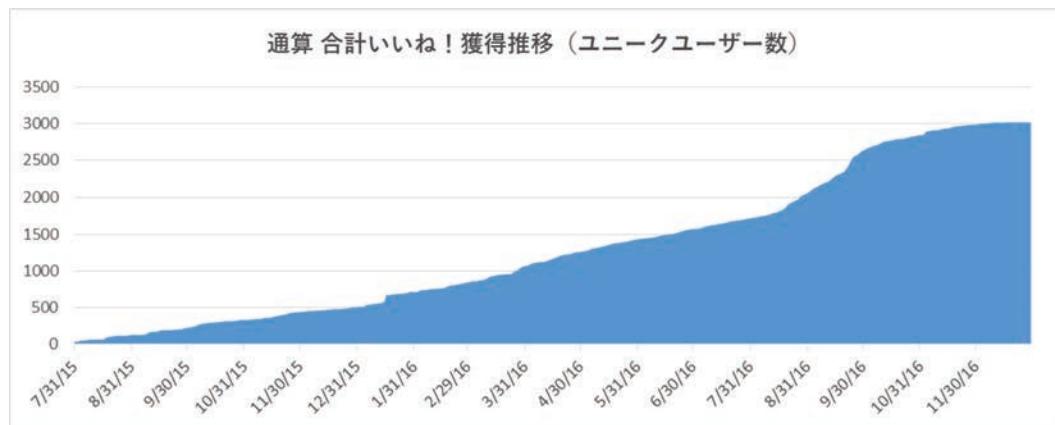
(2) 公式フェイスブック

- ・さいたまトリエンナーレ2016のアカウントを取得し、最新情報、アーティストやイベント情報などを随時発信した。
- ・2015年7月に開始し、投稿数は634件であった。
- ・公式フェイスブックへの「いいね！」数は3,020件（2016年12月11日時点）であった。



The screenshot shows the Facebook profile for 'さいたまトリエンナーレ2016'. It features a profile picture with the event's logo, a cover photo of a river landscape, and a timeline with several posts. The page has a blue header with the Facebook logo and a search bar.

Facebook 基本情報 (12月11日時点)
アカウント名：
さいたまトリエンナーレ2016
いいね！数：3,020件
投稿数：634件



(3) 公式ツイッター

- ・さいたまトリエンナーレ2016のアカウントを取得し、最新情報、アーティストやイベント情報などを随時発信した。
- ・2015年7月に開始し、ツイート数は542件であった。
- ・公式ツイッターのフォロワー数は1,224件（2016年12月11日時点）であった。



The screenshot shows the Twitter profile for 'さいたまトリエンナーレ2016'. It features a profile picture with the event's logo, a cover photo of a river landscape, and a timeline with several tweets. The page has a blue header with the Twitter logo and a search bar.

Twitter 基本情報 (12月11日時点)
アカウント名：@SaitamaTriennal
フォロワー数：1,224件
ツイート数：542件

(4) タンブラー

- ・2016年11月に、鑑賞者との双向的なコミュニケーションの充実を図るため、タンブラー「みんなのさいたまトリエンナーレ」を開設。
- ・さいたまトリエンナーレ2016に訪れた鑑賞者の方が、作品や会場の様子などをインスタグラムに投稿したり、ツイッターで写真付きでツイートしたりしている記事を検索・リブログし、たくさんの方が芸術祭を楽しんでいる総体を一望できる仕組みを構築した。

Tumblr 基本情報 (1月31日時点)

アカウント名：
みんなのさいたまトリエンナーレ

投稿数：4,413 件

リアクション数：335 件

5 広告

さいたまトリエンナーレ2016のPRなどを行うため、各種メディアへの広告や交通広告を展開した。



2016年2月27日掲載 読売新聞 地域面



大宮駅デジタルサイネージ

6 まちなかでのPR

- ・さいたまトリエンナーレ2016会場駅周辺を中心に、懸垂幕・横断幕やバナーの掲出、ウェルカムボードの設置等を行い、にぎわいや祝祭感を演出した。
- ・市内商業施設等の協力を得て、多くの方の集客が見込まれる場所に専用PRラックを設置し、さいたまトリエンナーレ2016のPRを実施した。
- ・東日本旅客鉄道株式会社及び東武鉄道株式会社の協力により、市内鉄道各駅において、ポスター掲出、リーフレット配架などを行い、さいたまトリエンナーレ2016の周知を図った。

種別	場所
懸垂幕・横断幕	さいたま市役所本庁舎、大宮区役所、中央区役所、南区役所、WATSU西館、市民会館おおみや
バナー	JR与野本町駅、JR武蔵浦和駅、JR中浦和駅
ウェルカムボード	JR与野本町駅、JR武蔵浦和駅前(東口)、東武鉄道岩槻駅、各主要会場
専用PRラック	コクーンシティ、ステラタウン、イオン(与野店・北浦和店・浦和美園店)、大宮タカシマヤ、そごう大宮店、ルミネ大宮、浦和ロイヤルパインズホテル、ユナイテッド・シネマ浦和、鉄道博物館、彩の国さいたま芸術劇場、大宮盆栽美術館、プラザノース、JR与野本町駅、JR浦和駅、JR武蔵浦和駅、JR中浦和駅



横断幕(さいたま市役所)



懸垂幕(WATSU 西館)



懸垂幕・バナー(さいたま新都心東西自由通路)



屋内バナー(JR 武蔵浦和駅)



ウェルカムボード(JR 武蔵浦和駅東口)



ウェルカムボード(JR 与野本町駅)



商業施設でのPR(コクーンシティ)



商業施設でのPR(ステラタウン)



商業施設でのPR(ユナイテッド・シネマ浦和)



案内サインによるPR(JR 大宮駅)



プロジェクターによる映像演出(JR 与野本町駅)



PRポスター(東武大宮駅)



PRリーフレット(東武大宮駅)



PRパネル(東武岩槻駅)



商業施設による応援バナー(WATSU 東館)

7 PR イベント

さいたまトリエンナーレ2016の開催周知を行うため、PRイベントを実施した。

(1) アートプロジェクトと連携したPRイベント

参加アーティストのチェ・ジョンファ氏の《息をする花》の市内巡回や「蓮（ロータス）の花」をイメージした同作品をモチーフにした「ミニ・ロータス」によるプロモーション企画を展開した。

○ 《息をする花》の市内巡回

開幕約半年前から、参加アーティストのチェ・ジョンファ氏の作品《息をする花》を市内巡回させ、さいたまトリエンナーレ2016の開催機運の醸成を図った。

また、6月16日（木）から6月30日（木）の期間は、開幕100日前PRとして、浦和区役所ロビー（さいたま市役所本庁舎）で作品展示を行った。

1	日時	2016年5月8日（日）
	会場	JR大宮駅コンコース [アートフルゆめまつり会場]
2	日時	2016年5月28日（土）
	会場	JR大宮駅コンコース [鉄道ふれあいフェア会場]
3	日時	2016年6月16日（木）～6月30日（木）
	会場	浦和区役所 ロビー（さいたま市役所本庁舎）
4	日時	2016年8月6日（土）～8月19日（金）
	会場	プラザノース
5	日時	2016年8月21日（日）
	会場	WATSU 東館1階 [2016人形のまち岩槻まつり会場]
6	日時	2016年8月23日（火）～8月31日（水）
	会場	さいたま市文化センター



photo : masanobu nishino



photo : ougi nakano



○ ワークショップ：「ミニ・ロータスを作ろう！」（全4回）

誰でも短時間で簡単に制作できるキットを使い、参加者が思い思いに色を塗って自分自身のミニ・ロータスを作るワークショップを実施し、「共につくる、参加する芸術祭」というコンセプトを含め、芸術祭をPRした。

1	日時	2016年8月6日（土）
	会場	コクーン2 [ヌウ広場 in コクーンシティ]
2	日時	2016年8月21日（日）
	会場	WATSU 東館1階 [2016人形のまち岩槻まつり会場]
3	日時	2016年8月27日（土）
	会場	つきのき広場 [元荒川和船まつり会場]
4	日時	2016年8月28日（日）
	会場	つきのき広場 [元荒川和船まつり会場]



photo : ougi nakano

○ PR イベント : 「ミニ・ロータス 灯籠イベント」

参加者が作った、ミニ・ロータスを灯籠流しに見立てた PR イベントを実施し、さいたまトリエンナーレ 2016 の開催告知を行うとともに、200 近いミニ・ロータスの灯籠の美しさにより、開幕直前の祝祭感を創出した。

日時 2016 年 9 月 10 日 (土)

会場 別所沼公園 ヒアシンスハウス及びヒアシンスハウス庭地



photo : koichiro kutsuna

○ オープニングアクト :

子どもたちによるミニ・ロータス・ダンス

市内の子どもたちによるロータスの精のダンスを、レセプションのオープニングアクトとして披露し、さいたまトリエンナーレ 2016 の祝祭ムードを盛り上げた。

日時 2016 年 9 月 22 日 (木・祝)

会場 彩の国さいたま芸術劇場

出演者 市内のバレエ教室に通う子どもたち 15 名

彩の国さいたま芸術劇場 近隣の小学生 16 名

振付指導 平山素子 Hirayama Motoko



(2) 市内企業との連携による PR イベント

片倉工業株式会社及び島忠株式会社との連携により、コクーンシティ、島忠ホームズ（与野店・宮原店）で、PR アートイベントを実施した。

○ ウォールアートペイント

マスキングテープを画材にして、壁や床に親子で芸術作品を描くアートイベントを実施した。アート作品の制作を通して、さいたまトリエンナーレ 2016 に興味をもっていただき、会場への誘客を図った。

さいたまトリエンナーレ 2016 × 片倉工業株式会社

日時 2016 年 11 月 12 日 (土)

会場 コクーンシティ コクーン 2 おもてなしプラザ



○ 14色のマスキングテープで オリジナルデコレーションをしよう！（全2回）

紙箱にさいたまトリエンナーレ2016の公式ロゴのカラーに近い14色のマスキングテープを使い、カラフルにデコレーションしてオリジナルの宝箱をつくるアートイベントを実施した。簡単なもの作りからアートを感じてもらい、さいたまトリエンナーレ2016への興味の喚起を図った。



さいたまトリエンナーレ2016 × 株式会社島忠

1	日時	2016年11月20日（日）
	会場	島忠ホームズ与野店
2	日時	2016年11月23日（水・祝）
	会場	島忠ホームズ宮原店

○ 皆のアートでキラキラ輝く未来の木！

蓮の花を模した、紙のオーナメントにトリエンナーレカラーを使って色とりどりに彩色して、クリスマスツリーを飾るワークショップを実施した。ワークショップを通じて、さいたまトリエンナーレ2016のアート作品に興味を持っていただき、会場への誘客を図った。



さいたまトリエンナーレ2016 × 片倉工業株式会社

日時	2016年12月4日（日）
会場	コクーンシティ コクーン2 ABCマート前広場

（3）トークイベント

ディレクター芹沢高志氏、参加アーティストの日比野克彦氏、マティ・アンドラシュ・ヴォグリンチッチ氏によるトークイベント「アート×サッカー+さいたま×スロヴェニア」を開催した。

公式ガイドブック刊行記念 「アート×サッカー+さいたま×スロヴェニア」

日時	2016年9月15日（木）
会場	本屋B&B
登壇者	芹沢高志、日比野克彦、 マティ・アンドラシュ・ヴォグリンチッチ
映像出演	ネイツ・ペチュニク氏 (大宮アルディージャ/スロヴェニア出身) ブルンコ・イリッチ氏 (浦和レッズ/スロヴェニア出身) ズラタン・リュビヤンキッチ氏 (浦和レッズ/スロヴェニア出身)



(4) デジタル・プロモーション企画

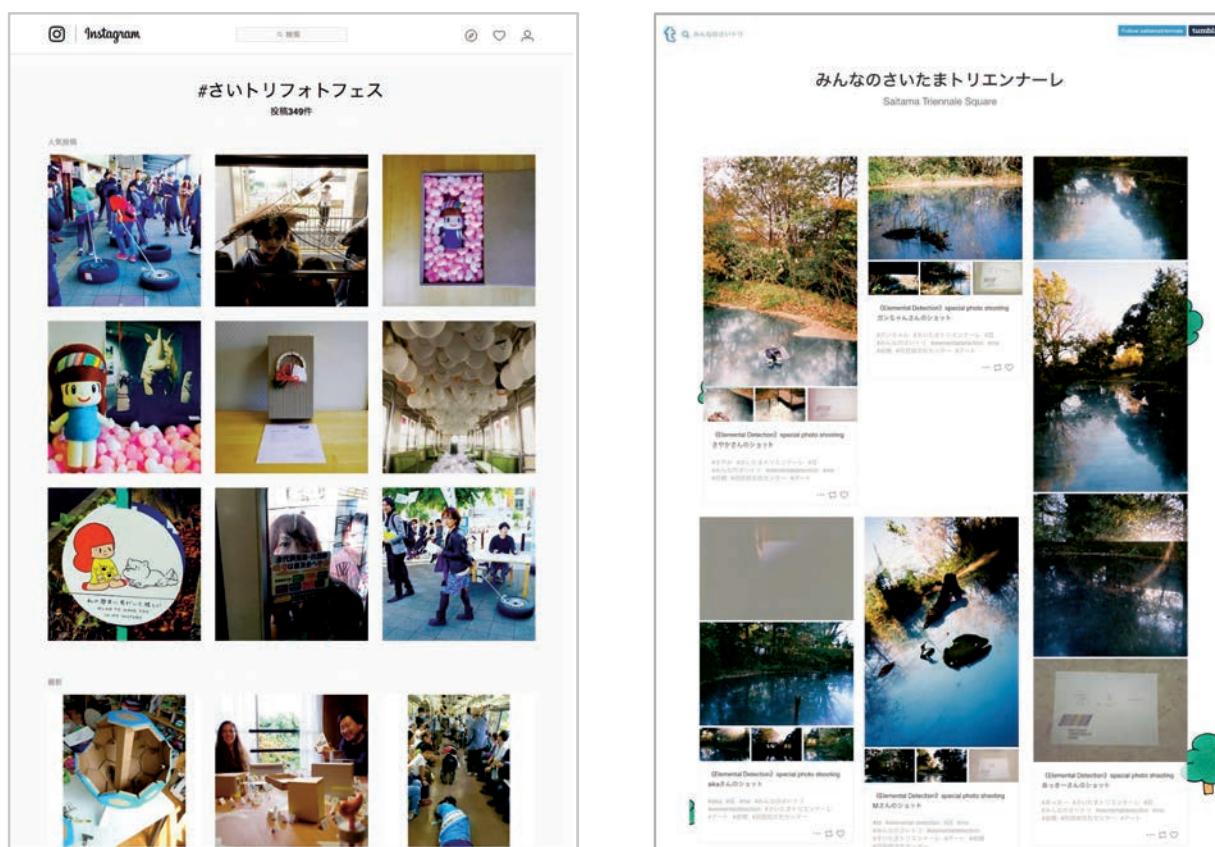
○「みんなのさいたまトリエンナーレ」フォトフェス！

来場者が自由に撮影した写真にハッシュタグ「#さいトリフォトフェス」をつけてツイッターまたはインスタグラムに投稿し参加できる、フォトフェス！を開催し、さいたまトリエンナーレ2016を盛り上げた。

○《Elemental Detection》スペシャル・フォトショーティング

作品鑑賞上の重要なコンセプトを含むため、一切の撮影を禁止していた、目の作品《Elemental Detection》を12月1日より会場で無料貸与する”フィルム”カメラに限り、撮影できる「《Elemental Detection》スペシャル・フォトショーティング」を行い、メイン会場のひとつである旧民俗文化センター（セレモニーアートホール）への誘客を図った。

参加者が撮影したネガは、データ化し、タンブラー「みんなのさいたまトリエンナーレ」にアップした。



8 さいたま市と連携した広報・PR

(1) PR 動画の制作

- ・さいたま市 PR 動画「Moving! Saitama City」において、「さいたまトリエンナーレ 2016」篇を制作し、各種イベントやさいたま市ホームページなどで放映した。



(2) さいたま市による「さいたまトリエンナーレ 2016」の情報発信

さいたま市のシティプロモーションの中で、さいたまトリエンナーレ 2016 に関する各種情報発信を行った。

・新聞広告

(2016年3月27日(日)埼玉新聞、2016年11月3日(木・祝)読売新聞及び朝日新聞)

- ・「大宮 BUZZCLIP」や「ラーラぱど」を活用した情報発信
- ・J:COM テレビ「週刊シティプロモーションご当地サタデー♪」におけるさいたまトリエンナーレ 2016 の見どころの紹介
- ・埼玉県内、東京都内における J:COM テレビでの CM の実施。
- ・東京メトロ 130 駅にて配布されるメトロガイド 12 月号への広告掲出
- ・TRAVEL JAPAN Wi-Fi を通じ、イベント情報を訪日外国人の情報端末等に発信



2016年11月3日掲載
読売新聞・朝日新聞 地域面



ラーラぱど 9月号



メトロガイド 12月号

(3) 市報さいたまへの掲載

- ・さいたま市の広報誌「市報さいたま」(市内全戸配布、発行部数約 59 万部) に、さいたまトリエンナーレ2016の情報を掲載し、市民への周知を図った。
- ・2016年5月から12月まで、毎月「特集」ページまたは「みんなの広場」ページでさいたまトリエンナーレ2016を紹介し、アートプロジェクトのみならず市民プロジェクト、連携プロジェクト、サポート情報など幅広い情報を掲載した。

号 数		コーナー	タイトル
平成27年度 (2015年度)	4月号	クローズアップ	「未来の発見！」をテーマに、平成28年秋、国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ2016」を開催します
	8月号	クローズアップ	「さいたまトリエンナーレ2016」のイベントを行います！
平成28年度 (2016年度)	5月号	特集	共につくる、参加する芸術祭 さいたまトリエンナーレ2016を開催します！
	6月号	みんなの広場	市民プロジェクト 参加者募集中！
	7月号	みんなの広場	アートプロジェクト 国内外で活躍する34組のアーティストが、さいたま市にやってくる！
	8月号	みんなの広場	さいたまトリエンナーレ2016を支えるサポートを募集！
	9月号	特集	いよいよ開幕！！さいたまトリエンナーレ2016
	10月号	みんなの広場	共につくる、参加する国際芸術祭 さいたまトリエンナーレ2016開催中
	11月号	みんなの広場	共につくる、参加する国際芸術祭 さいたまトリエンナーレ2016開催中
		フォト日記	さいたまトリエンナーレ2016
	12月号	みんなの広場	共につくる、参加する国際芸術祭 さいたまトリエンナーレ2016 閉幕まであと少し！お見逃しなく！



(4) 広報番組での紹介

- ・さいたま市のテレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」で、さいたまトリエンナーレ2016を取り上げ、魅力や楽しみ方などを紹介した。

放映日	内 容
2016年1月3日・10日	注目！さいたまトリエンナーレ
2016年11月6日・13日	アートの祭典 さいたまトリエンナーレ2016(前編)
2016年11月20日・27日	アートの祭典 さいたまトリエンナーレ2016(後編)



- ・さいたま市のパブリシティ枠を使い、さいたまトリエンナーレ2016のPRを行った。
(テレビ埼玉：5回、FM NACK5：9回、CityFMさいたま：4回)

(5) 関東・中部・東北自治宝くじの図柄でのPR

関東・中部・東北自治宝くじ事務協議会の協力を得て、2016年10月12日（水）から10月25日（火）までの期間に発売した「第2394回関東・中部・東北自治宝くじ」の図柄に、参加アーティストのチェ・ジョンファ氏の《息をする花》を掲載し、PRを行った。



(6) その他

- ・さいたま市のフェイスブック、ツイッター、メールマガジン、ブログでさいたまトリエンナーレ2016の最新情報等を発信
- ・さいたま市役所正面玄関にさいたまトリエンナーレ2016PRブースを設置
- ・さいたま新都心駅東西自由通路に、懸垂幕・バナーを装飾
- ・大宮駅西口アルシェやさいたま新都心駅前大型映像装置などを活用し、デジタルサイネージの掲出を展開

VII 来場者の状況等

1 参加者数・来場者数

(1) プロジェクト別参加者数・来場者数

	参 加 者 数	来 場 者 数		
		主な事業	主な事業	
アート プロジェクト (48事業)	7,011人	<ul style="list-style-type: none"> ●制作活動への参加（「サイタマ・フロンティージ」エキストラ出演など） ●ソポーター活動への参加 ●会場運営等への参加 ほか 	217,350人 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ●与野本町駅～大宮駅周辺 41,153人 ●武蔵浦和駅～中浦和駅周辺 153,884人 ●岩槻駅周辺 22,313人
市民 プロジェクト (48事業)	5,746人	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術フェスタ in さいたま（6事業） 2,168人 ●アート・ワークショップ・フェスティバル（19事業） 1,021人 ●アートフェスティバル（5事業） 1,294人 ほか 	74,834人	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術フェスタ in さいたま（6事業） 3,095人 ●アート・ワークショップ・フェスティバル（19事業） 5,294人 ●アートフェスティバル（5事業） 17,664人 ほか
連携 プロジェクト (45事業)	5,649人	<ul style="list-style-type: none"> ●1万人のゴールドシアター 1,928人 ●鉄道博物館（鉄道ジオラマ製作ワークショップ） 195人 ほか 	44,406人	<ul style="list-style-type: none"> ●1万人のゴールドシアター 7,968人 ●鉄道博物館（鉄道ジオラマ） 3,384人 ●近代美術館企画展 3,590人 ほか
その他 関連事業 (54事業)	45,655人	<ul style="list-style-type: none"> ●アーティスト・オン・サイト (2事業) 40人 ●小・中・特別支援学校アート展 8,874人 ●子ども合唱ムービー 25,488人 ほか 	26,683人	<ul style="list-style-type: none"> ●アーティスト・オン・サイト (2事業) 190人 ●小・中・特別支援学校アート展 4,213人 ほか
計 (195事業)	64,061人		363,273人	

※アートプロジェクトの来場者数には、「さいたまスタディーズ特別展示」（うらわ美術館）への来場者数を含む。

(2) アートプロジェクト参加者数 (内訳)

区分	内容	参加者数
1 制作活動への参加	(1) プレイベント【2015 年度】 ①種は船プロジェクト in さいたま Tシャツ制作者 63 人 ②あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き ・ワークショップ 72 人 ・手紙投函者 1,627 人	1,762
	(2) チェ・ジョンファ ・ハッピーハッピーワークショップ(5/27・28、7/23・24)	171
	(3) ダンカン・スピーカー・アンド・ソソン ①リサーチのお手伝い(4/14) 1 人 ②オーディオ作品テスト(9/19) 5 人 ③作品内英語音声(9/19) 1 人	7
	(4) 秋山さやか ・作品制作・収集補助	10
	(5) サイタマ・ミューズ・フォーラム(SMF) ・SMF 学校(ワークショップのみ) (9/24・25、10/11・13・14・15・16・22・30、11/19・20、12/3・4)	851
	(6) 大友良英 ①11/24 ワークショップ(大宮小) 168 人 ②11/26 ワークショップ(公募) 29 人 ③11/27 ワークショップ(公募) 100 人	297
	(7) ユン・ハンソル ①衣装製作ワークショップ(8/27～29) 16 人 ②オリエンテーション(9/12・13) 40 人 ③エキストラ出演(9/17・18・22・24・25、10/8・9) 333 人	389
	(8) 長島確+やじるしのチーム ①《←》参加登録人数 108 人 ②リサーチ情報提供(2/19、4/15、7/22、10/18) 95 人 ③リサーチ同行(5/13・20) 2 人	205
	(9) 野口里佳 ①9/19、9/20 作品制作補助(収集作業補助) 3 人 ②12/13 作品制作補助(収集作業補助) 1 人	4
	(10) 日比野克彦 ①公開制作&ワークショップ(9/1～11) 904 人 ②進水式(9/12) 60 人 ③別所沼公園を巡るツアー&写生大会(10/15・16) 78 人	1,042
	(11) 日本相撲聞芸術作家協議会 JACSHA ①4/1 リサーチ情報提供 9 人 ②相撲と音楽を楽しむワークショップ 89 人 ③子ども向けワークショップ 19 人 ④土俵祭りに向けたWS 46 人 ⑤土俵祭り(触れ太鼓隊) 18 人	181
	(12) 川埜龍三 ①サポーターミーティングで情報提供(4/22、5/6) 37 人 ②さいたまB発掘キャラバン隊(7/12～18) 101 人	138
	(13) 目 ・作品制作補助	31
	(14) 西尾美也 ①感覚の洗濯ワークショップ(7/10・17・31) 73 人 ②ジオラマ製作(27 人)、ミニチュア衣服制作・提供(15 人)	115
	(15) 大洲大作 ①「車窓をあつめる」プロジェクト投稿 58 人 ②9/4 サポータープロジェクト「車上観察学会」 5 人	63
	(16) 小沢剛 ・さいたま市民のJ. L コーラス隊 26 人	26
	(17) マティ・アンドラシュ・ヴォグリンチッチ ・作品制作補助	50
	(18) 向井山朋子 ・K 邸会場整備補助	1

	(19) ホームベース・プロジェクト ・作品制作補助(10/3~11/2)	16	
	(20) 多和田葉子 ・「白熊の部屋」内書籍送付	41	
	(21) オクイ・ララ ・映像作品への出演	22	
	(22) 鈴木桃子 ・作家衣装の素材布集め参加	15	
	(23) 藤城光 ①インタビュー50名、②思い出の品提供12名	62	
	(24) 松田正隆 ・取材協力	2	
	(25) 新しい骨董 ①5/20 サポーターミーティング内で情報提供25人 ②作品リサーチ協力4人	29	
2 イベント運営 ・会場運営等 への参加	(1) プレイイベント【2015年度】 ①種は船プロジェクト in さいたま 3人 ②あなたが誰かを好きのように、誰もが誰かを好き 32人 ③ホームベース・プロジェクトさいたま 2015 20人	55	
	(2) チェ・ジョンファ ・ハッピーハッピーワークショップ運営補助(5/28、7/23・24)	16	
	(3) 秋山さやか ・6/17 アーティストトーク運営補助	3	
	(4) サイタマ・ミューズ・フォーラム(SMF) ・SMF 学校運営補助	57	
	(5) 大友良英 ・11/27 イベント運営補助	4	
	(6) 長島確+やじるしのチーム ・5/8 やじるしアンケートのお手伝い	4	
	(7) 日比野克彦 ・別所沼公園を巡るツアー&写生大会運営補助(10/15・16) 各5名	10	
	(8) 日本相撲闘芸術作曲家協議会(JACSHA) ①3/11 チラシ作業 11人 ②4/2 Let's 相撲ミュージック in さいたまのお手伝い 4人 ③ワークショップ運営補助(5/14、6/18、7/26・27) 11人 ④11/20・21、12/6・11 アーティストトーク運営補助 計8名	34	455
	(9) 川埜龍三 ①7/14 ワークショップ補助 3人 ②7/17 ワークショップ補助 3人 ③7/18 ワークショップ補助 4人	10	
	(10) 西尾美也 ①6/26 ワークショップトライアル運営補助 13人 ②7/10 ワークショップ運営補助 4人 ③7/17 ワークショップ運営補助 1人 ④7/31 ワークショップ運営補助 2人	20	
	(11) ホームベース・プロジェクト ・11/3~12/11 HomeBase Project サポーター	41	
	(12) 会場サポーター ①与野本町～大宮エリア 36人 ②武藏浦和～中浦和エリア 61人 ③岩槻エリア 35人 ④その他(会場説明会など) 69人	201	
3 サポーター 活動への参加	(1) サポーターミーティング ①プレミーティング(15/9/9、16/2/19) 49人 ②原則週1回のミーティング(2/26以降 39回開催) 925人	974	
	(2) トリエンナーレ教室 ・サポーター向けレクチャー(3/7・23)	34	1,026
	(3) 対話鑑賞型研修 ・作品と鑑賞者との関係性に関する研修(10/2・15)	18	
合 計		7,011	

(3) アートプロジェクト来場者数 (内訳)

エリア	会 場	来場者数	備考(基準地点など)
与野本町駅 ~大宮駅周辺	彩の国さいたま芸術劇場	9,624	チエ・ジョンファ 『ハッピー・ハッピー』
	大宮タカシマヤ ローズギャラリー	8,330	長島確+やじるしのチーム 『←』
	大宮区役所	7,551	岡田利規 『映像演劇op.1椎橋綾那』
	大宮小学校	750	大友良英+Asian Music Network 『Ensembles Asia Special』 ※11/26、27のみ
	市民会館おおみや	8,802	秋山さやか『零』 SMF『SMF学校』 大友良英ほか『Ensembles Asia Special』※11/25のみ
	山丸公園	5,534	磯辺行久 『エアードーム;さいたまトリエンナーレ2016』
	東武アーバンパークライン	562	ユン・ハンソル 『サイタマ・フロンテージ』 ※9/24・25、10/8・9のみ
	小 計	41,153	
武蔵浦和駅 ~中浦和駅周辺	花と緑の散歩道	82,290	ダニエル・グエティン 『STAION TO STATION』
	西南さくら公園	51,106	アイガルス・ビクシェ 『さいたまビジネスマン』
	旧部長公舎(セレモニーアートビレッジ)	11,206	高田安規子+政子 『土地の記憶を辿って』
	別所沼公園	3,491	日比野克彦『種は船プロジェクトinさいたまドキュメント映像』 ※ヒアシンスハウス来場者(水土日祝のみ)
	ユナイテッド・シネマ浦和	279	ロングフィルム・シアター ※10/7・8、11/4・5、12/2・3のみ
	さいたまアートステーション	2,577	新しい骨董 『新しい骨董市／記録映像』
	うらわ美術館	2,223	さいたまスタディーズ 『特別展示』
	桜環境センター	712	チエ・ジョンファ『サイタマンダラ』 ※スタンプラリー・コンプリート数
	小 計	153,884	
岩槻駅周辺	旧民俗文化センター(セレモニーアートホール)	15,269	入場者数
	K邸	2,331	向井山朋子 『HOME』
	東玉社員寮	4,384	ホームベース・プロジェクト 『ホームベース・プロジェクトさいたま2016』※11/3~12/11
	クレセントモール	329	日本相撲聞芸術作曲家協議会 『JACSHA土俵祭りin岩槻』 ※10/2のみ
	小 計	22,313	
合 計		217,350	

(注)来場者数は、上記19会場において基準地点(対象プロジェクト)を定めて計測したもので、すべてのプロジェクトを網羅するものではありません。

2 開催効果調査分析

I 認知度調査

(1) 調査目的

- ・「さいたまトリエンナーレ2016」の会期前、会期中、及び会期後に、市内主要駅周辺においてトリエンナーレ開催の認知度を把握する。

(2) 調査概要

*本文及び表中の「N」は母集団、「n」は母集団から得たサンプル、「s」はサンプルを指す。

■調査実施日

	平日	休日	計
会期前	9/14(水)	9/11(日)	2日間
会期中	11/2(水)	10/30(日)	2日間
会期後	12/14(水)	12/17(土)	2日間
* 平成28年(2016年)実施			6日間

■調査地点

	大宮駅	浦和駅	武藏浦和駅	岩槻駅
会期前	大宮駅西口ペデストリアンデッキ	浦和駅東口ロータリー	武藏浦和駅西口・東口ロータリー	岩槻駅駅前ロータリー
会期中	大宮駅東口ロータリー	浦和駅東口ロータリー	武藏浦和駅西口・東口ロータリー	岩槻駅駅前ロータリー
会期後	大宮駅東口ロータリー	浦和駅東口ロータリー	武藏浦和駅西口・東口ロータリー	岩槻駅駅前ロータリー

■調査方法

- ・調査地点において、調査員が通行人へ無作為に声をかけ、アンケートへの協力依頼後、質問紙を用いた対面式アンケートを実施

■調査回収サンプル数

会期前	368s
会期中	369s
会期後	368s
合計	1105s

■調査内容

1. 「さいたまトリエンナーレ2016」の認知度
2. 「さいたまトリエンナーレ2016」の認知経路
3. 「さいたまトリエンナーレ2016」への鑑賞意向（鑑賞状況）*
4. 参加プログラムへの参加意向（参加状況）*
5. 文化芸術への関心度
6. 調査回答者属性（性別、年代、職業、未既婚、居住地、勤務地域）

*上記調査内容については、会期前は「鑑賞意向」「参加意向」について尋ね、会期中、会期後は鑑賞状況、参加状況を聞いた

(3) 調査結果

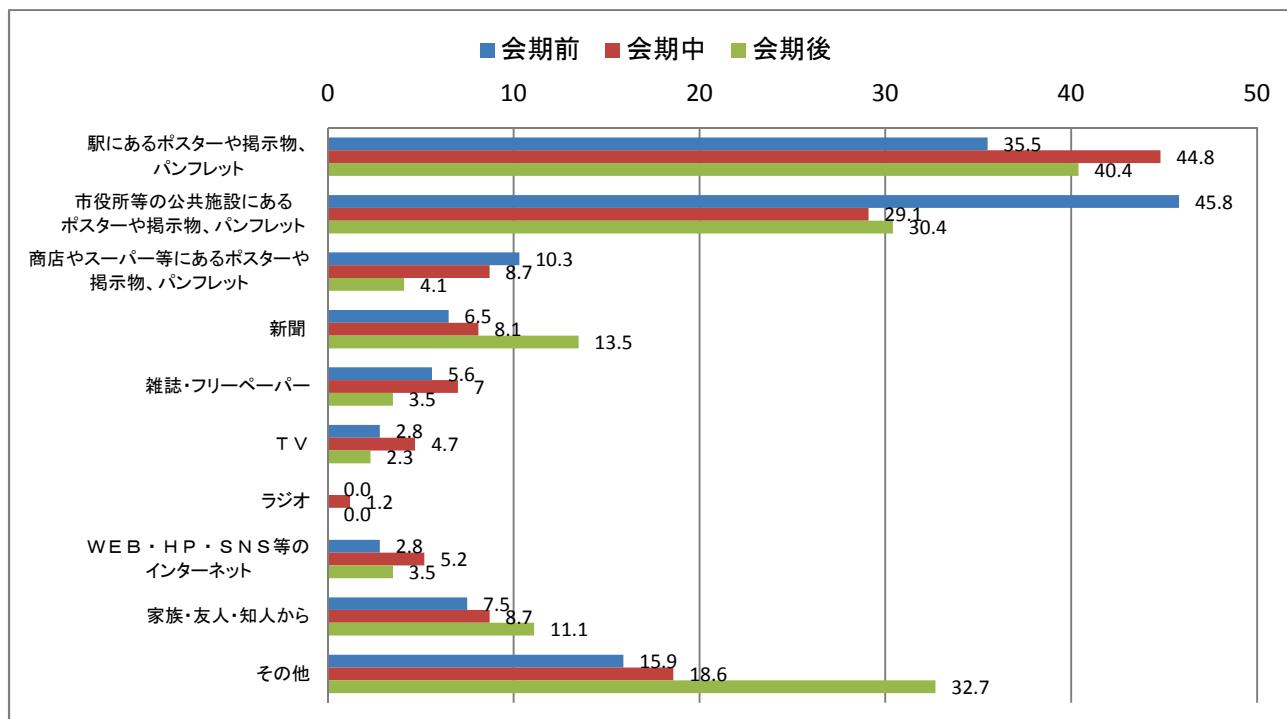
<「さいたまトリエンナーレ2016」の認知度>

- ・「さいたまトリエンナーレ2016」について「具体的な内容まで知っている」と回答した人は、会期前は12.0%しかいなかったが、会期中は26.3%と認知度は上昇した。
- ・会期前は「さいたまトリエンナーレ2016」を「知らない」と回答している人は70.9%であったが、会期中は53.4%、会期後は53.5%と減少傾向にあったものの、半数以上の人人が「さいたまトリエンナーレ2016」を認知していなかった。



<「さいたまトリエンナーレ2016」を知ったきっかけ>

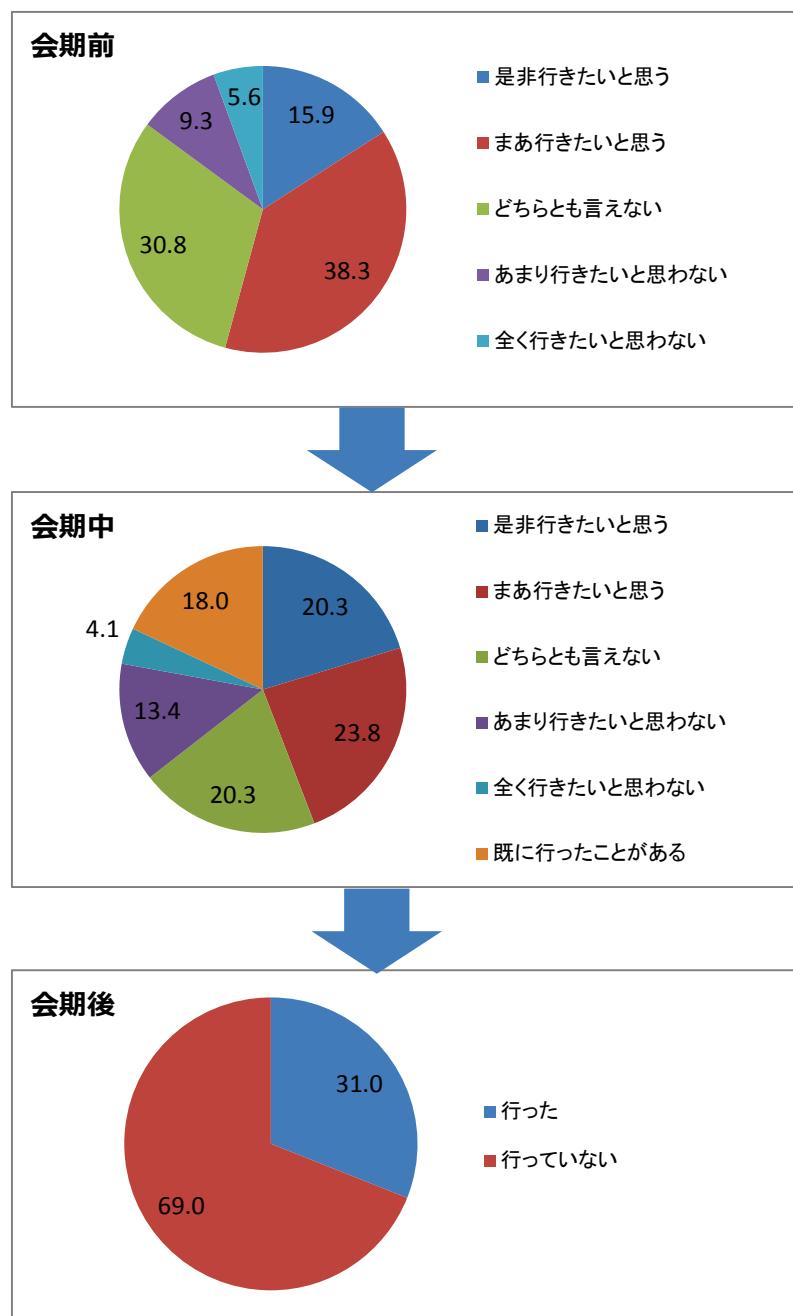
- ・「さいたまトリエンナーレ2016」については、「知っている」または、「言葉は聞いたことがある、もしくはロゴマークは見たはあるが具体的な内容は知らない」と回答した人に対して、トリエンナーレの認知経路について尋ねたところ、会期前に最も多かった回答は、上位から「市役所等の公共施設にあるポスターや掲示物、パンフレット」(45.8%)、次に「駅にあるポスターや掲示物、パンフレット」(35.5%)、「商店やスーパー等にあるポスターや掲示物、パンフレット」(10.3%)であった。
- ・また、会期中、会期後になると「駅にあるポスターや掲示物、パンフレット」と回答している人は増加しており、特に、会期前の35.5%に対して会期中は44.8%と9.3%上昇していた。



会期前：107s / 会期中：172s / 会期後：171s

＜「さいたまトリエンナーレ2016」への鑑賞意向／状況＞

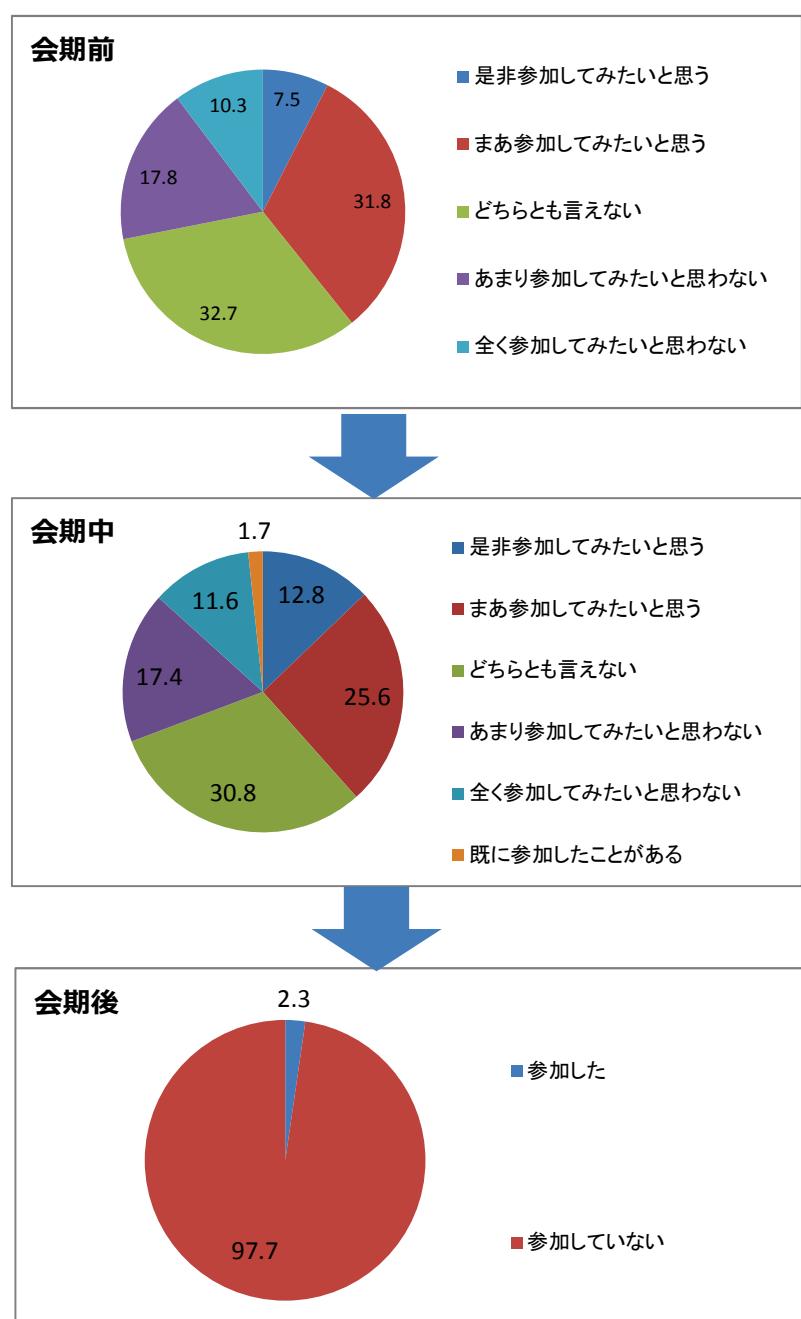
- ・「さいたまトリエンナーレ2016」については、「知っている」または、「言葉は聞いたことがある、もしくはロゴマークは見たはあるが具体的な内容は知らない」と回答した人に対して、さいたまトリエンナーレの鑑賞意向と鑑賞状況について尋ねた。
- ・会期前に鑑賞意向を示した人（「是非行きたいと思う」と「まあ行きたいと思う」の回答者比率の合計）は54.2%と約半数を占めている。
- ・会期中では鑑賞意向を示した人は44.1%であり、会期前に比べると10.1%下がっているものの「既に行ったことがある」と回答している18.0%の結果と合わせると、62.1%の人が興味を持っていることが窺える。
- ・会期後に鑑賞状況を尋ねたところ、さいたまトリエンナーレに行ったことのある人は31.0%であり、行っていない人が約7割を占めていた。



会期前：107s／会期中：172s／会期後：171s

＜参加プログラムへの参加状況＞

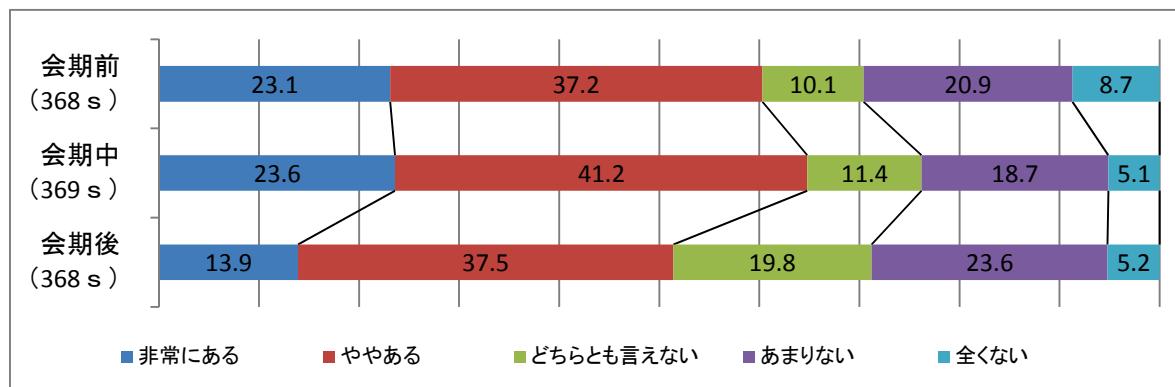
- ・「さいたまトリエンナーレ2016」については、「知っている」または、「言葉は聞いたことがある、もしくはロゴマークは見たことはあるが具体的な内容は知らない」と回答した人に対して、さいたまトリエンナーレの参加できるプログラムへの参加意向を尋ねた。
- ・会期前に参加意向を示した人は、39.3%（「是非参加してみたいと思う」と「まあ参加してみたいと思う」の回答者比率の合計）で全体の3分の1程度しか興味を持っていなかったことが窺える。
- ・会期中も同様に参加意向を示した人は、38.4%（上記同様）となっており、会期前と比べてあまり変化はなかった。
- ・会期後の結果では、参加できるプログラムに参加したと回答した人は2.3%となっており、参加していないという回答が9割と大きく上回った。



会期前：107s / 会期中：172s / 会期後：171s

＜文化芸術への関心度＞

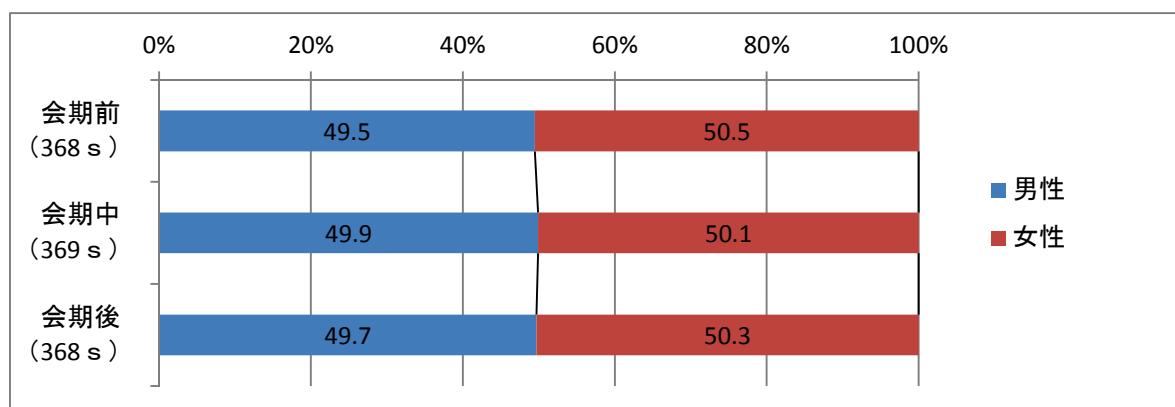
- ・文化芸術に対しての興味関心を聞いたところ、興味関心があると回答している人（「非常にある」と「ややある」の回答者比率の合計）は、会期前は 60.2%だったが、会期中になると 64.8%と 4.6%増加していた。
- ・ただ、会期が終わってしまうと文化芸術に対して興味を持っている人は、51.4%と会期中に比べ 13.4%も減少した。



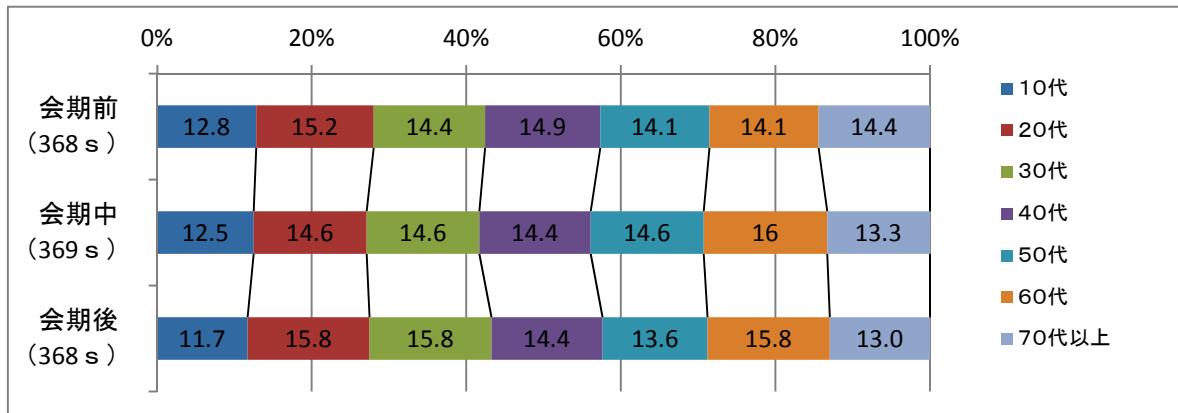
【回答者属性】

- ・回答者の性別／年代については、均等に意見を聴取することによって、回答の偏りをなくした。
- ・回答者の居住地は「会期前」「会期中」「会期後」のいずれも 7 割から 8 割をさいたま市居住の人が占めている。

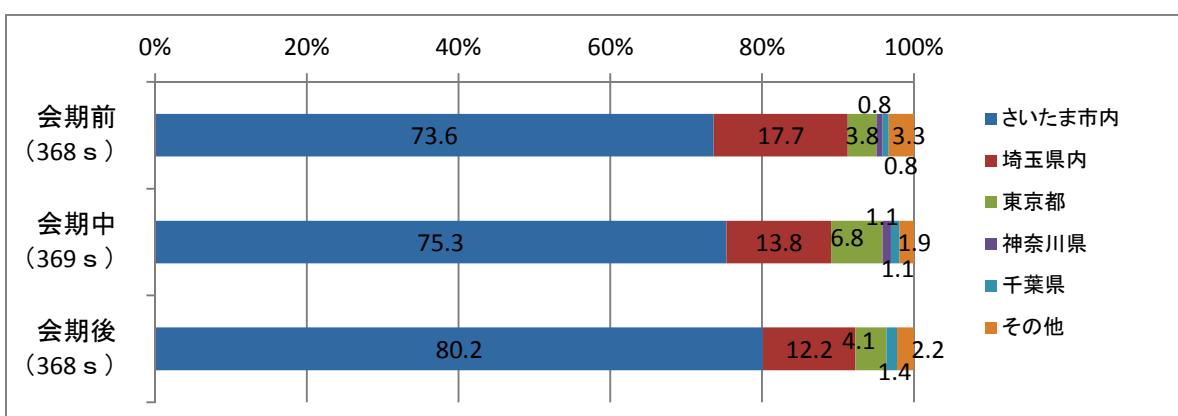
＜性別＞



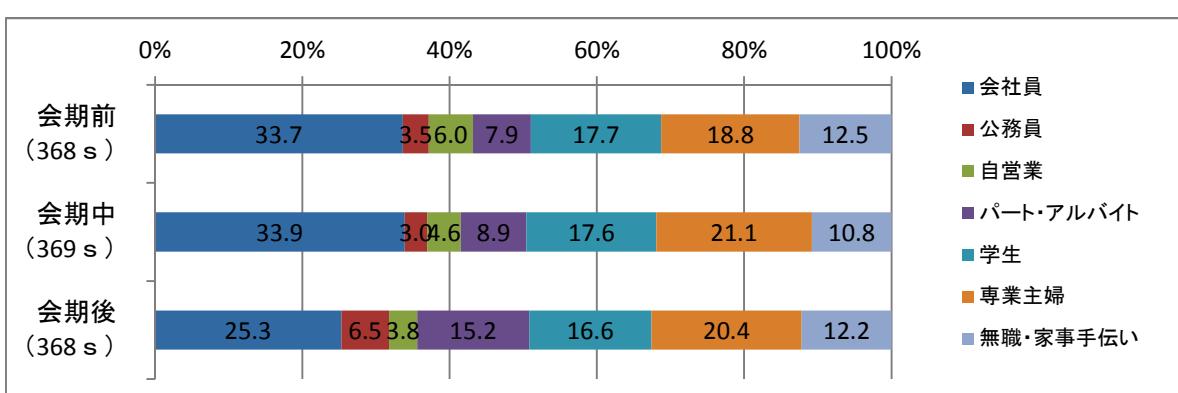
＜年齢＞



＜居住地＞



＜職業＞



II 来場者調査

(1) 調査目的

- ・さいたまトリエンナーレ2016来場者の満足度や要望、意見等を把握する

(2) 調査概要

■調査実施日

調査日								計
9月	9/24(土)	9/29(木)	-	-	-	-	-	2日間
10月	10/2(日)	10/6(木)	10/11(火)	10/15(土)	10/20(木)	10/27(木)	10/29(土)	7日間
11月	11/5(土)	11/6(日)	11/12(土)	11/13(日)	11/18(金)	11/23(祝)	11/27(日)	7日間
12月	12/3(土)	12/4(日)	12/10(土)	12/11(日)	-	-	-	4日間
*平成28年(2016年)実施								20日間

■調査地点

	調査場所
1	彩の国さいたま芸術劇場
2	大宮タカシマヤ ローズギャラリー
3	大宮区役所
4	大宮小学校
5	市民会館おおみや
6	山丸公園
7	東武鉄道大宮駅
8	宇宙劇場
9	大宮盆栽美術館
10	新加田屋たんぽ
11	西部文化センター
12	氷川の杜文化館
13	プラザノース
14	花と緑の散歩道
15	西南さくら公園
16	旧部長公舎
17	別所沼公園
18	さいたまアートステーション
19	うらわ美術館
20	桜環境センター
21	北浦和西口銀座商店街
22	埼玉県立近代美術館
23	プラザイースト
24	北浦和公園
25	旧民俗文化センター
26	K邸
27	東玉社員寮
28	クレセントモール
29	コミュニティセンターいわつき

計29地点

■調査方法

- ・各会場、各作品を鑑賞し終えた来場者に対して、質問紙を用いた対面式アンケートを実施

■調査回収サンプル数

TOTAL 2165s

(3) 調査結果

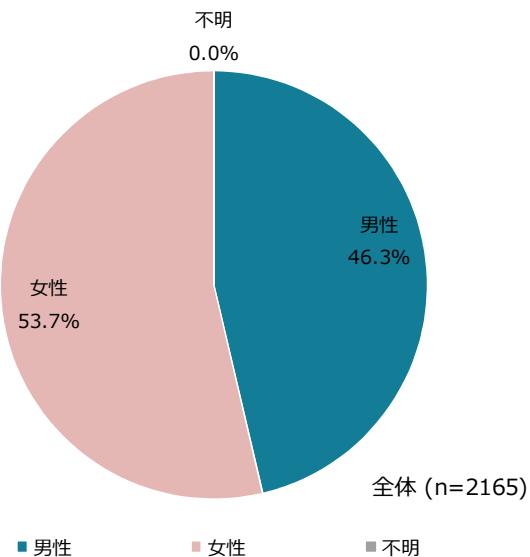
- ・質問項目は属性項目を除き 31 項目であったが、報告書内に記載している結果と図表については、そのうち来場者の全体傾向を示しているもののみを抜粋し、掲載した。

【回答者属性】

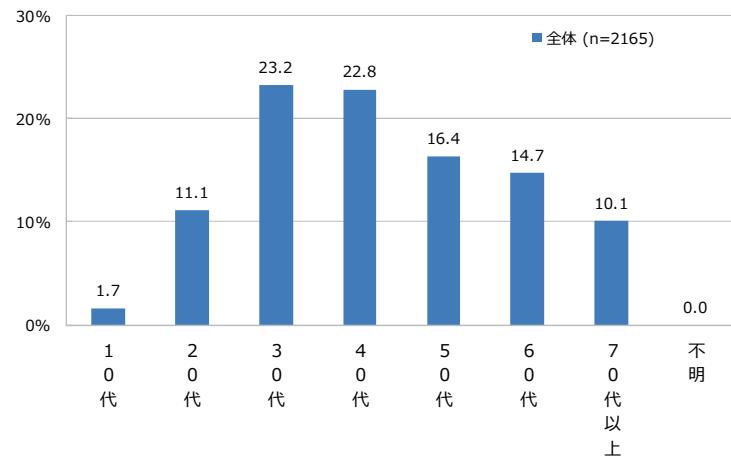
- ・性別は、女性が 53.7%、男性 46.3%となっていた。
- ・年代は 30 代が 23.2%、40 代が 22.8%と 30~40 代の来場者で 46.0%と約半数を占めている。また、10 代、20 代の若年層は 12.8%で、特に 10 代の来場者が 1.7%と最も少なかった。
- ・居住地は、さいたま市在住者が 56.8%となっており、半数以上を地元市民が占めていた。次いで東京都 15.1%、埼玉県内（さいたま市除く）14.7%と続く。さいたま市を含めたさいたま県内からの来場者は 71.5%を占めており、東京都、神奈川県、千葉県も含めた関東近郊都市からの来場者は 93.3%となっている。
- ・利用交通については、「鉄道」と回答している人が 48.0%と最も多くなっているが、次いで「徒歩」と回答している人 24.0%となっており、地元市民が多く鑑賞していることが利用交通からも窺える結果となった。
- ・同伴者では、「ひとり」と回答した人が 48.0%と約半数を占めており、次いで「子供を含む家族」が 20.1%となっている。
- ・他の芸術祭への鑑賞経験については、「初めて」と回答している人が 6 割を占めており、「さいたまトリエンナーレ 2016」をきっかけとして芸術祭に訪れた方が多いと思われる。

【回答者属性詳細】

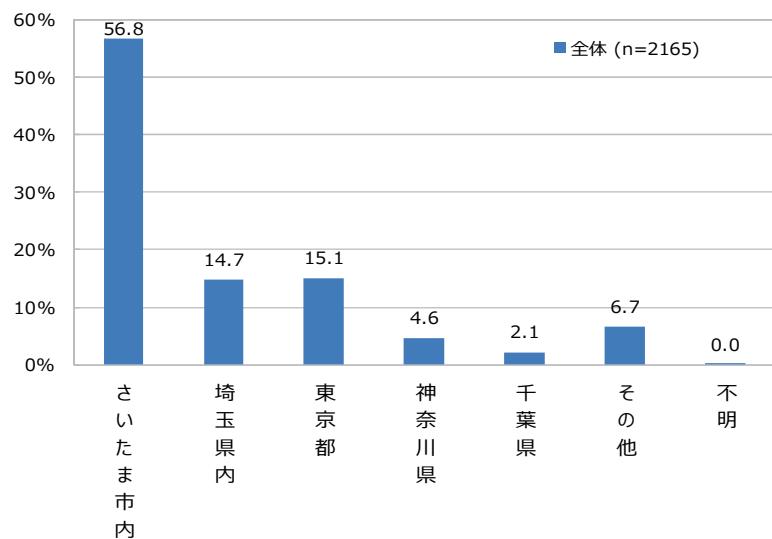
■性別



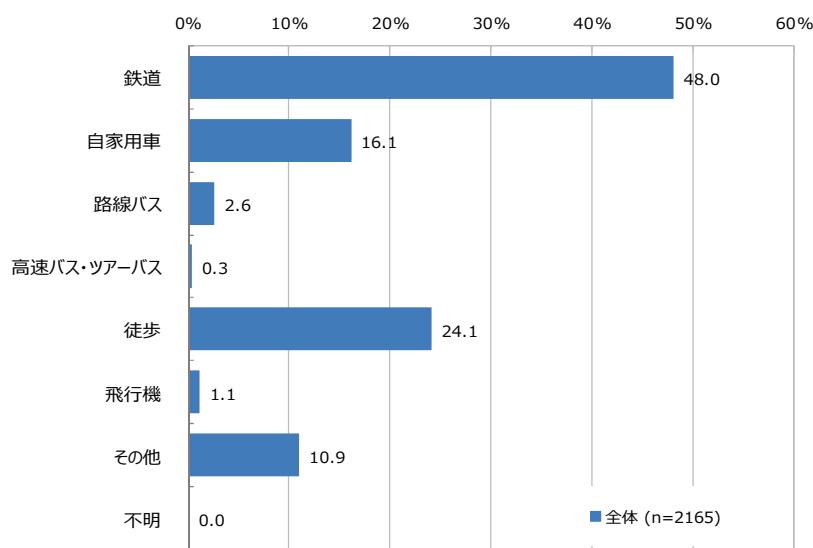
■年代



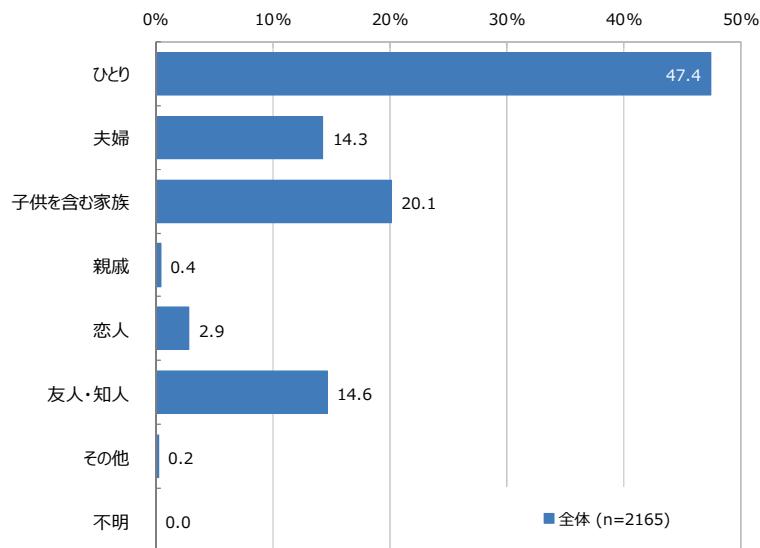
■居住地



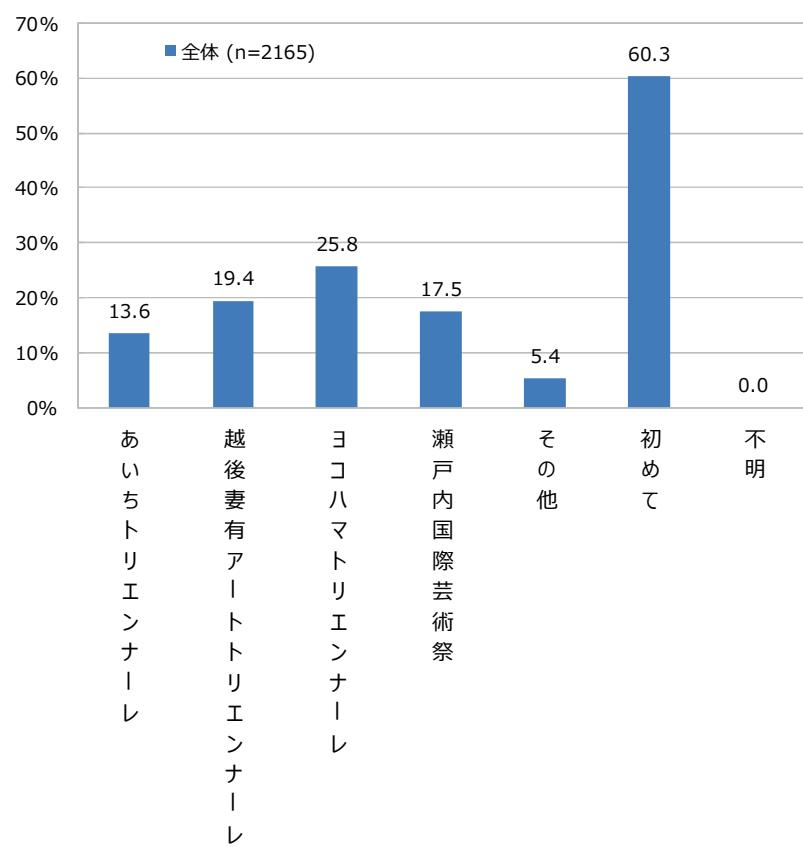
■利用交通について



■ 同伴者



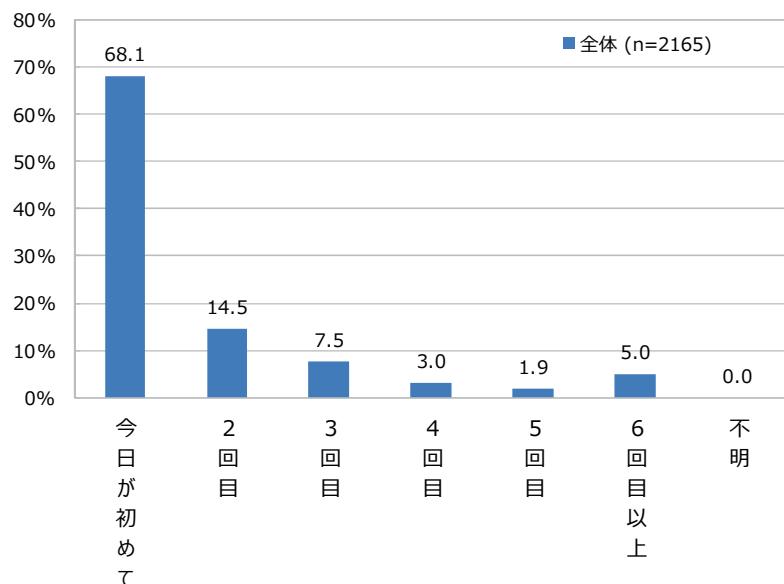
■ 他の芸術祭への鑑賞経験



【さいたまトリエンナーレ2016来場者調査 詳細結果】

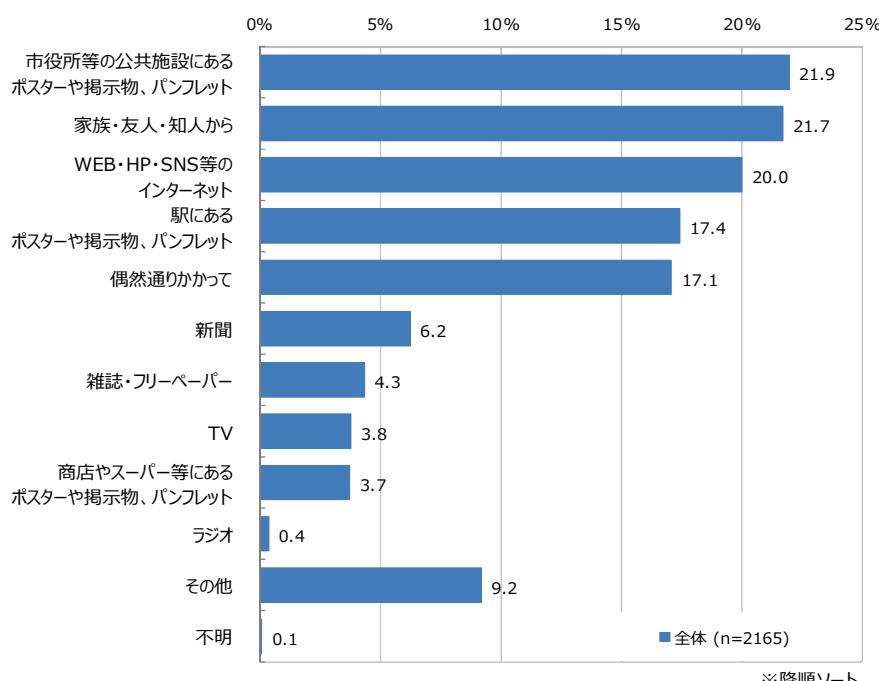
■来場回数

- ・来場回数を尋ねたところ、68.1%の来場者が「今日が初めて」と回答した。2回目以上と回答している人は、全体で31.9%を占めており、3人に1人はリピーターであることが分かった。



■「さいたまトリエンナーレ2016」を知ったきっかけ

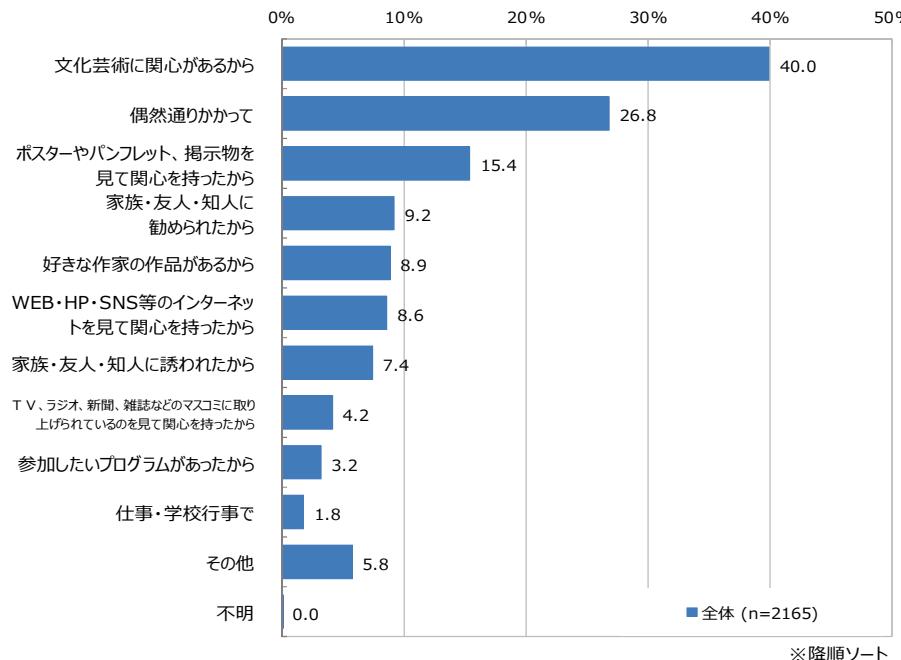
- ・「さいたまトリエンナーレ2016」を知ったきっかけとして、最も多かった回答は「市役所等の公共施設にあるポスターや掲示物、パンフレット」の21.9%であった。次いで、「家族・友人・知人から」が21.7%、「WEB、HP、SNS等のインターネット」が20.0%となっており、他社やSNS等の口コミや、WEBなどの外部からの情報によってトリエンナーレを知った人も一定数いることが分かった。



※降順ソート

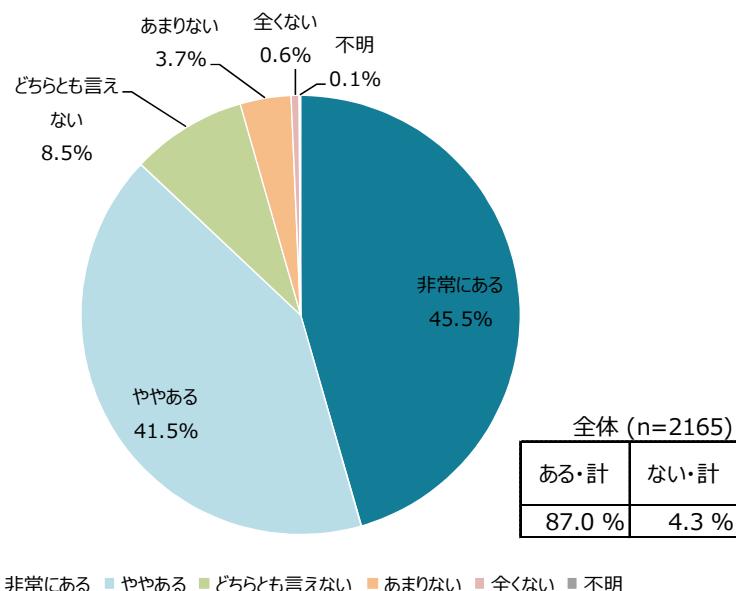
■来場理由

- ・来場理由として最も多かったのは、「文化芸術に関心があるから」と回答した人が 40.0%、次いで「偶然通りかかって」が 26.8%、「ポスターやパンフレット、掲示物を見て関心を持ったから」が 15.4% であった。地元市民が多く訪れていたこともあり、たまたま通りかかった際に、足を止めて作品鑑賞している方もいたことが分かった。



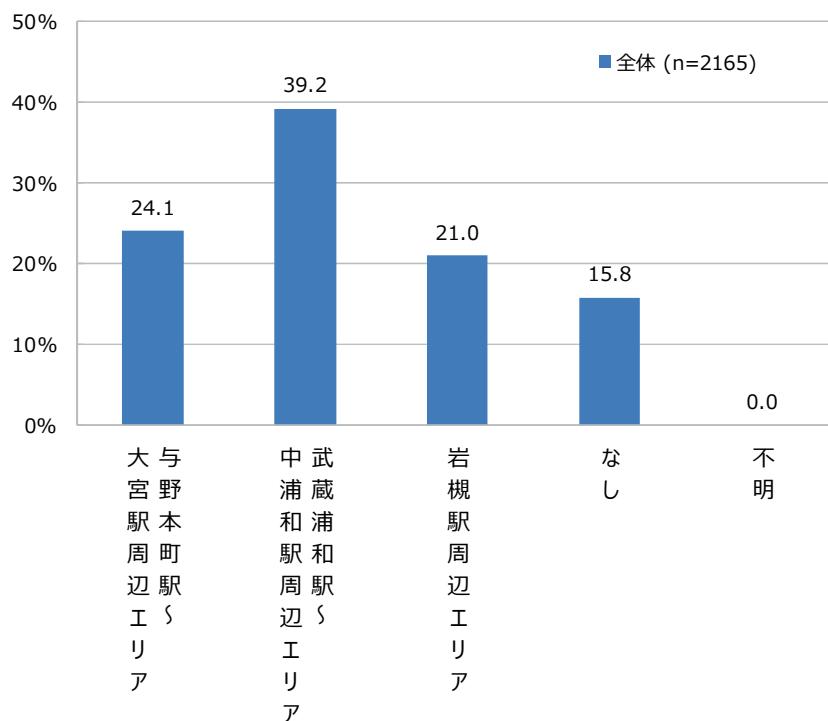
■来場者の文化芸術への興味関心度

- ・文化芸術への興味関心を尋ねたところ、「非常にある」「ややある」と回答した人の合計は 87.0% であった。多くの方が文化芸術に興味を持ってトリエンナーレを鑑賞していることが分かった。



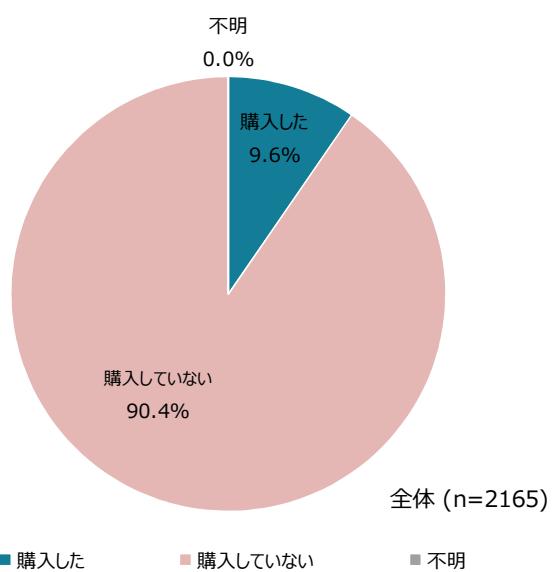
■最も興味をひいた会場

- 最も興味をひいた会場については、「武藏浦和駅～中浦和駅周辺エリア」と回答した人が39.2%を占めていた。「与野本町～大宮駅周辺エリア」「岩槻駅周辺エリア」は2割程度であったが、反対に「興味をひいた会場はなかった」と回答した人は15.8%いた。



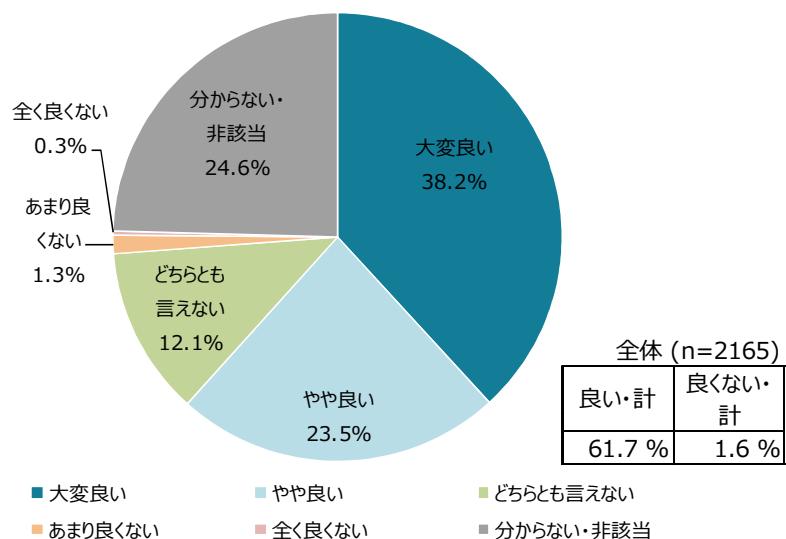
■ガイドブックの購入状況

- 今回、ガイドブックを購入してトリエンナーレに来場したお客様は全体の9.6%であり、全体の9割の来場者が、ガイドブックを購入していなかった。会場に置いてあったリーフレット等を活用しながら鑑賞していることが窺える。



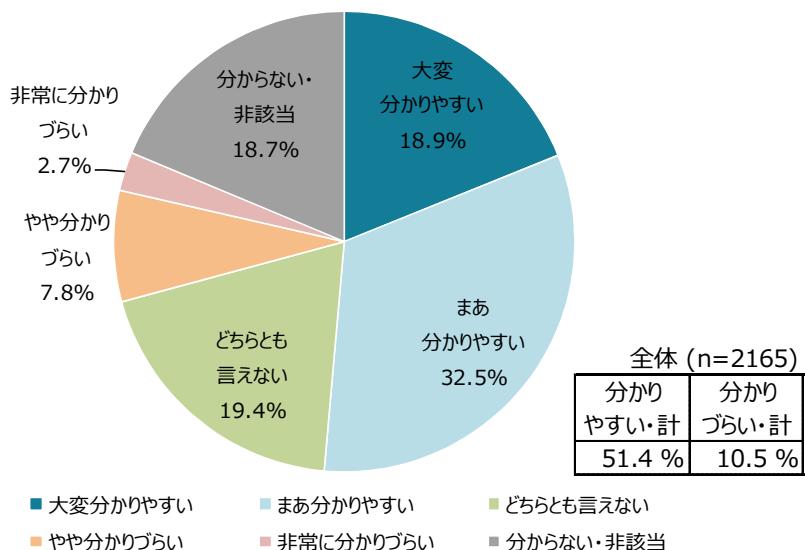
■運営スタッフの対応

- 運営スタッフの対応については、「大変良い」「やや良い」と回答した人が 61.7%となっていた。半数を超える人が運営スタッフの対応について良いという評価をしていた。自由意見の中には「スタッフの人の案内や展示の説明がとても親切だった」という意見も見られた。



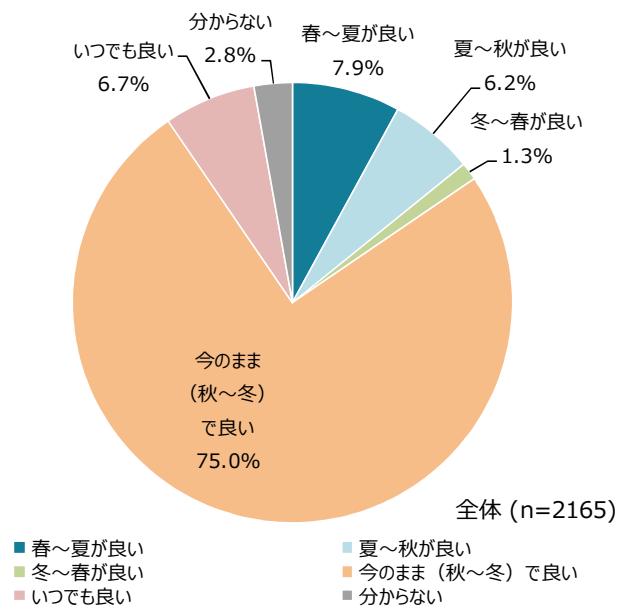
■作品解説について

- 作品解説については、「大変分かりやすい」「まあ分かりやすい」と回答した人が 51.4%で、約半数の人が分かりやすいと回答していた。一方で、分かり辛いと回答した人の中には「解説の字が小さかった」などの意見も見られた。



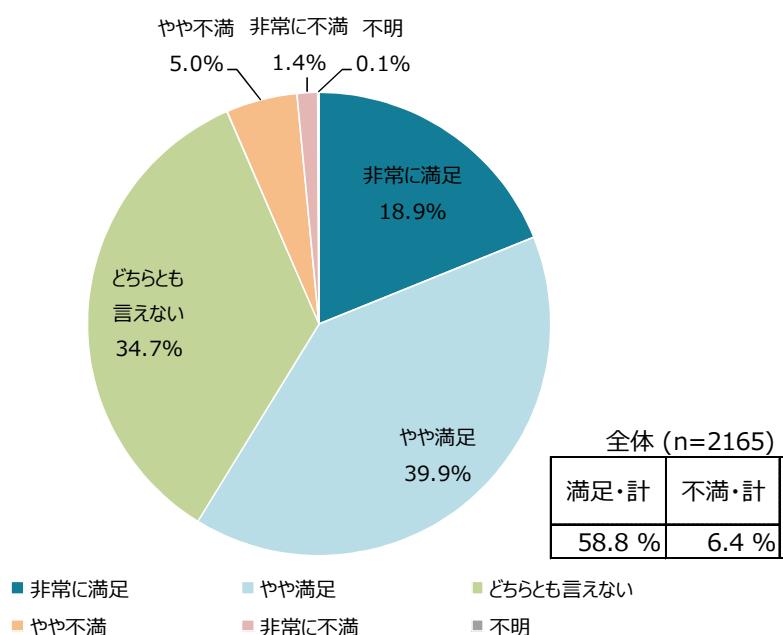
■開催時期について

- 開催時期については、「今まで良い」と回答した人が 75.0%で最も多かった。次いで、「春～夏が良い」と回答した人は 7.9%いたが、自由意見の中には「子供にも見せたいので夏休み期間が良い」という意見も見られた。



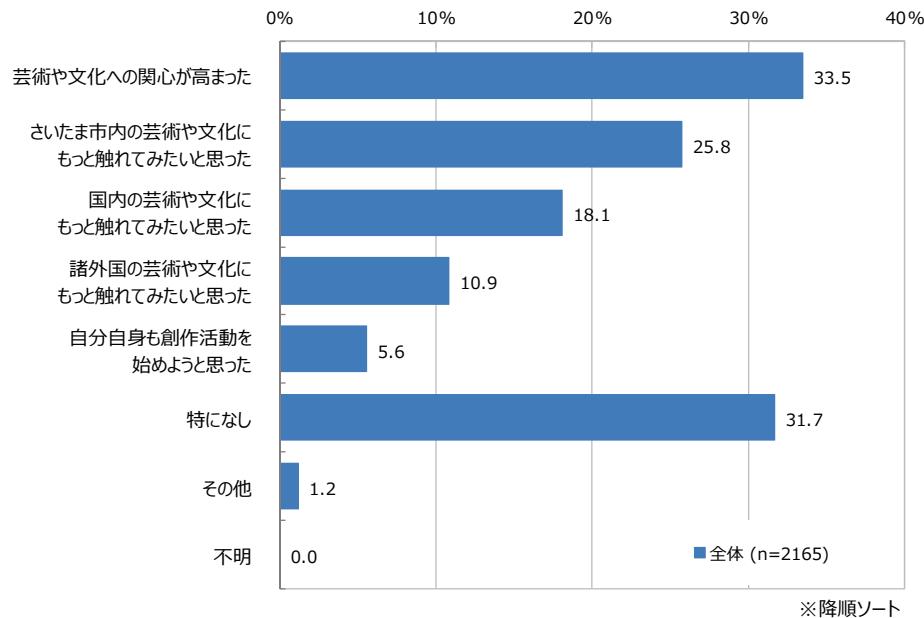
■「さいたまトリエンナーレ2016」の全体満足度

- さいたまトリエンナーレの全体満足度を尋ねたところ、「非常に満足」「やや満足」と回答した人が 58.8%という結果になっており、半数以上の来場者が今回の作品や展示に満足していたことが分かった。反対に「非常に不満」「やや不満」と不満に感じた人は 6.4%と 1割未満ではあったが、「どちらとも言えない」と回答している人は 34.7%もあり、良いところもあれば、不満に感じる部分もあったという意見も多かった。



■ 「さいたまトリエンナーレ2016」を鑑賞して影響を受けたこと

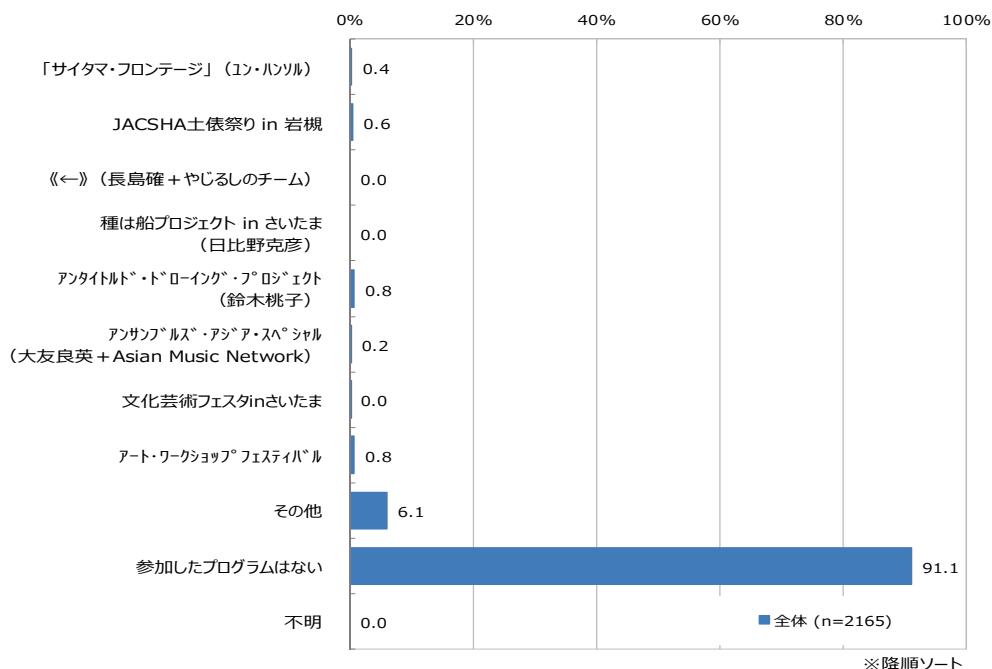
- ・さいたまトリエンナーレ鑑賞後、影響を受けたこととして最も多かった回答は「芸術や文化への関心が高まった」(33.5%) であった。また、「さいたま市内の芸術や文化にもっと触れてみたいと思った」と回答している人も 25.8% もおり、4 人に 1 人が「さいたま市の魅力」というものに触れたり、再認識していることが窺える。一方で「特になし」と回答している人が 31.7% いた。



【参加プログラムについて】

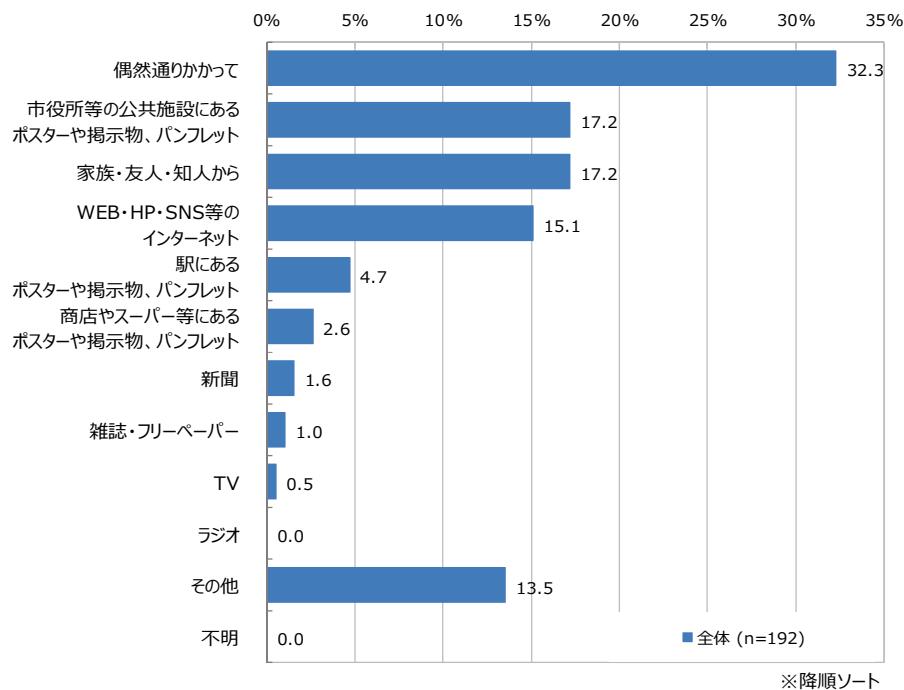
■ 参加プログラムへの参加状況

- ・来場者自身が参加することのできる作品（以下、参加プログラム）について、参加状況を尋ねた。
- ・参加プログラムへ参加したと回答した来場者は、全体の 8.9% と 1 割未満であった。
- ・「その他」の内容として、大宮区役所での「1000 のデュオのための曲」と回答した方が最も多かった。



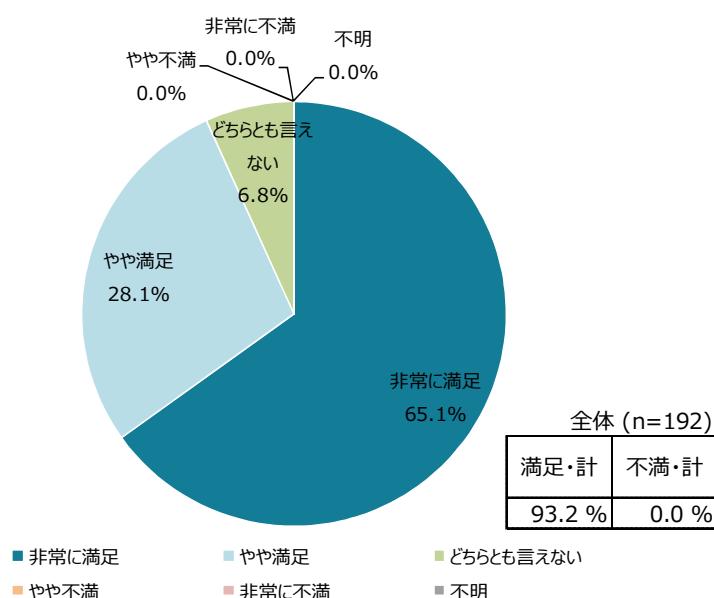
■参加プログラムを知ったきっかけ

- ・参加プログラムを知ったきっかけとして最も多かったのは、「偶然通りかかって」（32.3%）であった。次いで、「市役所等の公共施設にあるポスターや掲示物、パンフレット」と回答した人が 17.2%、同様に「家族、友人、知人から」聞いたという人が 17.2%であった。



■参加プログラムへの満足度

- ・参加プログラムへの満足度を尋ねると、満足したと回答した人（非常に満足、やや満足の合計）は 93.2% と全体的に好評であった。



■さいたまトリエンナーレへの感想／ご意見

《開催エリア等について》

◎良かつた点／満足した点

- ・旧民俗文化センターが入場無料なのは、もったいないくらいクオリティが高くて素晴らしいし、他の芸術祭より良かった。
- ・旧民俗文化センターは、しばらく閉鎖されていたが、今回の開催場所に選ばれて、近所の人は喜んでいる。次回も開催場所として使ってほしい。
- ・旧部長公舎など、普段使われてない所をオープンにしてやってくれたことが素晴らしい。市内の知らなかつた部分を気付かせてくれた。

▲改善点／不満に感じた点

- ・どこのエリアも、1カ所で見るのが少なすぎて、次の地点に行こうという期待が薄れる。
- ・展示の場所が散らばっている。途中バスを使わないように、場所をコンパクトにして欲しい。
- ・遠い場所に行く交通手段がない人もいるので、無料の交通手段やバスを増やしてほしい。

《PR／広報について》

▲改善点／不満に感じた点／要望

- ・お知らせ、宣伝PRが足りなく、近所でも知らない人が多いので残念。もったいない。
- ・今回、会期途中で開催を知り、終了してしまったプログラムがあったので、会期前にもっと宣伝して欲しい。
- ・どこで何をやっているのかが分かりにくい。
- ・さいたま市以外へももっと告知、広報してほしい。開催前の告知が少なすぎると感じた。

《インフォメーション／表示／案内等》

▲改善点／不満に感じた点／要望

- ・市内の人でも分かりづらい場所で展示を行っているので、県外の人は困っているのではと感じた。駅からの道のり等、細かい情報に欠けており、パンフレットも小さくてわかり辛い。
- ・駅前にもっと大きな目印がほしい。順路が不親切なので、看板の増設などして欲しい。
- ・総合インフォメーションを作った方がよい。メインの会場を作り、そこをスタートとして町歩きができるような形式にしてほしい。

《展示作品について》

◎良かつた点／満足した点

- ・息をする花は、わかりやすくて見応えがあった。

▲改善点／不満に感じた点／要望

- ・照明が暗くて足元が見えない所があり、危ない。
- ・作品の意図をわかりやすくしてほしい。芸術に興味があって来場しても、作品がわかりにくいくと、興味が薄れてしまう。
- ・作品数を増やして欲しい。
- ・子供と一緒に触れられる作品が、沢山あると良い。

《次回開催について》

- ・ぜひ3年後も開催して下さい。継続していってほしい。
- ・芸術祭はお金を取られるものが多い中、無料鑑賞できるのはとても良い。このまま無料でやって欲しい。
- ・こんな近くで芸術祭やっているとは、本当に幸せ。無料で見られるところがよい。3年後、楽しみにしている。
- ・次回はさいたま市内のたくさんの場所で行ってほしい。作品の見方のヒントや説明をしてくれる人がいると良いと思った。

《その他要望》

- ・今回、webで情報を得たのだが、場所、時間、催し物、展示物など、もっと詳しく掲載されていると良かったので、改善してほしい。
- ・車イス利用者に対して、もっと見易いようにバリアフリー化など、何らかの対応をしてほしい。
- ・一つ一つの作品が小さいので、「さいたまトリエンナーレに来た！」と思えるような、インパクトのある・目玉となる作品があると良い。

III 有識者インタビュー

(1) 調査概要

- ・文化芸術に関する専門的な知識、見識を有している者9名にヒアリングを行い、さいたまトリエンナーレ2016に対する評価や今後の展開に向けたアドバイスをいただいた。
- ・今回は、大きく分けて「さいたまトリエンナーレ2016全体について」「広報、運営について」「アートプロジェクトについて」「その他プロジェクトについて」の4つのテーマについて意見をいただいた。

(2) インタビュー対象者

	インタビュー対象者	カテゴリー	職名等
1	熊倉 純子	学術	東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教授
2	白川 昌生	アート界	現代美術作家
3	吉本 光宏	オピニオンリーダー	ニッセイ基礎研究所 社会研究部 研究理事
4	飯田 志保子	学術・キュレーション	インディペンデント・キュレーター／東京藝術大学 准教授
5	逢坂 恵理子	芸術祭関係	横浜美術館館長
6	森 司	アート界	アーツカウンシル東京事業推進室 事業調整課長
7	山野 真悟	まちづくり	NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長
8	坪池 栄子	ジャーナリズム	雑誌「地域創造」編集プロデューサー
9	畠 由佳里	市民参加	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団

※敬称略

(3) 調査結果

<1.「さいたまトリエンナーレ 2016」全体について>

さいたまトリエンナーレ 2016 の基本的な考え方について

【基本構想】

<▲課題／改善点>

- ・なぜさいたま市がこのアートプロジェクトをやろうとしたのか。芹沢氏のディレクターとしての問題意識はよくわかるが、さいたま市の問題意識はどこにあるのだろうということをずっと感じていた。
- ・さいたま市民目線と言うか、市民の方に受け入れられるように、市民の方がどういう風に関わって行くかという構想で事業が組み立てられていたので、その事業構想に忠実に実行されたなという印象を持っている。当初の計画から大きいブレが、良くも悪くも無い。欲を言えば、そこから良い意味で逸脱をしていくような広がりがあると尚良かった。
- ・ポスター等も含めて基本構想なるものが一体何なのかという事が、外部からは見えてこなかった。開催テーマを強く打ち出しているという感じはなかったような気がする。
- ・「市民の方がメイン」ということが正直あまり感じられなかった。
- ・このような企画は、どうしても構想と現実とがなかなかピタッと一致はしない。もっと重点的にやる場所をハッキリと決めてしまった方が良いと感じた。
- ・どこを基本構想とするのかが分かりづらかった。これだけ全国で国際展が開催されているなか、なぜ今「さいたまか？」ということについて、基本構想をもう少し練る必要があると思う。

【事業ラインナップ】

<◎良かった点／評価できる点>

- ・「さいたま」を非常に意識して作品を制作されているアーティストの方が多かったことが、一つの大きな特徴であり、非常に良かったと思う。

① コンセプト・開催テーマについて

【開催テーマ】

<◎良かった点／評価できる点>

- ・「未来の発見！」というテーマに沿った事業にはなっていたと思う。
- ・「未来の発見！」というのは、どんな風にも取れる。そのため、最初のスタートとしては良いと思う。初めての芸術祭としては広がりがあるので、それは良かったのではないかと思う。

<▲課題／改善点>

- ・さいたま市としての戦略をしっかりと組む必要がある。「さいたま市が文化芸術都市を目指すその心は何か」とか「さいたま市が考える文化芸術都市とは何か」に関しても議論が足りていないという気がする。
- ・「未来の発見！」というテーマはそれほど印象に残っていない。さいたまでなくともできるテーマだという意味で、整合性は無くも無い。可も不可も無いテーマだと思う。
- ・「未来の発見！」というよりも、「過去をどのように受け止めていくのか」と感じた。住宅地にひっそりと積もっているような小さな歴史のようなものは感じたが、未来の発見は感じなかった。
- ・「未来の発見！」というのが、誰に対する未来の発見なのかというのが漠然としている感じだった。

【開催地との整合性】

<◎良かった点／評価できる点>

- ・岩槻の旧民俗文化センターは屋外の展示もあり、旧部長公舎も、作家が会場の歴史や立地、周辺環境も含めてきちんと読み解いて作品を作っていたと思う。そのような意味でさいたま市と作品の関連性はあった。

<▲課題／改善点>

- ・さいたまの地域性、開催地と整合性のとれた作品や、地域に関係した作品をもっと増やすと良いと思った。

② 開催規模について

【場所・作品数】

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・場所の選定はとても良かったと思う。個人的な意見だが、会場を1日で周りきれないこと、やや薄めだがガイドブックが出ていることが、大型芸術祭のイメージを来場者に与える。2日あればほぼ全部見られたと思うし、1つの街の中でわりとコンパクトな感じがした。トリエンナーレでないと絶対行かないようなところに、良い感じにまとまりがあったので、良かったと思う。
- ・市民プロジェクトや連携プロジェクトを入れると、作品の数は多くなってしまうが、メインのアートプロジェクトの数や、展開されているエリアはとても良かったと思う。
- ・エリア、作品数ともに適切だったと思う。市民の方をメインの対象として作られている事がよく分かった。市民の方が周りやすいようにとか、隣の地区には、普段はそんなに用事が無いから出掛けないけれど、行ってみようと思える範囲で、さいたま市内の中で納まっていた。住んでいる方が複数回足を運べる仕組みだったので、その気になつたら全部見られるのではないかという意味で良いと思っている。
- ・かなり広域で電車も使わなければいけないが、エリアの選定は良かった。岩槻は面白い場所だったと思う。

<▲課題／改善点>

- ・旧部長公舎の作品はなかなか面白いと感じたが、分かりやすい場所では無かった。分散していたとしても、核を担う場所がどこかというのをきちんと決めないと、来場者は、最初にどこに行けば良いのか分からぬ。「人に来てもらう」ということを考えると、戦略的に多少課題がある。
- ・今回初めて開催されて、少しエリアが多いと感じた。県外から来ると、1日では周りきないので、1カ所で沢山回れた方が良いと思った。

【期間限定プロジェクト】

<▲課題／改善点>

- ・来場時期によっては展示や公演が終わっているプロジェクトもあった。プロジェクト終了後に来場して見られなかった来場者に向けて、どこかに映像でまとめて出しておいても良いと思った。

③ 料金体系について

【料金体系】

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・素晴らしい取組みだと思う。この仕組みを作ることができたのは非常に画期的だし、鑑賞者としても大変ありがたい。やはり無料だから「とりあえず行ってみよう」という、見る人にとって背中を押す効果がある。
- ・作品をできるだけ多くの市民、あるいは市民以外の人にもきちんと観てもらおうという姿勢の表れだと思うので、それは良かった。
- ・来場者目線で見ると、自由に出入りができるので、無料は良いと思う。

<▲課題／改善点>

- ・他の芸術祭では無料と有料のスペースがある。街なかに展示されているものは、大抵は無料に設定されているので、今回の「無料」というアピールはあまり訴求されなかったように思う。
- ・無料は良かった。ただ、会場が無料にも関わらず、ガイドブックが有料であることに、ちぐはぐさを感じた。いっぽう会場を有料にして、ガイドブックを無料で配ってしまっても良いと思う。

- ・無料であることは、市が自分で自分の首を絞めるような、ハードルを上げている事にもなるので、長期的に見てこの料金体系が、どう作用するのかというのは、若干懸念事項であり、未知数なところもある。

【有料化への提案】

- ・有料でもいいかなと思った。無料である必要もない。あの規模なら 1 日のパスでもいいかもしれない。
- ・少しでも自己収入という事で考えると、「あいちトリエンナーレ」くらいの値段でパスポートを作り、市内在住、在勤、在学、の方は割引制度や無料等の仕組みをつくっても良いと思う。
- ・ワークショップ等は、有料でも良いと思う。他の芸術祭では美術館でパスポートを見せ、外の展示作品は鑑賞無料という仕組みのところもある。

<2.広報・運営>

① 開催 PR おもてなしについて

【リーフレット】

<▲課題／改善点>

- ・県外だとリーフレット等はあまり目にすることのチャンスが無かった。
- ・受け手の側から見るとなぜ数種類も同じようなリーフレットを作ったのだろうという疑問は残る。
- ・限られた紙面で皆が行った事が無いところの場所を説明するのはとても難しい。リーフレットを見ても場所のリアリティがなかなか出てこなかった。リーフレットには展覧会のコンセプトや作品を同時に伝えるという役割があるので、見た人に「行きたいな」と思わせなければいけない。このリーフレットのビジュアルに関して、最初は野口里佳さんの作品でも良かつたと思うが、途中で変えた方が良かったと思う。
- ・リーフレットのアートプロジェクト、市民プロジェクトのページは文字だけだとイメージが湧きにくい。詳細を書くより写真や QR コード等を載せ、アートプロジェクトの内容や目的が分かると興味のある方は行くのではないかと思った。
- ・会場に行ったら、さいたまトリエンナーレに関する色々なチラシがたくさん並んでいて、少し多いなと思った。1 部で全部貰えるのであれば、それがベスト。
- ・リーフレットについてはなぜこんなに多様にたくさん作ったのかが分からぬ。広報に対するコントロールがない感じがした。地図の可読性やデザインをもう少し考えると良いと思った。
- ・リーフレットは多少そつけない印象だったので、キャッチコピー等があっても良いと思った。

【スタッフの対応】

<◎良かった点／評価できる点>

- ・ボランティアスタッフの方々の対応は総じて非常に適切ではあった。
- ・受付の駅前の案内や誘導スタッフの接遇が悪く、非常に不愉快だった。
- ・おもてなしに関しては、この規模の国際芸術祭レベルで言ってしまうと、あったとは思えない。

【その他】

- ・スタッフの対応と看板は良かった。道々に「こちらです」という案内の看板が出されていて、迷うだろうなというところにもきちんと駅から続く導線が敷かれていたのが大変良かった。現地に行った後の看板の多さ、見やすさ、フォントの大きさ、看板自体のサイズも含めて全てに「さいたまムアン」のアイコンがあって、デザインの統一も取れていた。ストレスが少ないトリエンナーレだった。

② ガイドブックについて

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・普通にフラつと行く鑑賞者が見て、心理的なプレッシャーを感じない程度の文字の量だったのが良かった。シンプルで普通に使いやすいガイドブックだったと思う。ヒントがもらえるぐらいのイントロダクション、そういう機能だと思って見るのは程良かった。
- ・これだけ分散している中で、作家別になっていて、割合と写真が大きく、文字も大きかったので、見やすかったと思う。
- ・リーフレットより詳しく書いてあるので見やすい。展示物に関しては最初に掲載してあり、その後お店の場所等が色々書いてあるので、見やすかった。
- ・今までの他のトリエンナーレ等を参考にしている部分もあると思うが、見やすいし不備は感じなかった。

<▲課題／改善点>

- ・ガイドブックとしては、最低の情報は出しているので問題は無いが、市民プロジェクトの情報が少し少ない。期間限定のプログラムがあるのなら、その事をもう少しアピールするとよい。
- ・文字の大きさが、万人向きではないと感じた。
- ・市民の方向けを考えると、トリエンナーレが何なのかという人が多いと思うので、「さいたマムアン」を使った方が良い感じた。
- ・情報量が多いのは良いが、別に今これを見なければいけないという情報ではない。また、持ち歩くにはもう少しコンパクトでも良いと思った。

【価格】

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・1,000 円という金額は良いと思う。

<▲課題／改善点>

- ・1,000 円という金額については、今回初めての開催で手に取る市民の方がどれだけいたのかを考えると、高いと思う。

③ グッズ等の商品について

<▲課題／改善点>

- ・わざわざグッズを作るのではなく、既にあるものをグッズとして、トリエンナーレを取り込むデザインの方が良いと思う。
- ・グッズについては産業関連部門に任せるべきで、文化催事を行うトリエンナーレ事務局が、余力がない中では、行う必要はないと思う。

【販売箇所についての提案】

- ・グッズが定着するまでには時間がかかる。会場構成によるが、スタート地点で売ると売れない。また今回はどこがスタートでどこがゴールというのが無い。よく美術館の出口にはグッズを販売しているところがあるが、それを今回のような会場構成に導入するのであれば販売箇所は駅が良いと思う。降りたところがまた帰るところになるから、そこにインフォメーション的な機能があって、そこでグッズ販売ができれば良かったと思う。

④ ウェブサイトについて

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・デザインは爽やかですごく良いと思った。
- ・最終的に「さいたマムアン」がフィーチャーされていたのは、間口を広げている印象を持った。

<▲課題／改善点>

- ・スマートフォン端末で見たが、少し使いづらいと感じた。メニューから各項目を探していく階層の作り方が、ス

マートフォン端末の画面で見る時には使いづらさを感じた。

- ・一般の方はどこからどれをどう見たら良いのだろうと、少し見辛かったのではと思う。色々ピックアップがあったが、写真等がもっとあればもう少し分かりやすいと思った。
- ・現代アートに特化するのか、それとも市民プログラムをもっと強調するのかが分かりづらかった。
- ・プロジェクトでやっていることが伝わりにくい。催事サイトになっていて、プロジェクトベースのコンセプトを体現する ところで手が回っていない、設計が行きついでいないという印象を受けた。

<3.アートプロジェクト>

① アーティストについて

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・事業規模、展開されている地区、エリアに対してアーティスト数は、程良かったと思う。
- ・最初なのでアーティストと市民プロジェクトの数のバランスは特に問題はなく妥当だと感じた。
- ・「The 作品」のようなものを見せつけるというような感じのものは少なかったが、意外性があって、丁寧に作り込まれていたような気がする。
- ・展示に関しても見応えがあった。西尾美也さんの作品も良かったし、大友良英さんの公演も拝見したが、いずれも良かった。

<▲課題／改善点>

- ・アートプロジェクトを行うのであれば、事務局の中でしっかり議論をして、その議論とともにディレクターと一緒に議論をして決めていった方が良いと思った。
- ・地域に密着した親しみやすい作品にしようと芹沢さんが努力されたと思うが、それを一般市民の方へ伝えて行く難しさはあったと思う。作家を知っている者からすると、今回はさいたまを意識して作品を作ったことが分かるが、全く知らない作家の作品として見ると、こういうのが作品なの？と思われてしまうと思う。

【提案】

- ・アーティストの数を減らすと、1人のアーティストの規模を作品面でも金銭面でも大きくする事ができる。それはそれで一つの見せ方なので、小さいものがたくさんあるよりは、例えば人数が少ないけれど、1人1人が充実しているような、そういうやり方もあると思う。

② コンセプトとプロジェクト（さいたま市と作品の関連性、場所の特性の反映、また生活者たる市民への訴求）について

<◎ 良かった点／評価できる点>

- ・1つ1つの作品はさいたまを意識した、もしくはそこの展示の場所を意識した作品が多かった。今回とてもさいたまを意識しているというのが分かった。さいたまを意識しているという事では、小沢剛さん。ジョン・レノンとさいたまの関係を分からぬ人がいるかも知れないが、前にジョン・レノンミュージアムがあったので、すぐ分かった。意外なドッキングというのが面白い。
- ・土地のテーマをアーティストが丁寧に引き取って作品化しているという意味では、アーティストは言われた課題に対して誠実に応えていると思った。規模感や作品の配置やバリエーションは良かった。
- ・「さいたま」の雰囲気を見て楽しんでもらうという意味では、訴求はあったのではないかと思う。松田正隆さん、遠藤幹大さん、三上亮さんの戯曲作品には、近い過去の歴史を思い起こさせるようなアプローチがあって、共感を呼び起こす事ができる作品だった。さいたまの地理的な状況と言うか、東京に対する位置づけがどうだったかというの、よく現れていた。

＜▲課題／改善点＞

- ・場所には馴染んでいたのだが、少数でも良いのできちんと市民の方々の何かが反映される作品があると良いと思った。
- ・「さいたま」だからという、特性のある何かがあったかと言うと、それはあまり無いと感じた。
- ・地域に密着という点では「どこに密着しているのだろう」と思った。市民が参加しているのが密着なのか、それとも市民の方々に来てもらいたいのかが分からなかった。
- ・市民方々への訴求というのは非常に難しいと思う。地域の作品を作ったからと言って、それが市民の方々へ訴求するとは言えない。この程度なら、どこでもやっている印象だったので、さらにもう少し突っ込んで、地域の方々とやっていく必要性はあるかと思う。地域の方々との関わりの深度について言うと深さは感じられなかった。

③ コンセプトとプロジェクト（市民参加、協働）について

【市民参加】

＜◎ 良かった点／評価できる点＞

- ・あまり万人に特化しないやり方を、思い切ったと思う。良い意味で日和見主義にせず、少なくとも本当にさいたま市民へ向けてやりますという意志が感じられたのは良かった。さいたま市民向けだから入れないという疎外感を感じるという事も全然無かった。むしろ、市民に特化していて、良い思いきりのいいプログラムを作られたなと思った。
- ・市民会館おおみやで市民の方々が集まって色々されているのは見た。SMF のように市民参加組織が既にあるという事は、すごく大切だと思う。
- ・楽しんでやっていたと思う。例えば「やじるし」というプログラムは見ている側の参加の仕方と設計の仕方が良かった。プロジェクト型の作品として高く評価されるものだと思う。

＜▲課題／改善点＞

- ・もっと積極的な市民参加プロジェクトがあつても良いのではないかと思う。
- ・市民の人達が積極的に参加しているように見えなかった。
- ・市民プロジェクトの事をもっと大々的に出さないと、市民の方々も参加している方々も気持ちが萎えてしまい、ないがしろにされている感が出てしまうのではないかと思った。

【協働】

＜▲課題／改善点＞

- ・開催期間中に、地域の美術館等と連動して何かをもう少し積極的にやればいいのではないかと思う。美術館の外へ出て色々やるのも良いが、美術館の中でもその時期にかけて展示等色々やっても良いのではないかと思った。
- ・協働に関しては全く見えなかった。感じられる場も無かった。

④ 配置エリア、展開方法について

【エリア】

＜◎ 良かった点／評価できる点＞

- ・作品エリアと展開方法は、作品の印象を左右しかねないぐらい大きい要因を持っている。どのぐらいストレス無く作品の目の前まで連れて行ってもらえるかという利便性やサイン計画の出し方等の、都市設計と言うか、展示会場エリア自体の作り方、作品以前の話の設計がしっかりと組まれているかどうかという部分はアーティストにはどうにもできない事で、アーティストにフェアに良い仕事をして頂くために、やはりここを事業者、主催者は作る必要がある。さいたまに関してはこれが非常に良かった。さいたまの場合は周り切れるエリアに作品を配置したというのが良かったポイントだと思う。
- ・悪くは無かったと思う。一つ一つ行ったなりの体験が準備されていた。

＜▲課題／改善点＞

- ・会場が分かれている、且つ街の情報量が多い都市部での開催なので、どこで何をやっているかわからない状態になると思う。駅前、市役所、どこへ行ってもトリエンナーレをやっていることが、通りがかりや街の人達にもわからない。いろんな意味でトリエンナーレ感が出ていない。都市部でやる場合は、そういう工夫が絶対に必要だと思う。
- ・実感としては広報が完全に遅れていた。今まで県がリードしてきた文化施策を「さいたま市がやる」という大きなビジョンで色々見た時に埼玉県内の都市施策のこと、県と役割分担や連携を今回のトリエンナーレでは全然行っていない印象を受けた。なぜ彩の国さいたま芸術劇場が会場になっているのかが分かりづらく、違和感があった。
- ・大宮区役所の地下を利用している展示があったが、もっと役所内の色々な部屋を徹底的に使えば 良かったのではと思った。倉庫や駐車場の外れなど、使われていない空間を全部会場にしてしまえば、「大宮区役所に行けば何かがある」というような展示になったと思う。

【街なかでの展開】

＜◎ 良かった点／評価できる点＞

- ・もちろん 1 カ所にまとめた方がいいと思うが、街なかで展開するということでいろいろリサーチして準備した結果、場所を選んでいたと思う。

＜▲課題／改善点＞

- ・駅周辺には、もう少し展示等に関する案内があった方が良かった。
- ・街なかでそれほど展開していないという感じがした。例えば、空き店舗や、極端に言えば住宅の跡地等、会場のバリエーションがもう少し欲しいと思った。

【交通の利便性】

＜◎ 良かった点／評価できる点＞

- ・きちんと鉄道の路線に沿って会場のレイアウトがしてあった。別のエリアに移動する利便性が考えられていた。
- ・岩槻に関してはシャトルバスだったが、このぐらいの規模感だと周りやすかった。

＜▲課題／改善点＞

- ・基本はとても良いと思ったが、周る時に岩槻・大宮・浦和の 3 カ所に分かれているので、若干不便と言えば不便だった。
- ・交通の利便性は良くない。皆がタクシーを使えるわけではないし、美術作品を見せる前に、会場として地域としての魅力に欠けていたと思う。
- ・計 3 日間行った感想として、県外から 3 日間行くのは正直交通費がかかってしまうので、遠くの人は 1 日で終わらせたいのではないかと思う。

＜4.その他プロジェクト＞

① 全体事項について

- ・全体的には良かったと思うが、大きな大宮駅等でインフォメーションのスクリーンのようなものに映像メディアで何か見せるようなものが出ていれば尚良かったと思う。

② 市民プロジェクトについて

＜◎ 良かった点／評価できる点＞

- ・市民プロジェクトについては、小学校を使うなど、関連団体との関係作りを努力されているということが感じられた。

＜▲課題／改善点＞

- ・中小規模のトリエンナーレは市民の方々と距離が近いので、自治体ならではのメリットを生かすというやり方はあると思

う。

- ・ワークショップ等に参加するよう色々声掛けをしていたのかもしれないが、市民の方々がどう参画していたのか、全く見えなかった。
- ・数は多いと思うが、市民の方々が自分たちで独自でされているものに関して、さいたまトリエンナーレという冠を付けていけるだけだろうなと思う。元々既存の活動に一緒にやっているという感じなので、それならばもう少しトリエンナーレの方で紹介をした方が良いのではないかと思う。おそらくこの市民プロジェクトに参加されている方々はトリエンナーレと一緒に組んで、広報がもっと大きくなるのかなと思われていると思うので、変わらないやり甲斐が無いと思う。

③ 連携プロジェクトについて

<▲課題／改善点>

- ・美術館と連携が感じられなかったのが、やや残念だった。美術館に限らず、地域の文化施設、会場として上手く手を組んで行くというやり方は、あって欲しいと思う。
- ・連携プロジェクトについても、もう少し告知をした方が良いと思う。
- ・今後は狭いエリアだったら時期を同じ日にぶつからないようにしていくとかそういう全体の調整みたいな事ができると、この連携プロジェクトの意味が出てくる。

④ その関連事業について（教育委員会や福祉施設との連携）

<▲課題／改善点>

- ・どこをどう協力しているのか見えてこなかった。教育委員会や福祉施設等とは、告知等も含めて連携はした方が良いと思う。
- ・学校、福祉関係との連携はすごく時間がかかる話だと思う。時間をかけてやつたら良いのではないか。

⑤ その他

- ・潜在的なさいたま市民の特徴というのを考えると、やはり現代美術を見に行くという事に慣れていない。そのため若い世代を中心に、「首都圏からどれだけ呼び込めるか」という事になってしまふ。しかし、これだけ全国で現代美術のフェスティバルがあるため、少し食傷気味になってきている。

<5.今後に向けたアドバイス、ご意見>

【次回開催意義について】

- ・次回やらない選択肢は無いと思う。そのためにはしっかりパブリシティをして、市民の方々の賛同も得られるような活動をして行くと良いと思う。例えば3回目ぐらいで有料化することを検討しても良いと思う。
- ・さいたまトリエンナーレは、日本全国で同じようなものがいろいろ行われているが、無数の文化プロジェクトがある、東京の近郊で行ったことは、とても意義あることだと思う。今行われているトリエンナーレは農村や山地か大都市で行われるもの、大きくこの2種類に分けられる。さいたまトリエンナーレはどちらでもなく、言ってみれば非常に性格が曖昧になりがちなところで、敢えて挑戦したのは、とても意味のあることだと感じる。議会等でいろいろ問題になったことに関してあって申し上げると、作品の内容について議会で議論にならないようなトリエンナーレならやらない方がいいと思う。それぐらい刺激のあるものだということ。トリエンナーレをやる以上、そういうリスクがあることをしっかり理解して、それでもやるという強い意志が行政には必要だと思う。3年後もやるなら、やはり同じようなビジョンをしっかり持って、多少の反対意見があったとしても、これをやることに意味があるということをしっかりとぶれずにやってほしい。
- ・現代美術の可能性というのは絶対あって、こんな皆が孤立しているような時代に、緩やかに色々な見方を与えてくれて、物事を「一方向だけでは見ない」というような、そういう現代美術の鑑賞の可能性というのを、1人でも多くの人が体験をして、それを自分にとって良い、面白いものだと思ってくれるような状況を作る事はすごく大切だと思っている。行

政も行わないと、民間団体等はなかなか行わない。収支的には全然成立しなくてとても大変だが、行政としてはその意義、価値、理念、やりがいをきちんと職員と共有できるかが大切だと思う。

・改善点はたくさんあるが、初めてやったということはすごく大きいことでそれはいいと思う。2回目に対しては期待 しかなくて、その道のりを整えていく作業はかなり大変だろうと想像はするけれども、回数を重ねていって「いいね」という体験をした人増える状況を作り出すようなフレームがあると良いと思った。

【今後の方向性について】

・さいたまトリエンナーレの今後の具体的な方向性を、もう少し明確にできるのであれば実験的にやってみるのが一番良いのではないかと思う。そうでないと本当に今、日本中にトリエンナーレやビエンナーレがあり、やはり作家やディレクターも重複するのでだんだん皆似た様な、均一化した芸術祭になってくる。さいたまのトリエンナーレはこういう特徴という部分が強く出せると良いと思う。

【広報について】

・広報は、アーティストもしくは学芸員の言葉を理解して、それを 優しく咀嚼して表現できるということだが、なかなかできる人がいないというのも課題の 1 つだと思う。
・メディア戦略をしっかりと立て、行っていくことが必要。「さいたまトリエンナーレ」の名前を皆が知っているという状況に持つて行くためには、もっと大きいメディアを使う必要があると思う。
・次のトリエンナーレ開催までの間に、コツコツ露出するような何かを続けていくことが必要だと思う。

【市民とのつながりについて】

・今回、関わったり、鑑賞した市民の方々に対し、次は「どういうことがあるのだろう」という、期待感の火を絶やさないよう にする、また小さいプロジェクトを継続的に実施していくことが大事。財政、人材、色々なサポートの方法があると思うの で、さいたまトリエンナーレを契機として、生まれたコミュニティーを大事にしていくと良いのではないか。

【事務局・準備室について】

・まず展覧会ありきではなく、芸術祭を担う中核の事務局機能をどう考えるかが大切だと思う。
・今回の経験を改善させて、2年から3年ぐらい掛けて準備室を作り、必要なお金もちゃんと使い、準備をして いつ、きちんと成功させることができれば、さいたまトリエンナーレとして面白いことはできると思う。

【人材育成について】

・もしさいたまトリエンナーレを続けるとしたら、基本方針に書いてあるように、そのソフトを作る人達を育成していくことが必要だと思う。その育成にあたっては 1 回で終わりではなく、次回開催までの間もずっと継続雇用して、さいたまトリエンナーレの改善とバージョンアップに向けて、常に市の方たちと連携しながら意見交換し、現実的に作家とも接しながらできるようなコーディネーターを、さいたま市の中できちんと育成していくというが必要かも知れない。

【核となる場所づくりについて】

・核になる場所をどこにするかというのが、一つの課題だと思う。
・さいたまトリエンナーレを印象づける代表的な場所を作つて行く。さいたまトリエンナーレとったら、あの場所だとイメージ できるようなところを 1 つ作ると良いと思う。

3 経済効果

(1) 経済効果の総額

経済効果：29億5,848万円

「さいたまトリエンナーレ」の開催による経済効果は、16億5,830万円の経済波及効果（全国）とパブリシティ効果（広告換算額）を合わせると、総額で29億5,848万円と推計される。

【経済効果の内訳】

①経済波及効果（全国）：16億5,830万円

	全国	さいたま市内	埼玉県内
(1)開催経費から生じる効果	12億3,380万円	7億4,100万円	7億4,670万円
(2)来場者消費から生じる効果	4億2,450万円	2億0,500万円	3億7,010万円
A 開催経費及び来場者消費を合わせた直接効果	9億6,700万円	6億2,440万円	7億2,450万円
B 開催経費及び来場者消費を合わせた一次効果	6億9,130万円	1億2,530万円	1億6,950万円
C 開催経費及び来場者消費を合わせた二次効果	—	1億9,630万円	2億2,280万円
(1)と(2)を合わせた経済波及効果	16億5,830万円	9億4,600万円	11億1,680万円

②パブリシティ効果（広告換算額）：13億18万円

媒体	報道件数	算出可能件数	広告換算額	備考（対象期間）
新聞雑誌等	651	614	380,901,971	2014年4月～2017年1月
テレビ	67	67	398,081,520	2016年8月～2017年1月
ラジオ	1	1	1,305,720	2016年9月
web	1157	776	519,893,000	2015年3月～2017年1月
合計	1876	1458	1,300,182,211	

※2017年2月27日現在

(2) 経済波及効果

I さいたま市内における経済波及効果の推計結果

「さいたまトリエンナーレ2016」のさいたま市内における経済波及効果は、約9億4,600万円と推計される。

■経済波及効果の推計結果

	経済波及効果 ①+②	経済波及効果 ①直接効果 + 第1次波及効果		②第2次波及効果
		①直接効果	②第1次波及効果	
(1) 来場者調査による推計	2億5,000万円	1億7,870万円	2,630万円	
(2) 主催者等総支出額による推計	7億4,100万円	5億7,100万円	1,700万円	

(推計：株式会社サーベイリサーチセンター)



経済波及効果 合計額	9億4,600万円
------------	------------------

①自地域内で調達できる直接の需要増加額（直接効果）+主催者等総支出及び来場者消費（宿泊費、交通費、飲食費、お土産購入費、その他）による需要発生が、その他の産業にもたらす生産誘発額（第1次波及効果）

②第2次波及効果：先の需要の発生により雇用者の所得が生まれるが、その雇用者が消費したことによる生産誘発額

ア 来場者調査による推計の前提条件

産業連関分析の方法により、「平成 17 年さいたま市の産業連関表」を用いて算出した。具体的な前提条件等は、以下の通りである。

- ・「さいたまトリエンナーレ 2016」の来場者数と宿泊客数
 - i 「さいたまトリエンナーレ 2016」の来場者数は、361,127 人(平成 29 年 1 月 25 日時点)であった。アンケート調査結果を用いて、来場者の平均来訪エリア数を算出したところ、平均来訪エリア数が 1.1 エリアだったことから、概ね来場者 1 人あたり 1 エリアに訪問したと仮定し、来場者母数を 361,127 人としたうえで経済波及効果を推計した。
 - ii また、来場者数のうち宿泊者数が不明であるため、アンケート調査の結果に基づき、全サンプル数に占める宿泊者のサンプル数の割合から宿泊客割合を求めた (0.88%)。宿泊客割合を来場者数に乘じることにより、来場者のうち宿泊者数を推計した。

■来場者数と宿泊客数

来場者数 (人)	宿泊客数 (人)
361,127	3,169

■宿泊客サンプル数の割合

アンケート結果	サンプル数
宿泊客サンプル数	19
全サンプル数	2165
宿泊客割合	0.88%

イ 来場者消費額

来場者 1 人当たり平均消費額は、アンケート調査の結果に基づき、イベント参加者によるさいたま市内での支出を支出費目別に整理した。支出費目別の一人当たり平均消費額に来場者数を乗じ、宿泊費の平均消費額は宿泊者数を乗じることにより、来場者全体の消費額を推計した。

■支出費目別平均諸費額と来場者数による来場者全体の消費額の推計

支出費目	平均消費額 (円/人)	消費額合計 (円)
宿泊費	9,311	29,505,070
交通費	198	71,643,986
飲食費	327	118,088,529
お土産購入費	58	20,905,642
その他※1	19	6,937,250
合計		247,080,476

※1 娯楽・入場料、その他全て含む

ウ 主催者等総支出額による推計の前提条件

主催者等総支出額についても、来場者調査による推計と同様に産業連関分析の方法により、「平成 17 年さいたま市の産業連関表」を用いて算出した。

エ 各部門の総支出額

「さいたまトリエンナーレ2016」の開催について、平成26年度から平成28年度の開催経費に係わる最終需要増加額（見込み）を推計した。市内に経済波及効果をもたらすのは、市内で生産される物・サービスへの支出であるため、最終需要増加額には、開催総経費のうち、市内企業へ発注した分のみを計上し、それぞれ部門別に算出した。

■部門別支出額

部門	市内発注分（円）
飲食料品	15,145
繊維製品	1,203,971
パルプ・紙・木製品	244,891
化学製品	183,432
石油・石炭製品	20,688
窯業・土石製品	12,960
非鉄金属	60,646
金属製品	129,352
一般機械	110,592
電気機械	123,070
情報・通信機器	6,880
その他の製造工業製品	11,807,707
建設	65,323,681
電力・ガス・熱供給	4,534,871
水道・廃棄物処理	1,085,670
金融・保険	353,493
不動産	15,255,063
運輸	16,838,771
情報通信	2,230,706
公務	715,300
医療・保健・社会保障・介護	88,333
その他の公共サービス	40,632,752
対事業所サービス	315,423,530
対個人サービス	6,391,648
雇用者所得	900,000
合計	483,693,152

II 埼玉県内における「さいたまトリエンナーレ2016」の開催による経済波及効果

「さいたまトリエンナーレ2016」の開催により、約11億1,680万円の経済波及効果があったと考えられる。

■県内における経済波及効果の推計結果

	経済波及効果 ①+②	①直接効果 + 第1次波及効果		②第2次波及効果
		①直接効果 + 第1次波及効果	②第2次波及効果	
(1) 来場者調査による推計	3億7,010万円	3億890万円	6,120万円	
(2) 主催者等総支出額による推計	7億4,670万円	5億8,510万円	1億6,160万円	



経済波及効果 合計額	11億1,680万円
------------	------------

①自地域内で調達できる直接の需要増加額（直接効果）+主催者等総支出及び来場者消費（宿泊費、交通費、

飲食費、お土産購入費、その他）による需要発生が、他の産業にもたらす生産誘発額（第1次波及効果）

②第2次波及効果：先の需要の発生により雇用者の所得が生まれるが、その雇用者が消費したことによる生産誘発額

ア 来場者調査による推計の前提条件

産業関連分析の方法により、「平成23年埼玉県産業連関表」を用いて算出した。具体的な前提条件等は、以下の通りである。

- ・「さいたまトリエンナーレ2016」の来場者数と宿泊客数
 - i 「さいたまトリエンナーレ2016」の来場者数は、361,127人（平成29年1月25日時点）であった。アンケート調査結果を用いて、来場者の平均来訪エリア数を算出したところ、平均来訪エリア数が1.1エリアだったことから、概ね来場者1人あたり1エリアに訪問したと仮定し、来場者母数を361,127人としたうえで経済波及効果を推計した。
 - ii また、来場者数のうち宿泊者数が不明であるため、アンケート調査の結果に基づき、全サンプル数に占める宿泊者のサンプル数の割合から宿泊客割合を求めた（0.88%）。宿泊客割合を来場者数に乗じることにより、来場者のうち宿泊者数を推計した。

■来場者数と宿泊客数

来場者数（人）	宿泊客数（人）
361,127	3,169

■宿泊客サンプル数の割合

アンケート結果	サンプル数
宿泊客サンプル数	19
全サンプル数	2165
宿泊客割合	0.88%

イ 来場者消費額

来場者 1 人当たり平均消費額は、アンケート調査の結果に基づき、イベント参加者による埼玉県内での支出を支出費目別に整理した。支出費目別の一人当たり平均消費額に来場者数を乗じ、宿泊費の平均消費額は宿泊者数を乗じることにより、来場者全体の消費額を推計した。

■支出費目別平均諸費額と来場者数による来場者全体の消費額の推計

支出費目	平均消費額（円/人）	消費額合計（円）
宿泊費	9,311	29,505,070
交通費	198	71,643,986
飲食費	327	118,088,529
お土産購入費	58	20,905,642
その他※1	19	6,937,250
合計		247,080,476

※1 娯楽・入場料、その他全て含む

ウ 主催者等総支出額による推計の前提条件

主催者等総支出額についても、来場者調査による推計と同様に産業連関分析の方法により、「平成23年埼玉県産業連関表」を用いて算出した。

エ 各部門の総支出額

「さいたまトリエンナーレ2016」の開催について、平成26年度から平成28年度の開催経費に係わる最終需要増加額（見込み）を推計した。県内に経済波及効果をもたらすのは、県内で生産される物・サービスへの支出であるため、最終需要増加額には、開催総経費のうち、県内企業へ発注した分のみを計上し、それぞれ部門別に算出した。

■部門別支出額

部門	県内発注分(円)	部門	県内発注分(円)
飲料	15,145	ガス・熱供給	9,990
衣服・その他の繊維既製品	1,203,971	水道	610,470
木材・木製品	480	廃棄物処理	475,200
家具・装備品	280	金融・保険	353,493
パルプ・紙・板紙・加工紙	3,742	不動産仲介及び賃貸	15,255,063
紙加工品	240,389	鉄道輸送	28,807
印刷・製版・製本	7,961,156	道路輸送(自家輸送を除く。)	16,809,964
医薬品	3,758	郵便・信書便	1,472,151
化学最終製品(医薬品を除く。)	179,674	通信	667,835
石油製品	20,688	映像・音声・文字情報制作	90,720
なめし革・毛皮・同製品	972	公務	715,300
その他の窯業・土石製品	12,960	医療	22,550
非鉄金属加工製品	60,646	社会保険・社会福祉	65,783
その他の金属製品	129,352	その他の非営利団体サービス	40,639,252
はん用機械	110,592	物品貯蔵サービス	1,800,436
産業用電気機器	7,232	広告	43,848
民生用電気機器	14,732	その他の対事業所サービス	314,264,992
その他の電気機械	101,106	宿泊業	855,928
通信機械・同関連機器	6,880	娯楽サービス	3,100,000
その他の製造工業製品	3,845,579	その他の対個人サービス	2,435,720
建設補修	65,323,681	雇用者所得	915,000
電力	4,524,881	合計	484,400,398

III 全国における「さいたまトリエンナーレ2016」の開催による経済波及効果

「さいたまトリエンナーレ2016」の開催により、約16億5,830万円の経済波及効果があったと考えられる。

	経済波及効果 ①+②	経済波及効果	
		①直接効果+第1次波及効果	②第2次波及効果
(1) 来場者調査による推計	4億2,450万円	4億2,450万円	—
(2) 主催者等総支出額による推計	12億3,380万円	12億3,380万円	—
↓			
経済波及効果 合計額	16億5,830万円		

①自地域内で調達できる直接の需要増加額（直接効果）+主催者等総支出及び来場者消費（宿泊費、交通費、

飲食費、お土産購入費、その他）による需要発生が、その他の産業にもたらす生産誘発額（第1次波及効果）

②全国の場合、第2次波及効果を算出する基準は公表されていない。

ア 来場者調査による推計の前提条件

産業関連分析の方法により、「平成23年産業連関表（総合大分類（37部門））」を用いて算出した。

具体的な前提条件等は、以下の通りである。

- ・「さいたまトリエンナーレ2016」の来場者数と宿泊客数
 - i 「さいたまトリエンナーレ2016」の来場者数は、361,127人（平成29年1月25日時点）であった。アンケート調査結果を用いて、来場者の平均来訪エリア数を算出したところ、平均来訪エリア数が1.1エリアだったことから、概ね来場者1人あたり1エリアに訪問したと仮定し、来場者母数を361,127人としたうえで経済波及効果を推計した。
 - ii また、来場者数のうち宿泊者数が不明であるため、アンケート調査の結果に基づき、全サンプル数に占める宿泊者のサンプル数の割合から宿泊客割合を求めた（0.88%）。宿泊客割合を来場者数に乘じることにより、来場者のうち宿泊者数を推計した。

■来場者数と宿泊客数

来場者数（人）	宿泊客数（人）
361,127	3,169

■宿泊客サンプル数の割合

アンケート結果	サンプル数
宿泊客サンプル数	19
全サンプル数	2165
宿泊客割合	0.88%

イ 来場者消費額

来場者1人当たり平均消費額は、アンケート調査の結果に基づき、イベント参加者によるさいたま

ま市内での支出を支出費目別に整理した。支出費目別の人一人当たり平均消費額に来場者数を乗じ、宿泊費の平均消費額は宿泊者数を乗じることにより、来場者全体の消費額を推計した。

■支出費目別平均諸費額と来場者数による来場者全体の消費額の推計

支出費目	平均消費額（円/人）	消費額合計（円）
宿泊費	9,311	29,505,070
交通費	198	71,643,986
飲食費	327	118,088,529
お土産購入費	58	20,905,642
その他※1	19	6,937,250
合計		247,080,476

※1 娯楽・入場料、その他全て含む

ウ 主催者等総支出額による推計の前提条件

主催者等総支出額についても、来場者調査による推計と同様に産業連関分析の方法により、「平成23年産業連関表（総合大分類（37部門））」を用いて算出した。

エ 各部門の総支出額

「さいたまトリエンナーレ2016」の開催について、平成26年度から平成28年度の開催経費に係わる最終需要増加額（見込み）を推計した。全国に経済波及効果をもたらすのは、全国で生産される物・サービスへの支出であるため、最終需要増加額には、開催総経費のうち、国内企業へ発注した分のみを計上し、それぞれ部門別に算出した。

■部門別支出額

部門	国内発注分(円)	部門	国内発注分(円)
飲食料品	15,145	電力・ガス・熱供給	4,534,871
繊維製品	1,203,971	水道	610,470
パルプ・紙・木製品	244,891	廃棄物処理	475,200
化学製品	183,432	金融・保険	544,809
石油・石炭製品	20,688	不動産	15,625,563
窯業・土石製品	12,960	運輸・郵便	20,254,991
非鉄金属	60,646	情報通信	758,555
金属製品	129,352	公務	715,300
はん用機械	110,592	医療・福祉	88,333
電気機械	123,070	その他の非営利団体サービス	40,639,252
情報・通信機器	6,880	対事業所サービス	554,288,703
その他の製造工業製品	15,413,827	対個人サービス	8,864,218
建設	65,323,681	合計	730,249,400

(3) パブリシティ効果の推計方法

- ・さいたまトリエンナーレ2016のメディア報道におけるパブリシティ効果（広告換算額）は、13億円以上と考えられる。（広告換算とは、新聞や雑誌、WEBなどの各メディアに記事掲載（広告掲載）された場合の媒体露出効果を、各メディア広告料金をベースに料金換算したもの）
- ・報道件数合計1,876件のうち、実際に掲載・放映が確認でき、算出可能であった件数は1,458件であった。
- ・実際に掲載・放映確認できた算出可能件数のうち、全体の半数以上をwebが占めていた。
- ・新聞雑誌614件の内訳として、新聞は535件、雑誌等は79件であった。

①パブリシティ効果の推計方法

- ・各メディアにおいて掲載・放映されたものと同じサイズ、分量で広告出稿した場合の料金の1件あたりの金額を算出し、その合計額パブリシティ効果の金額とした。
- 新聞／雑誌のパブリシティ効果 = 広告最小単価×記事面積
- テレビ／ラジオのパブリシティ効果 = 広告最小単価×放送時間
- WEBのパブリシティ効果 = 各社広告標準掲載額

※実際に掲載・放映の確認が出来たもののみを対象として算出

②パブリシティ効果の推計結果（再掲）

媒体	報道件数	算出可能件数	広告換算額	備考（対象期間）
新聞雑誌等	651	614	380,901,971	2014年4月～2017年1月
テレビ	67	67	398,081,520	2016年8月～2017年1月
ラジオ	1	1	1,305,720	2016年9月
web	1157	776	519,893,000	2015年3月～2017年1月
合計	1876	1458	1,300,182,211	

※2017年2月27日現在

VIII 助成・協賛

1 助成

年度	区分	交付元	金額
2015	国庫補助金	平成 27 年度「文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業」 ^{※1}	4,506 千円
2016	助成金	損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」 (企業メセナ協議会 2021Arts Found)	6,400 千円
		韓国国際交流財団 ^{※2}	
		公益財団法人日韓文化交流基金 ^{※3}	
		公益財団法人野村財団	

※1 さいたま市への補助金

※2 韓国出身アーティストのプロジェクトへの助成金

※3 ユン・ハンソル氏のプロジェクトへの助成金

2 協賛・特別協力

区分	件数
企業等協賛（協賛金額に応じて、各種広報媒体への社名ロゴ掲出などの特典付与）	48 件
ピンバッジ協賛（さいたまトリエンナーレのロゴをかたどったピンバッジを贈呈）	22 件
現物協賛（換算金額に応じて、各種広報媒体への社名ロゴ掲出などの特典付与）	10 件
特別協力（金額換算が困難な現物協賛 各種広報媒体への社名掲出などの特典付与）	7 件

IX 実行委員会の収支状況

■2014年度収支（決算）

【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	収入額	過不足額	説明
さいたま市負担金	40,668,000	40,668,000	0	
その他雑入	1,000	3,782	2,782	○受取利息など
合計	40,669,000	40,671,782	2,782	

【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	不用額	説明
委員会運営費	1,220,000	215,925	1,004,075	○準備委員会総会、運営会議等の開催費
事業企画費	26,332,000	22,236,184	4,095,816	○ディレクター等活動費 ○その他事業企画活動費など
広報関係費	9,646,000	9,605,520	40,480	○広報業務委託費（広報戦略、ホームページ、ロゴマークなど）
事務局運営費	3,471,000	537,823	2,933,177	○印刷製本費、消耗品費など
合計	40,669,000	32,595,452	8,073,548	

※収入支出差額 8,076,330円については、さいたま市へ返還

■2015年度収支（決算）

【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	収入額	過不足額	説明
さいたま市負担金	122,265,000	122,265,000	0	
その他雑入	1,000	16,382	15,382	○受取利息など
合計	122,266,000	122,281,382	15,382	

【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	不用額	説明
委員会運営費	171,000	162,785	8,215	○実行委員会総会開催費
事業企画費	89,904,000	80,570,535	9,333,465	○ディレクター等活動費 ○会場維持管理費 ○文化芸術交流拠点 等
広報関係費	29,000,000	28,494,612	505,388	○広報業務委託費（パブリシティ、ホームページ保守、広報物制作など）
事務局運営費	3,191,000	2,294,874	896,126	○印刷製本費、消耗品費など
合計	122,266,000	111,522,806	10,743,194	

※収入支出差額 10,758,576円については、さいたま市へ返還

■2016年度収支（決算）

【収入の部】

(単位:円)

区分	予算額	収入額	過不足額	説明
さいたま市負担金	535,565,000	535,565,000	0	
事業収入	7,500,000	2,630,064	△4,869,936	
協賛・助成金	26,000,000	22,393,000	△3,607,000	
その他雑入	—	131,519	131,519	○受取利息など
合計	569,065,000	560,719,583	△8,345,417	

【支出の部】

(単位:円)

区分	予算額	決算額	不用額	説明
委員会運営費	171,000	55,994	115,006	○実行委員会開催経費
事業企画費	508,423,000	461,940,041	46,482,959	○アートプロジェクトの制作・展示設営等 ○会場運営・交通対策費等 ○サポーター活動運営等 ○法人税(国税・市民・県民・事業税)等
広報関係費	57,000,000	56,905,840	94,160	○広報業務委託費(パブリシティ、ホームページ管理運営、広報制作物など)等
事務局運営費	3,471,000	3,385,604	85,396	○通信費、消耗品費などの運営費
合計	569,065,000	522,287,479	46,777,521	

※収入支出差額 38,432,104円については、さいたま市へ返還

(参考)

【関連事業費（市民プロジェクト、連携プロジェクト、開催効果調査分析費等）】

(単位:円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	3か年合計
市民プロジェクト	0	0	16,387,880	16,387,880
連携プロジェクト	0	0	21,866,212	21,866,212
その他関連事業	0	0	4,729,598	4,729,598
会場関係費	0	5,961,600	5,961,600	11,923,200
開催効果調査分析	0	0	8,618,400	8,618,400
教育委員会実施事業	0	0	8,673,355	8,673,355
合計	0	5,961,600	66,237,045	72,198,645

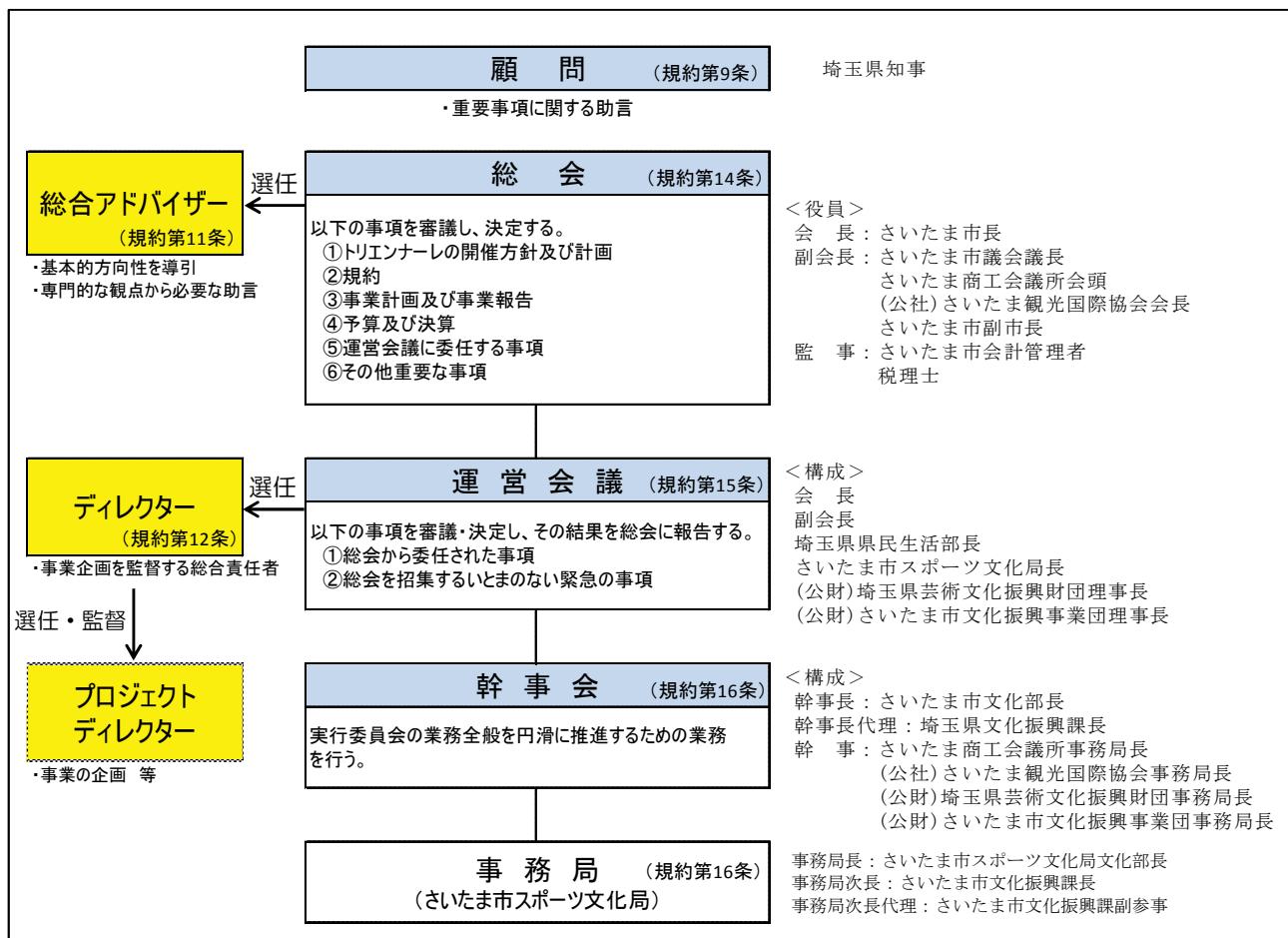
【総事業費】

(単位:円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	3か年合計
合計	32,595,452	117,484,406	588,524,524	738,604,382

X その他（実行委員会の組織、規約など）

■さいたまトリエンナーレ実行委員会の組織 ※平成29年1月25日現在



(資料) さいたまトリエンナーレ実行委員会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、さいたまトリエンナーレ実行委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 委員会は、事務所をさいたま市浦和区常盤六丁目4番4号に置く。

(目的)

第3条 委員会は、第1回さいたまトリエンナーレ（以下「トリエンナーレ」という。）の開催に必要な準備及び開催運営を行うことを目的とする。

(業務)

第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) トリエンナーレの開催に必要な方針及び計画の策定に関する事。
- (2) トリエンナーレの開催準備及び開催運営に関する事。
- (3) 広報及びイベントの実施に関する事。
- (4) その他委員会の目的を達成するために必要な業務に関する事。

第2章 組織

(組織)

第5条 委員会は、学識経験者、経済団体関係者、行政関係者その他第3条の目的に賛同する団体の代表者等による委員によって組織する。

(役員)

第6条 委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 4名
- (3) 監事 2名

2 会長は、さいたま市長をもって充てる。

3 副会長は、さいたま市議会議長、さいたま商工会議所会頭、公益社団法人さいたま観光国際協会会长及びさいたま市副市長（スポーツ文化局を担任する者）の職にある者をもって充てる。

4 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員の職務)

第7条 会長は、委員会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指定した副会長が、その職務を代理する。

3 監事は、委員会の業務及び会計を監査する。

(任期)

第8条 委員及び役員の任期は、第21条の規定に基づき委員会が解散するときまでとする。ただし、特別の事情があるときは、この限りではない。

(顧問)

第9条 委員会に、顧問を置く。

2 顧問は、埼玉県知事をもって充てる。

3 顧問は、委員会を円滑に運営するため、重要な事項に関し、必要な助言を行う。

(参与)

第10条 委員会に、参与を置くことができる。

2 参与は、会長が委嘱する。

3 参与は、委員会の業務に関し、必要な助言を行う。

(総合アドバイザー)

第11条 委員会に、総合アドバイザーを置くことができる。

2 総合アドバイザーは、総会の承認を得て会長が委嘱する。

3 総合アドバイザーは、トリエンナーレの基本的な方向性を導引するとともに、専門的な観点から必要な助言を行う。

(ディレクター)

第12条 委員会に、トリエンナーレの事業企画を監督する総合責任者としてディレクターを置く。

2 ディレクターは、委員会において選任する。

第3章 会議

(会議)

第13条 委員会に、次の会議を置く。

- (1) 総会

(2) 運営会議

(3) 幹事会

2 前項に定めるもののほか、委員会に会長が必要と認める会議を置くことができる。

(総会)

第14条 総会は、会長、副会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、会長が招集し、議長となる。

3 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) トリエンナーレの開催に必要な方針及び計画に関すること。

(2) 規約の制定及び改廃に関すること。

(3) 事業計画及び事業報告に関すること。

(4) 予算及び決算に関すること。

(5) 運営会議への委任に関すること。

(6) その他重要な事項に関すること。

4 総会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

5 総会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

6 やむを得ない理由のため総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について書面を持って表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、その委員は出席したものとみなす。

7 会長が必要と認める場合、あらかじめ通知した事項に対する委員による書面表決をもって、総会の表決に代えることができる。

8 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を総会に出席させ、意見を求めることができる。

(運営会議)

第15条 運営会議は、会長、副会長及び別表1に掲げる職にある委員をもって構成する。

2 運営会議は、会長が招集し、議長となる。

3 運営会議は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 総会から委任された事項に関すること。

(2) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること。

(3) その他会長が必要と認める事項に関すること。

4 運営会議は、前項の規定により決定したときは、決定した事項を次の総会に報告しなければならない。

5 前条第4項から第8項までの規定は、運営会議について準用する。これらの規定中「総会」とあるものは「運営会議」と読み替える。

(幹事会)

第16条 委員会の円滑な運営を図るため、運営会議の下に幹事会を置く。

2 幹事会は、幹事長、幹事長代理及び幹事をもって構成し、それぞれ、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 幹事会は、幹事長が招集する。

4 第14条第4項から第8項までの規定は、幹事会について準用する。これらの規定中「総会」とあるものは「幹事会」と、「会長」とあるものは「幹事長」、及び「委員」とあるものは「幹事」と読み替えるものとする。

第4章 専決処分

(会長の専決処分)

第17条 会長は、特に緊急を要するため総会又は運営会議（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又

は総会等の権限に属する事項で轻易なものについては、これを専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分をしたときは、これを次の総会等において報告し、承認を求めなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第18条 委員会の事務を処理するため、さいたま市スポーツ文化局に事務局を置く。

2 事務局に事務局長その他必要な職員を置く。

3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務会計

(経費)

第19条 委員会の活動に必要な経費は、さいたま市負担金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第20条 委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 解散

(解散)

第21条 委員会は、第3条の目的が達成されたときに解散する。

(残余財産の帰属)

第22条 委員会が解散するときに有する残余財産は、さいたま市に帰属することを原則とし、総会で決定する。

第8章 補則

(委任)

第23条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成26年6月2日から施行する。

2 準備委員会の設立当初の会計年度は、第20条の規定にかかわらず、設立の日から平成27年3月31日までとする。

附 則

1 この規約は、平成26年11月7日から施行する。

附 則

1 この規約は、平成27年3月13日から施行する。ただし、第6条第3項、第18条、別表1及び別表2の改正規定は、平成27年4月1日から施行する。

別表1（第15条関係）

区分	職名
運営会議委員	埼玉県県民生活部長
	さいたま市スポーツ文化局長
	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団理事長
	公益財団法人さいたま市文化振興事業団理事長

別表2（第16条関係）

区分	職名
幹事長	さいたま市スポーツ文化局文化部長
幹事長代理	埼玉県県民生活部文化振興課長
幹事	さいたま商工会議所事務局長
	公益社団法人さいたま観光国際協会事務局長
	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団事務局長
	公益財団法人さいたま市文化振興事業団事務局長

■さいたまトリエンナーレ実行委員会名簿

(H29.3.29現在)

	職名	氏名
顧問	埼玉県知事	上田 清司
会長	さいたま市長	清水 勇人
副会長	さいたま市議会議長	桶本 大輔
	さいたま商工会議所会頭	佐伯 鋼兵
	公益社団法人さいたま観光国際協会会長	清水 志摩子
	さいたま市副市長	遠藤 秀一
委員	埼玉県立近代美術館館長・多摩美術大学学長	建畠 哲
	独立行政法人国際交流基金理事	柄 博子
	日本政府観光局（JNTO）理事	山崎 道徳
	国立大学法人埼玉大学教育学部准教授	石上 城行
	公益財団法人東日本鉄道文化財団鉄道博物館館長	大信田 尚樹
	国立大学法人埼玉大学長	山口 宏樹
	芝浦工業大学システム理工学部教授	澤田 英行
	聖学院大学学長	清水 正之
	さいたま市議会文化振興議員連盟会長	萩原 章弘
	さいたま市自治会連合会会长	松本 敏雄
	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会会长	佐伯 鋼兵
	埼玉県商工会連合会会长	大久保 義海
	埼玉県中小企業団体中央会会长	星野 進
	一般社団法人埼玉県経営者協会会长	上條 正仁
	埼玉経済同友会代表幹事	加藤 喜久雄
	埼玉経済同友会代表幹事	菊池 真紀
	埼玉中小企業家同友会代表理事	木下 信次
	株式会社埼玉りそな銀行社長	池田 一義
	株式会社武蔵野銀行取締役頭取	加藤 喜久雄
	公益社団法人埼玉中央青年会議所理事長	黒須 喜美雄
	株式会社埼玉新聞社代表取締役社長	小川 秀樹
	株式会社テレビ埼玉代表取締役社長	平本 一郎
	株式会社エフエムナックファイブ代表取締役社長	益子 弘
	さいたま市文化協会理事長	石原 進
	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団理事長	竹内 文則
	公益財団法人さいたま市文化振興事業団理事長	青木 康高
	埼玉県県民生活部長	稻葉 尚子
	さいたま市教育長	稻葉 康久
	さいたま市都市戦略本部長	高橋 篤
	さいたま市スポーツ文化局長	金子 康
	さいたま市経済局長	井上 政行
監事	関東信越税理士会浦和支部理事・税理士	橋本 真一
	さいたま市会計管理者	嶋澤 英雄
総合アドバイザー	アーツカウンシル東京カウンシルボード議長	加藤 稔男
ディレクター	P3 art and environment 統括ディレクター	芹沢 高志

(敬称略)

■さいたまトリエンナーレ2016ディレクターチーム（企画体制）

【ディレクター】

芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）

【プロジェクトディレクター】

伊藤忍（P3 art and environment プロジェクトディレクター）

川越千紗子（アートコーディネーター、クエルカ代表）

田中みゆき（キュレーター／プロデューサー／編集者）

日沼禎子（女子美術大学准教授、ARTizan プログラムディレクター、アートNPOリンク理事）

三浦匡史（NPO法人都市づくりNPOさいたま理事・事務局長、地域生活デザイン代表）

水田紗弥子（株式会社 Little Barrel キュレーター）

森真理子（一般社団法人 torindo 代表理事、アートNPOリンク理事）

【アシスタントディレクター】

蟻川小百合、大曾根朝美、小林夢実、里村真理、鈴木萌美、新妻葉子、松本ひとみ、和田夏実、

和田真文

【プログラムコーディネーター】

金宗代、ウルリケ・クラウトハイム、坂口千秋、高村美和、戸田史子、ホリー・ペトル

【サポートコーディネーター】

藤原旅人

【テクニカルスタッフ】

糟谷健三、玉井富士、日沼智之、村井啓哲

【メディア作品設営監修】

田中信至

【制作補助】

岡野ゆかり、岡田俊、小駒豪、筋貴彦、近藤拓丸、榎原南、坂田有希子、佐々木愛、

サム・ストッカー、下館芽衣、萩原安雄、樋口勇輝、樋口友香、廣瀬義己、福島学、

船場幸平、星野かおる、村田有理、本原章一、矢ヶ崎亜佐子、山田岳、山元史朗

さいたまトリエンナーレ2016開催報告書

発 行 平成29年7月

編 集 さいたまトリエンナーレ実行委員会

〒330-9588

さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

さいたま市役所スポーツ文化局文化部文化振興課内

電話 048-829-1225

FAX 048-829-1996

E-mail bunka-shinko@city.saitama.lg.jp

この冊子は300部作成し、1部当たりの作成費用は、259円（概算）です。